

第10回 全国小売業万引被害実態調査分析報告書

平成27年6月

調査：特定非営利活動法人 **全国万引犯罪防止機構**

協力：警察庁生活安全局生活安全企画課
日本小売業協会

第10回 全国小売業万引被害実態調査分析報告書

平成27年6月

調査：特定非営利活動法人 **全国万引犯罪防止機構**

協力：警察庁生活安全局生活安全企画課
日本小売業協会

ごあいさつ

ここに平成 26 年度に実施した「第 10 回 全国小売業万引被害実態調査」に関する報告書をお届けします。

平成 17 年度に始まったこの調査も 10 年目を迎えました。万引き問題の実態を知ることがその対策の重要性を教えることになるという思いから始めたこの実態調査は、関係者のご協力を得て、万引被害の状況をうかがわせる他に例のないものとして次第に社会全体の認知を得てきたと思います。そして、これが 10 年間連続で行われていることが、この調査から推定される年間の万引被害額を根拠あるものとして受け止めていただけていることに寄与していると思います。警察庁生活安全局生活安全企画課及び各都道府県警察関係者、日本小売業協会及び特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構（万防機構）の会員各位のご協力に心から感謝申し上げます。

平成 26 年の万引犯罪の検挙・補導人員 86,784 件と前年比 3.5%減少しました。ところが、高齢者の占める割合が 33.1%と、青少年の 21.8%を大きく上回りました。この高齢者万引の問題に関しては、26 年版の犯罪白書でも大きく取り上げられ、警察関係をはじめ各地域で対策が検討されています。

高齢者による万引き問題は、高齢化社会を迎えた我が国の一つの社会問題として、思いもかけず私たちに新たな課題を突き付けました。もちろん私たちだけでなんとかなるというものではありませんが、万引の実態をだれよりも知る万防機構としては、昨年度に「高齢者万引対策に関する提言」を致しました。引き続き、関係の皆様と共にこの問題に対峙してゆきたいと考えます。皆様のご支援をお願いします。

また、ネット通販が盗品の流通に一役買っている実態に多くの小売業者が悲鳴を上げています。この問題も万引問題に深く関わるものとしてしっかり対処していく必要があります。

この報告書が、小売業の現場はもちろん、地域社会の在り方、国の在り方を考える参考になればと考えます。

平成 27 年 6 月

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構
理事長 竹花 豊

**万引きは犯罪です！
すべて警察に通報されます。**

刑法第235条により
10年以下の懲役または
50万円以下の罰金です。

日本全体の万引きの
年間被害額は約4,615億円(推定値)
すごい損失だよな!
(全国万引犯罪防止機構調べ)

万引きについて
先生、友だち、家族の人と
話し合ってみましょう。

- 友だちから「万引きをしよう」と誘われたら、はっきり断ろう。
- 「万引きをるところ」を見たら、お店の人に知らせよう。
- 「万引きをすると」万引きした相手のお店も悲しませてしまうし、自分の家族も悲しませてしまうよな。

万引きされた
お店のおばさんの
悲しみ



文具・駄菓子小売店主の声

万引きに気づいた時、沸いてくるのはまず怒り。しかしそれ以上にこみ上げてくるのは、言いようのない寂しい気持ち。金銭的ダメージだけではない。“ココロ”に傷を負うのです。例えば一生懸命手をかけ時間をかけて育てた花々、チューリップ、コスモス、ある日その花々がむざんに刈り取られてしまっていたら…。

万引きされる側の気持ちを、自分に置き換えてみる事ができたら、「自分がされて嫌なことは、人にもしてはいけない」と思いとどまることができるのではないのでしょうか？

(全国万引犯罪防止機構「地域の万引犯罪防止対策活動報告書」より)

※「万引」に関する全国青少年犯罪動向分析報告書(総務省)より、平成26年全同万引動向が男子71.2%、女子28.8%というデータを元に今回は男子生徒を取り上げました。

隠したら、店を出ずとも窃盗犯！
精算前の商品をポケットやバッグの中に入れてしまった場合、
店内でも「窃盗罪」になります。



特定非営利活動法人

全国万引犯罪防止機構

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2-8 Tel. 03-3355-2322 Fax. 03-3355-2344 <http://www.manboukikou.jp>

全国協力 **経教** 日本経済教育センター <http://www.keikyo-center.or.jp/>

協賛機関：協社 第一生命 聖光大学 法政大学 法政大学付属高等学校 高野学園 井上 隆 (一社) 日本経済団体連合会 日本経済新聞 日本経済新聞社 東京経済大学 経済学研究所
1999年 協賛 熊本 八王子市立総合高等学校 三好 利孝 茨城県立水戸高等学校 藤田 健一郎 茨城県立水戸高等学校
協力：全日本中学校長会生徒指導部

後援 文部科学省/警察庁/日本小売業協会 協力 日本万引防止システム協会

教員の皆様へ いつも壁新聞の掲示にご協力いただきありがとうございます。

今後の改編のために万防機構ホームページ上にある「万引防止啓発のための壁新聞」掲示に関するWebアンケートにご回答いただきますようお願いいたします。IDを「manbou」、パスワードを「kikou」と入力するとアンケートページが表示されます。

この壁新聞は全国万引犯罪防止機構の
ホームページで閲覧・ダウンロードできます。
<http://www.manboukikou.jp>



この壁新聞は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。

目 次

第10回全国小売業万引被害実態調査[ダイジェスト版]	1
第1章 全国万引実態調査について	4
(1)調査の背景	4
(2)調査目的	4
(3)調査内容	4
(4)調査実施の枠組み	5
(5)調査対象	5
(6)調査の経過	5
第2章 調査結果	6
回答企業プロフィール	6
(1)部門別分布	6
(2)店舗数・年商・決算月の分布	6
I. 万引犯罪発見後の処理について	7
問1 万引対策を担当している部署	7
問2-1 万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針	8
問2-2 警察に届ける際の判断基準の有無	9
問2-4 ①. 警察の対応時間／平均	10
問2-4 ②. 警察の対応時間／最短時間	11
問2-4 ③. 警察の対応時間／最長時間	12
II. 万引犯罪の防止策について	13
問3-1 万引が発生する原因の有無	13
問4-1 ①万引防止策／ハード（機器等）対策	14
問4-1 ②万引防止策／ソフト（訓練等）対策	15
問4-1 ③万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策	16
問4-1 ④万引防止策／高齢者の万引防止策	17
問4-2 顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入	18
問4-3 集団窃盗対策として、同業者との情報共有について	19
問4-4 犯人が映っている画像の共有	20
問5-1 捕捉にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求	21

問 5-2 損害賠償請求することに阻害・躊躇する要因	22
問 6 万引に関して地域社会とのタイアップ	23
問 7 被害者等通知制度の認知	24
問 8 マイバックについて	25
問 9-1 万引窃盗犯の「店内確保」について	26
問 9-2 「店内確保」で発生した問題	27
問 10-1 万引された商品がネットオークションに 出品されたこと	28
問 10-2 万引きされた商品がネットオークションに 出品された回数	29
問 10-3 万引商品であると判断した理由	30
問 10-4 出品を知った経緯	31
問 10-5 被害品のその後	32
Ⅲ. 万引犯罪被害の状況及び傾向について	33
問 11-1 確保した万引犯の人数	33
問 11-1 万引犯罪被害の件数	34
問 11-2 確保した万引犯の人数（性別）	35
問 12 万引犯を確保した者の内訳	36
問 13 年間の総売上げに対する不明ロス金額の構成比	37
問 13-2 不明ロス部門別売上構成比	38
問 14 不明ロス金額の原因別推定割合	39
問 15 時期別万引被害件数	40
業界(企業)における東京万引き防止官民合同会議 における取組状況について	41
1 調査概要	41
2 調査結果の概要	41
3 今後の課題	43
2014 年度の調査要約(2015 年 6 月 17 日通常総会発表)	44
第 10 回全国万引き被害実態調査 コメント欄集計	54
全国万引被害実態調査票	73

第10回 全国小売業万引被害実態調査〔ダイジェスト版〕

回答企業数／部門別分布

今回のアンケート回答企業は603社<前回 552社>となっている。上位10部門の部門別分布は、多い順にスーパー 171社、書籍・文具 105社、楽器・CD・レンタル 68社、百貨店 58社、ドラッグストア 39社、ホームセンター・カー用品 30社、その他専門店 27社、婦人服・子供服 21社、生鮮 15社、コンビニ・ミニスーパー 14社、玩具・ホビー用品 11社、となっている。

店舗数・年商・決算月の分布

回答企業の展開している店舗数は、直近決算年度で「5店舗以下」250件（41.5%）、「11～30店舗」96件（15.9%）、「6～10店舗」68件（11.3%）、「101店舗以上」67件（11.1%）、「31～50店舗」54件（9.0%）、「51～100店舗」50件（8.3%）の順となっており、幅広く分布している。平均は127.1店舗。（コンビニ・ミニスーパーの平均2958.4店舗が平均店舗数を押し上げているため、店舗数の平均は大きい意味を持たない。）

年商の単純平均は513億円<前回549億>、決算月の分布は2月 149社、3月 154社と、この2ヶ月で全体の5割を占めている。

問1. 万引対策を担当している部署

万引対策を担当している部署については、「店舗」338件（56.1%）、「本部」208件（34.5%）、「警備部門」33件（5.5%）、「その他」21件（3.5%）となっている。

問2-1. 万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針

万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針については、「全件警察に届出する」337件（55.9%）、「警察に届出するのはケースバイケース」236件（39.1%）、「届出しない」10件（1.7%）となっている。

問2-2. 警察に届ける際の判断基準の有無

警察に届ける際の判断基準の有無については、「特に判断基準は無い」149件（63.1%）、「判断基準がある」82件（34.7%）となっている。

問2-4①. 警察の対応時間／平均

警察の対応時間／平均については、「30分～1時間」192件（33.5%）、「1～2時間」153件（26.7%）、「2～3時間」75件（13.1%）、「その他」39件（6.8%）、「30分以下」34件（5.9%）、「3時間以上」31件（5.4%）となっている。

問2-4②. 警察の対応時間／最短時間

警察の対応時間／最短時間については、「30分～1時間」211件（36.8%）、「30分以下」141件（24.6%）、「1～2時間」87件（15.2%）、「その他」35件（6.1%）、「2～3時間」26件（4.5%）、「3時間以上」11件（1.9%）となっている。

問2-4③. 警察の対応時間／最長時間

警察の対応時間／最長時間については、「3時間以上」174件（30.4%）、「1～2時間」116件（20.2%）、「30分～1時間」90件（15.7%）、「2～3時間」79件（13.8%）、「その他」44件（7.7%）、「30分以下」11件（1.9%）となっている。

問3-1. 万引が発生する原因の有無

万引が発生する原因の有無については、「万引が発生する原因となるものがある」278件（46.1%）、「特に万引発生の原因と考えるものは無い」255件（42.3%）となっている。

問4-1①. 万引防止策／ハード(機器等)対策

万引防止策／ハード(機器等)対策については、「特になし」348件（57.7%）、「ある」180件（29.9%）となっている。

問4-1②. 万引防止策／ソフト(訓練等)対策

万引防止策／ソフト(訓練等)対策については、「特になし」396件（65.7%）、「ある」127件（21.1%）となっている。

問4-1③. 万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策

万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策については、「特になし」463件（76.8%）、「ある」71件（11.8%）となっている。

第10回 全国小売業万引被害実態調査〔ダイジェスト版〕

問4-1④. 万引防止策／高齢者の万引防止策

万引防止策／高齢者の万引防止策については、「特にない」491件（81.4%）、「ある」46件（7.6%）となっている。

問4-2. 顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入

顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入については、「考えていない」484件（80.3%）、「検討中である」53件（8.8%）、「すでに導入している」42件（7%）となっている。

問4-3. 集団窃盗対策として、同業者との情報共有について

集団窃盗対策として、同業者との情報共有についてについては、「考えていない」325件（53.9%）、「すでに情報の共有をしている」149件（24.7%）、「検討中である」103件（17.1%）となっている。

問4-4. 犯人が映っている画像の共有

犯人が映っている画像の共有については、「画像は共有していない」74件（49.7%）、「画像も共有している」71件（47.7%）となっている。

問5-1. 捕獲にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求

捕獲にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求については、「考えていない」459件（76.1%）、「検討中である」97件（16.1%）、「すでに導入している」33件（5.5%）となっている。

問5-2. 損害賠償請求することに阻害・躊躇する要因

損害賠償請求することに阻害・躊躇する要因については、「特に阻害又は躊躇する要因は無い」365件（79.5%）、「阻害又は躊躇する要因がある」72件（15.7%）となっている。

問6. 万引に関して地域社会とのタイアップ

万引に関して地域社会とのタイアップについては、「考えていない」373件（61.9%）、「検討中である」112件（18.6%）、「すでにしている」89件（14.8%）となっている。

問7. 被害者等通知制度の認知

被害者等通知制度の認知については、「知らなかった」457件（75.8%）、「知っている」129件（21.4%）となっている。

問8. マイバックについて

マイバックについてについては、「マイバックについては奨励も、お断りもしていない」341件（56.6%）、「マイバックを奨励している」223件（37%）、「マイバックはお断りしている」24件（4%）となっている。

問9-1. 万引窃盗犯の「店内確保」について

万引窃盗犯の「店内確保」についてについては、「していない」382件（63.3%）、「すでに実施している」141件（23.4%）、「検討中である」66件（10.9%）となっている。

問9-2. 「店内確保」で発生した問題

「店内確保」で発生した問題については、「特に問題は生じていない」119件（84.4%）、「問題が生じたことがある」18件（12.8%）となっている。

問10-1. 万引された商品がネットオークションに出品されたこと

万引された商品がネットオークションに出品されたことについては、「わからない」416件（69%）、「ない」126件（20.9%）、「ある」54件（9%）となっている。

問10-2. 万引きされた商品がネットオークションに出品された回数

万引きされた商品がネットオークションに出品された回数については、「1回」22件（40.7%）、「2回」8件（14.8%）、「5回」5件（9.3%）、「3回」4件（7.4%）、「4回」1件（1.9%）、「6回以上」1件（1.9%）となっている。

第10回 全国小売業万引被害実態調査〔ダイジェスト版〕

問10-3. 万引商品であると判断した理由

万引商品であると判断した理由については、「商品に付けられた一連番号が合致しているから」19件（35.2%）、「その他」19件（35.2%）、「自社のオリジナル商品であるから」10件（18.5%）、「商品の画像が外形上よく似ているから」10件（18.5%）となっている。

問10-4. 出品を知った経緯

出品を知った経緯については、「第三者から連絡を受けて知った」17件（31.5%）、「警察から連絡を受けて知った」16件（29.6%）、「自分でネットオークションを調べて見つけた」15件（27.8%）、「その他」11件（20.4%）、「ネットオークション業者から連絡を受けて知った」2件（3.7%）となっている。

問10-5. 被害品のその後

被害品のその後については、「戻ってこなかった」32件（59.3%）、「警察から手元に戻ってきた」12件（22.2%）、「その他」12件（22.2%）、「ネットオークション業者から手元に戻ってきた」3件（5.6%）、「出品者から手元に戻ってきた」3件（5.6%）となっている。

問11-1. 確保した万引犯の人数

確保した万引犯の人数については、この問いに対する有効回答407社の総人数が29,926人、業界平均が74人。平均人数の多い部門は、ホームセンター・カー用品 389人、コンビニ・ミニスーパー 162人、ドラッグストア 140人、スーパー 106人などの部門が多い。

問11-1. 万引犯罪被害の件数

同様に、確保した万引犯の件数については、この問いに対する有効回答441社の総件数が24,873件、業界平均が56件。平均人数の多い部門は、ホームセンター・カー用品 232件、コンビニ・ミニスーパー 163件、スーパー 112件、ドラッグストア 60件、などの部門が多い。

問11-2. 確保した万引犯の人数(性別)

確保した万引犯の男女別内訳は業界全体では、男性（51.1%）、女性（41.5%）、性別不明（7.4%）となっている。確保人数の平均は業界全体では、男性が44人、女性が35人となっている。

問12. 万引犯を確保した者の内訳

万引犯を確保した者の内訳は、業界全体では、保安警備員（82.9%）、御社の従業員（15.1%）、その他（1.0%）、お客様（0.9%）、不明（0.1%）となっている。

問13-1. 不明ロス売上構成比

回答企業各社の決算年度における年間の不明ロス金額（万引き以外も含む不明ロスの総額）の年間総売上げに対する構成比については、直近年度で、この問いに対する有効回答242社の平均が0.49%となっている。構成比の多い順としては、生鮮（3.57%）、ドラッグストア（0.98%）、服飾・服飾雑貨（0.93%）、書籍・文具（0.9%）、その他専門店（0.52%）、ホームセンター・カー用品（0.49%）となっている。

問13-2. 不明ロス部門別売上構成比

不明ロス部門別売上構成比については、家電製品（1.59%）、ホームセンター・カー用品（1.48%）、紳士服（1.13%）、生鮮（1.0%）、酒類（0.89%）、書籍・文具（0.85%）、その他専門店（0.82%）、カジュアル衣料（0.77%）となっている。

問14. 不明ロス金額の原因別推定割合

回答企業各社における不明ロス金額の原因別の推定割合については、万引き（56.5%）、管理誤り（29.7%）、不明（8.3%）、従業員窃盗（4.0%）、業者不正（0.7%）となっている。

問15. 時期別万引被害件数

回答企業各社に万引被害件数の多い商品を、被害件数の多い順に5つの商品を記入方式で尋ねた結果、回答いただいた総商品数は、1,000品となった。また、各商品について、被害の発生に時期的な偏りがあるかも併せて尋ねたところ、「飲料」が夏場に多い点を除き、ほぼ通年で被害にあっていることが分かった。

第1章 全国万引実態調査について

(1)調査の背景

小売業・サービス業店頭で急増している万引犯罪は、主としてセルフ販売を行なっている企業にとって深刻な経営問題となるのみならず、青少年の健全育成の面からも、また地域の治安維持の面からも大きな社会問題となっている。しかしながら、わが国においては、万引被害の実態は全国的には把握されておらず、それが対策の遅れをもたらす一因となっている面は否めない。近年、高齢者の万引が急増し深刻な社会問題となっている。

このような状況を踏まえ、平成17年6月設立された万引犯罪防止のための全国団体「特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構」は、平成17年度、全国の主要な小売業・サービス企業における万引被害の現状を、初めて共通の調査票で調査し業種別の実態を把握したのに続き、毎年実施し平成26年度は第10回調査を実施した。

(2)調査の目的

主としてセルフ販売を行なっている全国の小売業・サービス業における万引被害の現状を共通の調査票で調査し、業種別の実態を把握することによって、小売業・サービス業をはじめ、警備業・防犯機器メーカー・損害保険業等関連業界に万引防止対策の基礎データを提供するとともに、行政・警察当局の防犯施策、青少年指導団体、地域社会の防犯ボランティア活動等に資することを目的とした。

昨年度からは、特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構と警察庁・東京万引き防止官民合同会議との合同調査となっている。

(3)調査内容

基本調査項目は次の通りである。

- ① 回答企業の業態・店舗数・年商・決算月等
- ② 万引犯罪被害の状況及び傾向
- ③ 万引犯罪発見後の処理
- ④ 万引犯罪の防止策
- ⑤ 過去にあった特徴的な万引犯罪事例
- ⑥ 万引犯罪を減らすために有効な方法
- ⑦ 警察・行政・学校・家族への要望事項
- ⑧ 東京万引き防止官民合同会議の調査依頼内容

—今回、調査項目に加えた内容—

- ・ ネットを利用した盗品流通の把握
- ・ 組織窃盗団対策

- ・窃盗犯情報の共有や顔認証システムの普及状況
- ・高齢者対策の収集
- ・コメント欄の大幅増加

(4)調査実施の枠組み

- ①調査の実施主体：昨年より東京万引き防止官民合同会議との合同調査とした。
- ・特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構 調査研究委員会担当
 - ・東京万引き防止官民合同会議（事務局：警察庁生活安全部生活安総務課
- ②調査実施の協力：・警察庁生活安全局生活安全企画課
- ・日本小売業協会

(5)調査対象

日本経済新聞社編「日経小売・卸売企業年鑑 2006」調査台帳を基本とし、随時最新の情報に更新した掲載企業のうち、主として「セルフ販売」を採用する企業の本部を調査対象とした。（企業調査）

さらに本年は、各小売業団体からも名簿のチェックをいただき、計 1,700 社（昨年計 1,659 社）に調査票を行った。一昨年度からは発送時点での業種分類はしないことにした。

(6)調査の経過

①本調査（平成 27 年 1 月 15 日）

アンケートは調査票の郵送配布・郵送回収により実施した。

締切日までに回答の無かった企業にはハガキ・文書により 2 回の督促を行なった。

②回収状況

発送総数	1,700
倒産、合併、不明、辞退、受取拒否等	16
有効会社数	1,684
回収数	603
有効回収数	603
有効回収率	35.8%

第2章 調査結果

回答企業プロフィール

(1) 部門別分布

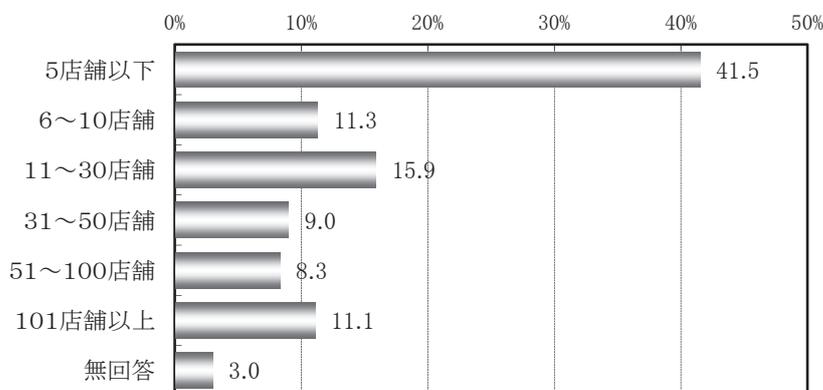
今回のアンケート回答企業603社<前回 552社>の部門別分布は企業数の多い順に次の通りである。

1	スーパー	171社	14	時計・めがね	6社
2	書籍・文具	105社	15	家電製品	4社
3	楽器・CD・レンタル	68社	16	宝飾品	3社
4	百貨店	58社	17	スポーツ用品	3社
5	ドラッグストア	39社	18	紳士服	2社
6	ホームセンター・カー用品	30社	19	カジュアル衣料	2社
7	その他専門店	27社	20	呉服	2社
8	婦人服・子供服	21社	21	家具	2社
9	生鮮	15社	22	酒類	2社
10	コンビニ・ミニスーパー	14社	23	総合ディスカウント	1社
11	玩具・ホビー用品	11社	24	価格均一ショップ(100円ショップ等)	1社
12	服飾・服飾雑貨	8社	25	生活協同組合	1社
13	靴	7社	26	カメラ	0社

(2) 店舗数・年商・決算月の分布

回答企業の展開している店舗数は、直近決算年度で「5店舗以下」250件(41.5%)、「11～30店舗」96件(15.9%)、「6～10店舗」68件(11.3%)、「101店舗以上」67件(11.1%)、「31～50店舗」54件(9.0%)、「51～100店舗」50件(8.3%)の順となっており、幅広く分布している。平均は127.1店舗。(コンビニ・ミニスーパーの平均2958.4店舗が平均店舗数を押し上げているため、店舗数の平均は大きい意味を持たない。)

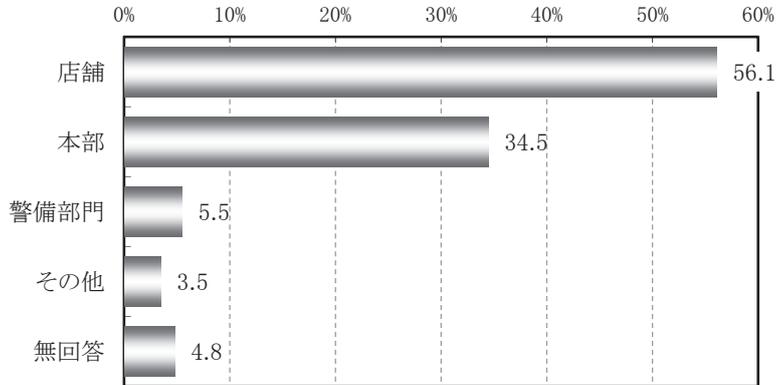
年商の単純平均は513億円<前回549億>、決算月の分布は2月 149社、3月 154社と、この2ヶ月で全体の5割を占めている。



I. 万引犯罪発見後の処理について

問1. 万引対策を担当している部署

万引対策を担当している部署については、「店舗」338件(56.1%)、「本部」208件(34.5%)、「警備部門」33件(5.5%)、「その他」21件(3.5%)となっている。

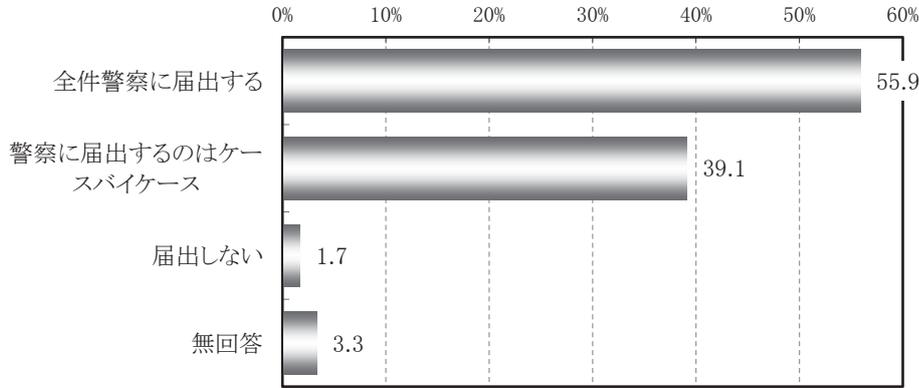


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	店舗	本部	警備部門	その他	無回答
全 体	603	56.1	34.5	5.5	3.5	4.8
スーパー	171	50.9	46.8	2.3	1.2	3.5
書籍・文具	105	73.3	17.1	3.8	2.9	6.7
楽器・CD・レンタル	68	86.8	8.8	1.5	0.0	5.9
百貨店	58	24.1	20.7	32.8	17.2	5.2
ドラッグストア	39	38.5	61.5	2.6	5.1	-
ホームセンター・カー用品	30	46.7	56.7	-	3.3	-
その他専門店	27	55.6	33.3	3.7	3.7	7.4
婦人服・子供服	21	57.1	19.0	14.3	-	14.3
生鮮	15	40.0	60.0	-	-	-
コンビニ・ミニスーパー	14	50.0	42.9	-	-	7.1

問2-1. 万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針

万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針については、「全件警察に届出する」337件(55.9%)、「警察に届出するのはケースバイケース」236件(39.1%)、「届出しない」10件(1.7%)となっている。

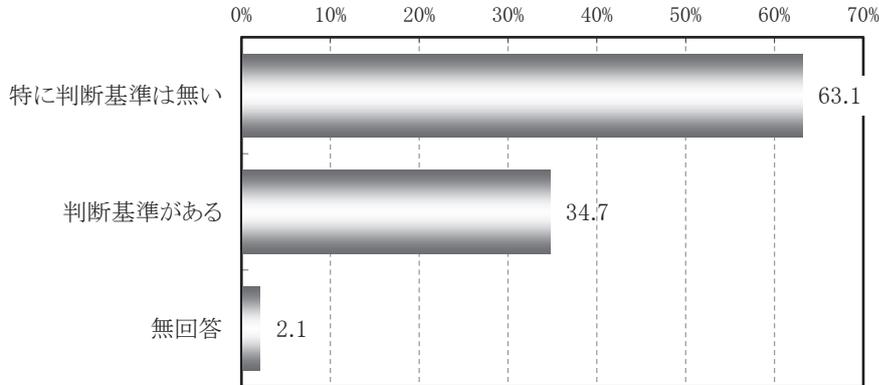


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	全件警察に届出する	警察に届出するのはケースバイケース	届出しない	無回答
全体	603	55.9	39.1	1.7	3.3
スーパー	171	63.7	32.2	2.3	1.8
書籍・文具	105	55.2	40.0	1.0	3.8
楽器・CD・レンタル	68	48.5	44.1	1.5	5.9
百貨店	58	43.1	53.4	-	3.4
ドラッグストア	39	69.2	30.8	-	-
ホームセンター・カー用品	30	83.3	16.7	-	-
その他専門店	27	48.1	33.3	11.1	7.4
婦人服・子供服	21	28.6	61.9	4.8	4.8
生鮮	15	33.3	66.7	-	-
コンビニ・ミニスーパー	14	78.6	21.4	-	-

問2-2. 警察に届ける際の判断基準の有無

警察に届ける際の判断基準の有無については、「特に判断基準は無い」149件(63.1%)、「判断基準がある」82件(34.7%)となっている。

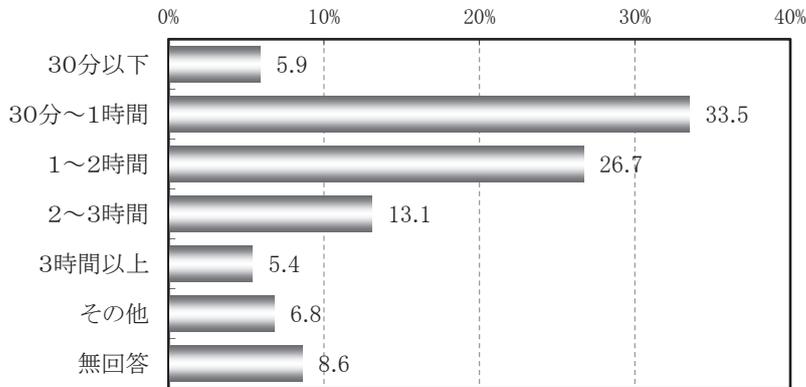


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	特に判断基準は無い	判断基準がある	無回答
全体	236	63.1	34.7	2.1
スーパー	55	69.1	29.1	1.8
書籍・文具	42	59.5	38.1	2.4
楽器・CD・レンタル	30	60.0	40.0	-
百貨店	31	48.4	51.6	-
ドラッグストア	12	50.0	50.0	-
ホームセンター・カー用品	5	60.0	40.0	-
その他専門店	9	66.7	22.2	11.1
婦人服・子供服	13	84.6	15.4	-
生鮮	10	40.0	40.0	20.0
コンビニ・ミニスーパー	3	100.0	-	-

問2-4①. 警察の対応時間／平均

警察の対応時間／平均については、「30分～1時間」192件(33.5%)、「1～2時間」153件(26.7%)、「2～3時間」75件(13.1%)、「その他」39件(6.8%)、「30分以下」34件(5.9%)、「3時間以上」31件(5.4%)となっている。

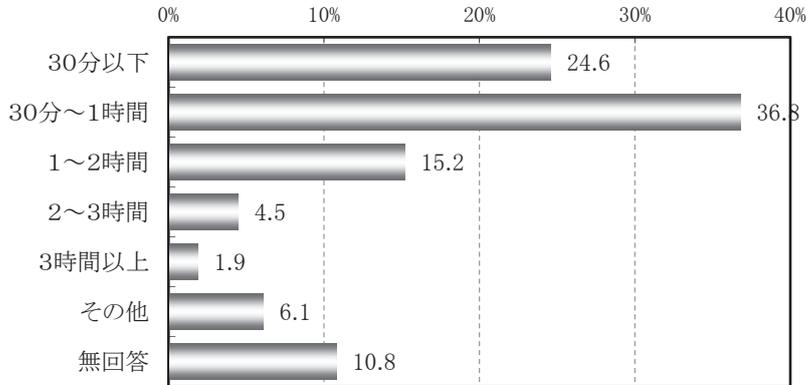


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	30分以下	30分～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間以上	その他	無回答
全体	573	5.9	33.5	26.7	13.1	5.4	6.8	8.6
スーパー	164	6.7	34.8	28.7	15.2	5.5	3.0	6.1
書籍・文具	100	6.0	30.0	25.0	17.0	11.0	5.0	6.0
楽器・CD・レンタル	63	9.5	36.5	30.2	6.3	6.3	4.8	6.3
百貨店	56	1.8	35.7	23.2	14.3	7.1	8.9	8.9
ドラッグストア	39	2.6	35.9	41.0	7.7	-	5.1	7.7
ホームセンター・カー用品	30	10.0	30.0	26.7	16.7	-	6.7	10.0
その他専門店	22	13.6	22.7	4.5	13.6	-	18.2	27.3
婦人服・子供服	19	5.3	52.6	15.8	5.3	-	10.5	10.5
生鮮	15	-	26.7	33.3	13.3	6.7	6.7	13.3
コンビニ・ミニスーパー	14	7.1	42.9	35.7	7.1	-	7.1	-

問2-4②. 警察の対応時間／最短時間

警察の対応時間／最短時間については、「30分～1時間」211件(36.8%)、「30分以下」141件(24.6%)、「1～2時間」87件(15.2%)、「その他」35件(6.1%)、「2～3時間」26件(4.5%)、「3時間以上」11件(1.9%)となっている。

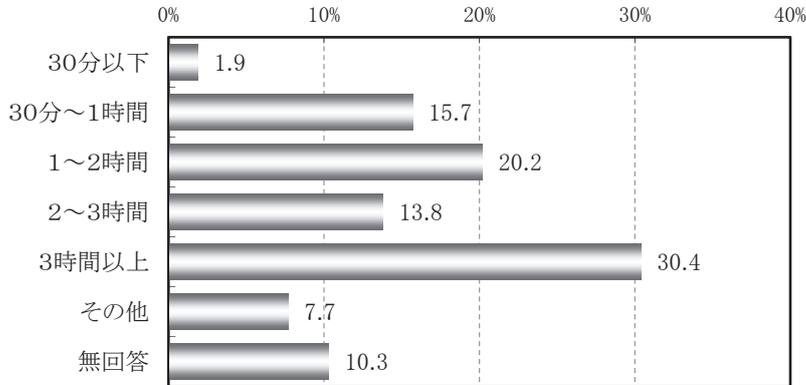


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	30分以下	30分～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間以上	その他	無回答
全体	573	24.6	36.8	15.2	4.5	1.9	6.1	10.8
スーパー	164	26.2	36.0	20.7	4.9	1.2	1.8	9.1
書籍・文具	100	25.0	34.0	19.0	6.0	4.0	3.0	9.0
楽器・CD・レンタル	63	31.7	36.5	12.7	4.8	3.2	3.2	7.9
百貨店	56	19.6	41.1	12.5	5.4	-	7.1	14.3
ドラッグストア	39	15.4	48.7	23.1	-	-	5.1	7.7
ホームセンター・カー用品	30	26.7	36.7	10.0	3.3	3.3	10.0	10.0
その他専門店	22	22.7	13.6	9.1	9.1	-	18.2	27.3
婦人服・子供服	19	15.8	57.9	5.3	-	-	10.5	10.5
生鮮	15	6.7	53.3	-	6.7	6.7	6.7	20.0
コンビニ・ミニスーパー	14	57.1	35.7	-	-	-	7.1	-

問2-4③. 警察の対応時間/最長時間

警察の対応時間/最長時間については、「3時間以上」174件(30.4%)、「1～2時間」116件(20.2%)、「30分～1時間」90件(15.7%)、「2～3時間」79件(13.8%)、「その他」44件(7.7%)、「30分以下」11件(1.9%)となっている。



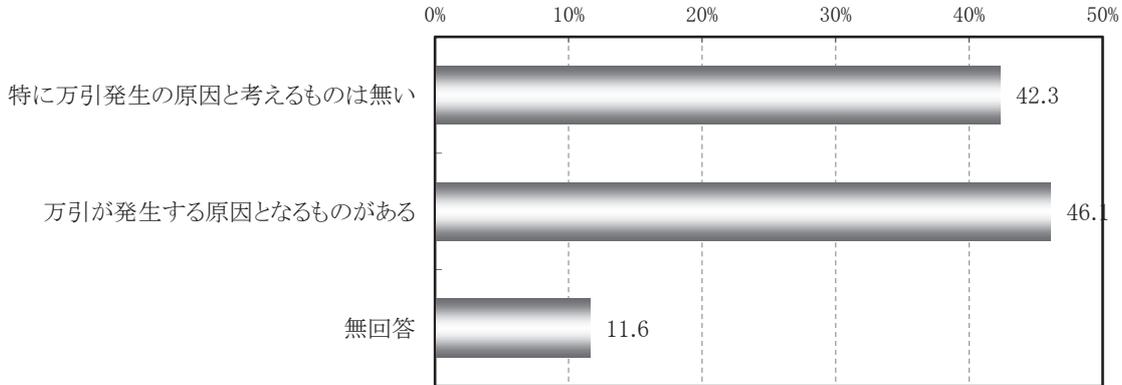
〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	30分以下	30分～1時間	1～2時間	2～3時間	3時間以上	その他	無回答
全体	573	1.9	15.7	20.2	13.8	30.4	7.7	10.3
スーパー	164	0.6	17.1	20.7	12.2	35.4	4.9	9.1
書籍・文具	100	2.0	16.0	23.0	9.0	37.0	5.0	8.0
楽器・CD・レンタル	63	4.8	22.2	17.5	15.9	31.7	1.6	6.3
百貨店	56	-	17.9	19.6	14.3	25.0	8.9	14.3
ドラッグストア	39	-	15.4	23.1	25.6	23.1	5.1	7.7
ホームセンター・カー用品	30	3.3	13.3	16.7	13.3	30.0	13.3	10.0
その他専門店	22	9.1	13.6	-	9.1	22.7	18.2	27.3
婦人服・子供服	19	-	26.3	21.1	26.3	5.3	10.5	10.5
生鮮	15	-	-	26.7	20.0	33.3	6.7	13.3
コンビニ・ミニスーパー	14	7.1	7.1	14.3	28.6	35.7	7.1	-

Ⅱ. 万引犯罪の防止策について

問3-1. 万引が発生する原因の有無

万引が発生する原因の有無については、「万引が発生する原因となるものがある」278件(46.1%)、「特に万引発生の原因と考えるものは無い」255件(42.3%)となっている。

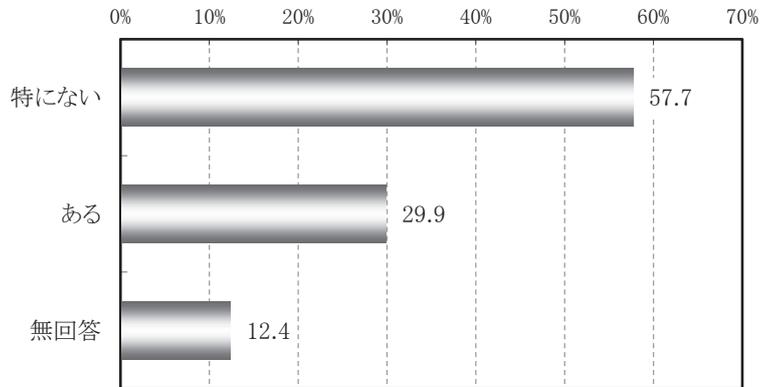


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	と特に万引発生は無い原因	と万引が発生する原因	無回答
全 体	603	42.3	46.1	11.6
スーパー	171	39.8	46.8	13.5
書籍・文具	105	31.4	60.0	8.6
楽器・CD・レンタル	68	51.5	38.2	10.3
百貨店	58	46.6	41.4	12.1
ドラッグストア	39	30.8	59.0	10.3
ホームセンター・カー用品	30	43.3	43.3	13.3
その他専門店	27	63.0	25.9	11.1
婦人服・子供服	21	47.6	42.9	9.5
生鮮	15	40.0	53.3	6.7
コンビニ・ミニスーパー	14	71.4	28.6	-

問4-1①. 万引防止策／ハード（機器等）対策

万引防止策／ハード（機器等）対策については、「特にない」348件（57.7%）、「ある」180件（29.9%）となっている。

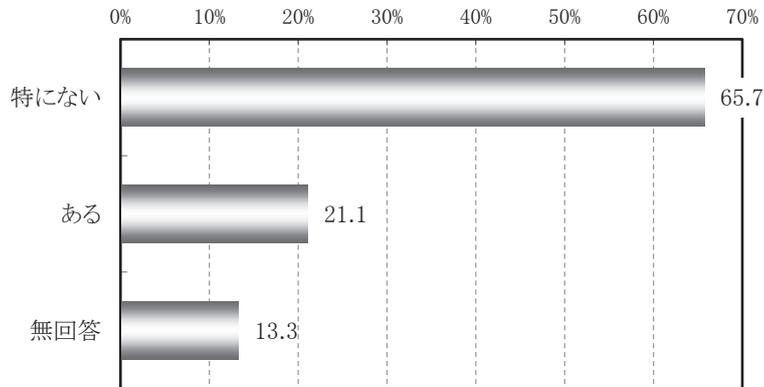


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	603	57.7	29.9	12.4
スーパー	171	53.2	36.3	10.5
書籍・文具	105	58.1	26.7	15.2
楽器・CD・レンタル	68	66.2	22.1	11.8
百貨店	58	62.1	31.0	6.9
ドラッグストア	39	59.0	30.8	10.3
ホームセンター・カー用品	30	66.7	33.3	-
その他専門店	27	59.3	11.1	29.6
婦人服・子供服	21	52.4	38.1	9.5
生鮮	15	60.0	20.0	20.0
コンビニ・ミニスーパー	14	50.0	28.6	21.4

問4-1②. 万引防止策/ソフト(訓練等)対策

万引防止策/ソフト(訓練等)対策については、「特にない」396件(65.7%)、「ある」127件(21.1%)となっている。

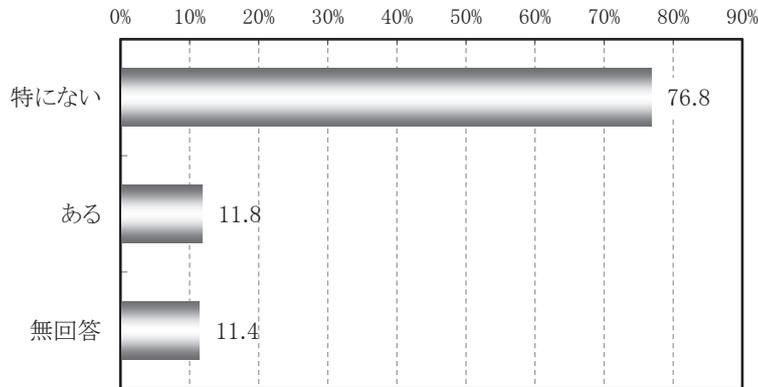


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	603	65.7	21.1	13.3
スーパー	171	69.6	19.3	11.1
書籍・文具	105	64.8	20.0	15.2
楽器・CD・レンタル	68	72.1	19.1	8.8
百貨店	58	60.3	25.9	13.8
ドラッグストア	39	66.7	23.1	10.3
ホームセンター・カー用品	30	73.3	23.3	3.3
その他専門店	27	55.6	14.8	29.6
婦人服・子供服	21	66.7	19.0	14.3
生鮮	15	60.0	20.0	20.0
コンビニ・ミニスーパー	14	64.3	14.3	21.4

問4-1③. 万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策

万引防止策／万引対策の連絡会や学校などの地域対策については、「特にない」463件(76.8%)、「ある」71件(11.8%)となっている。

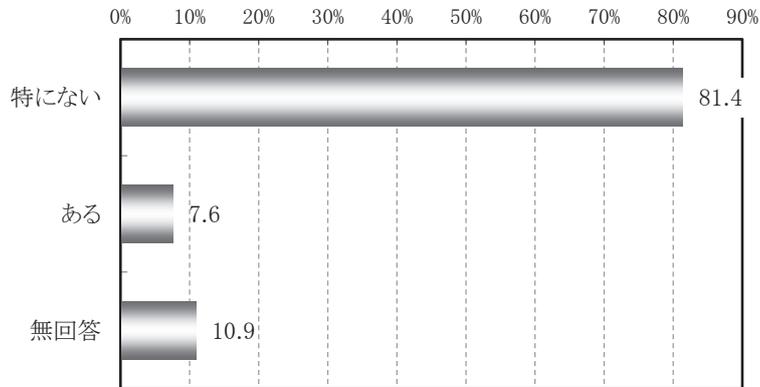


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	603	76.8	11.8	11.4
スーパー	171	76.6	14.0	9.4
書籍・文具	105	78.1	10.5	11.4
楽器・CD・レンタル	68	83.8	7.4	8.8
百貨店	58	60.3	29.3	10.3
ドラッグストア	39	84.6	7.7	7.7
ホームセンター・カー用品	30	86.7	13.3	-
その他専門店	27	59.3	3.7	37.0
婦人服・子供服	21	76.2	4.8	19.0
生鮮	15	60.0	13.3	26.7
コンビニ・ミニスーパー	14	78.6	7.1	14.3

問4-1④. 万引防止策／高齢者の万引防止策

万引防止策／高齢者の万引防止策については、「特にない」491件(81.4%)、「ある」46件(7.6%)となっている。

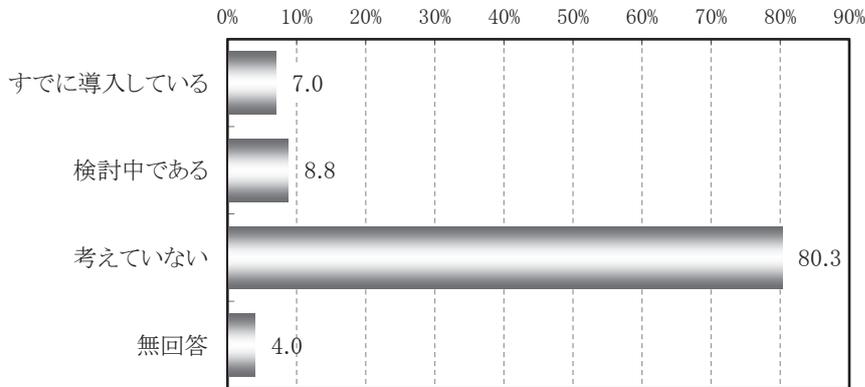


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	特にない	ある	無回答
全 体	603	81.4	7.6	10.9
スーパー	171	77.8	14.6	7.6
書籍・文具	105	85.7	2.9	11.4
楽器・CD・レンタル	68	89.7	1.5	8.8
百貨店	58	75.9	10.3	13.8
ドラッグストア	39	84.6	5.1	10.3
ホームセンター・カー用品	30	90.0	10.0	-
その他専門店	27	66.7	-	33.3
婦人服・子供服	21	85.7	-	14.3
生鮮	15	53.3	26.7	20.0
コンビニ・ミニスーパー	14	71.4	7.1	21.4

問4-2. 顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入

顔認証システムや不審動作を検知する機器の導入については、「考えていない」484件(80.3%)、「検討中である」53件(8.8%)、「すでに導入している」42件(7%)となっている。

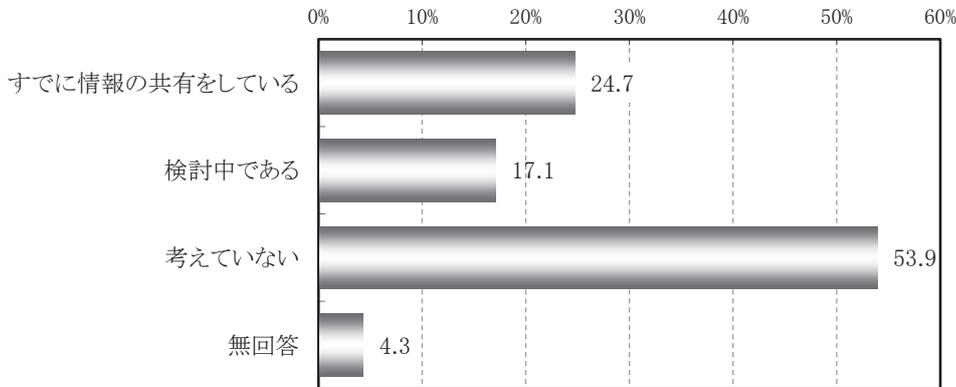


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	すでに導入している	検討中である	考えていない	無回答
全 体	603	7.0	8.8	80.3	4.0
スーパー	171	5.3	9.9	83.0	1.8
書籍・文具	105	13.3	9.5	71.4	5.7
楽器・CD・レンタル	68	13.2	5.9	75.0	5.9
百貨店	58	3.4	6.9	87.9	1.7
ドラッグストア	39	2.6	25.6	71.8	-
ホームセンター・カー用品	30	6.7	6.7	86.7	-
その他専門店	27	-	3.7	81.5	14.8
婦人服・子供服	21	-	-	95.2	4.8
生鮮	15	20.0	-	66.7	13.3
コンビニ・ミニスーパー	14	-	-	100.0	-

問4-3. 集団窃盗対策として、同業者との情報共有について

集団窃盗対策として、同業者との情報共有については、「考えていない」325件(53.9%)、「すでに情報の共有をしている」149件(24.7%)、「検討中である」103件(17.1%)となっている。

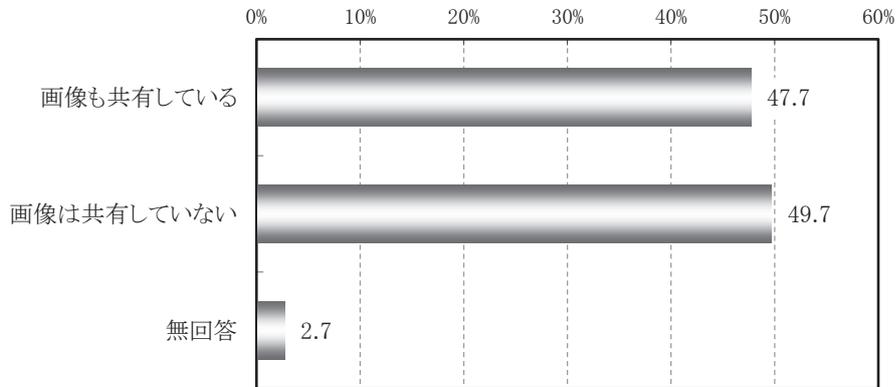


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	すでに情報の共有をしている	検討中である	考えていない	無回答
全体	603	24.7	17.1	53.9	4.3
スーパー	171	18.1	20.5	59.6	1.8
書籍・文具	105	21.9	25.7	47.6	4.8
楽器・CD・レンタル	68	17.6	14.7	60.3	7.4
百貨店	58	39.7	12.1	46.6	1.7
ドラッグストア	39	59.0	17.9	20.5	2.6
ホームセンター・カー用品	30	20.0	6.7	73.3	-
その他専門店	27	22.2	3.7	59.3	14.8
婦人服・子供服	21	23.8	9.5	61.9	4.8
生鮮	15	20.0	26.7	40.0	13.3
コンビニ・ミニスーパー	14	50.0	7.1	42.9	-

問4-4. 犯人が映っている画像の共有

犯人が映っている画像の共有については、「画像は共有していない」74件(49.7%)、「画像も共有している」71件(47.7%)となっている。

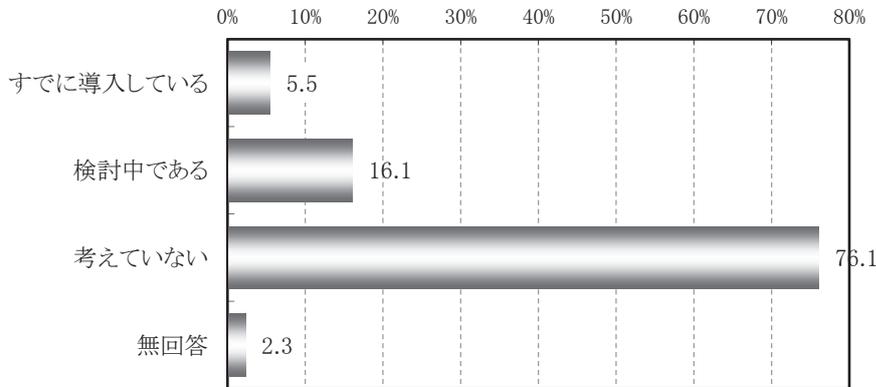


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	画像も共有している	画像は共有していない	無回答
全体	149	47.7	49.7	2.7
スーパー	31	51.6	48.4	-
書籍・文具	23	43.5	47.8	8.7
楽器・CD・レンタル	12	58.3	41.7	-
百貨店	23	56.5	39.1	4.3
ドラッグストア	23	39.1	56.5	4.3
ホームセンター・カー用品	6	33.3	66.7	-
その他専門店	6	50.0	50.0	-
婦人服・子供服	5	60.0	40.0	-
生鮮	3	33.3	66.7	-
コンビニ・ミニスーパー	7	28.6	71.4	-

問5-1. 捕捉にかかった費用（人件費等）の損害賠償請求

捕捉にかかった費用(人件費等)の損害賠償請求については、「考えていない」459件(76.1%)、「検討中である」97件(16.1%)、「すでに導入している」33件(5.5%)となっている。

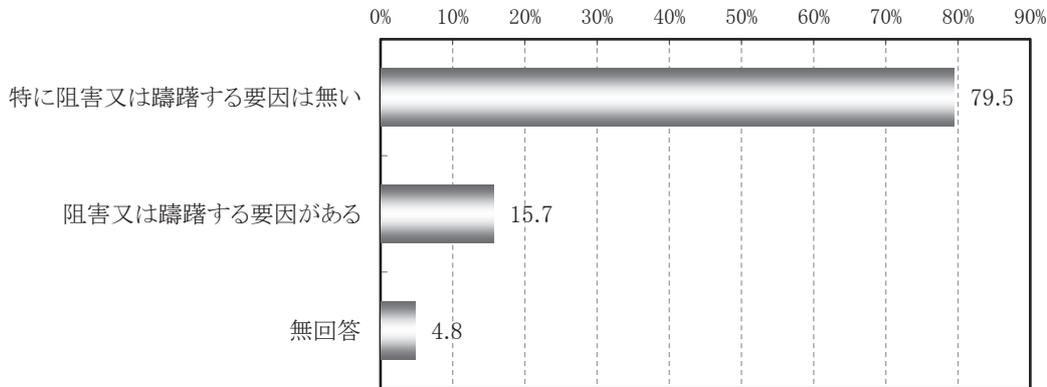


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	すでに導入している	検討中である	考えていない	無回答
全体	603	5.5	16.1	76.1	2.3
スーパー	171	4.7	11.7	83.0	0.6
書籍・文具	105	9.5	25.7	64.8	-
楽器・CD・レンタル	68	8.8	14.7	72.1	4.4
百貨店	58	3.4	12.1	84.5	-
ドラッグストア	39	5.1	20.5	71.8	2.6
ホームセンター・カー用品	30	3.3	13.3	80.0	3.3
その他専門店	27	3.7	14.8	70.4	11.1
婦人服・子供服	21	14.3	14.3	66.7	4.8
生鮮	15	-	13.3	86.7	-
コンビニ・ミニスーパー	14	-	-	92.9	7.1

問5-2. 損害賠償請求することに阻害・躊躇する要因

損害賠償請求することに阻害・躊躇する要因については、「特に阻害又は躊躇する要因は無い」365件(79.5%)、「阻害又は躊躇する要因がある」72件(15.7%)となっている。

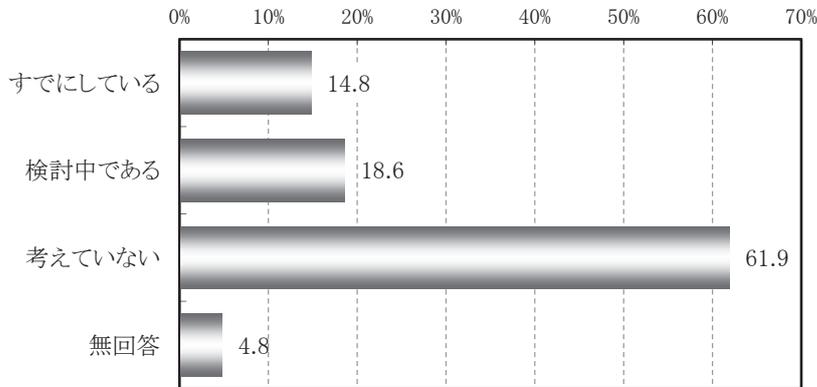


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	特に阻害又は躊躇する要因は無い (%)	阻害又は躊躇する要因がある (%)	無回答 (%)
全体	459	79.5	15.7	4.8
スーパー	142	81.0	14.1	4.9
書籍・文具	68	70.6	25.0	4.4
楽器・CD・レンタル	49	73.5	16.3	10.2
百貨店	49	81.6	14.3	4.1
ドラッグストア	28	82.1	17.9	-
ホームセンター・カー用品	24	87.5	4.2	8.3
その他専門店	19	78.9	21.1	-
婦人服・子供服	14	78.6	21.4	-
生鮮	13	76.9	15.4	7.7
コンビニ・ミニスーパー	13	84.6	7.7	7.7

問6. 万引に関して地域社会とのタイアップ

万引に関して地域社会とのタイアップについては、「考えていない」373件(61.9%)、「検討中である」112件(18.6%)、「すでに行っている」89件(14.8%)となっている。

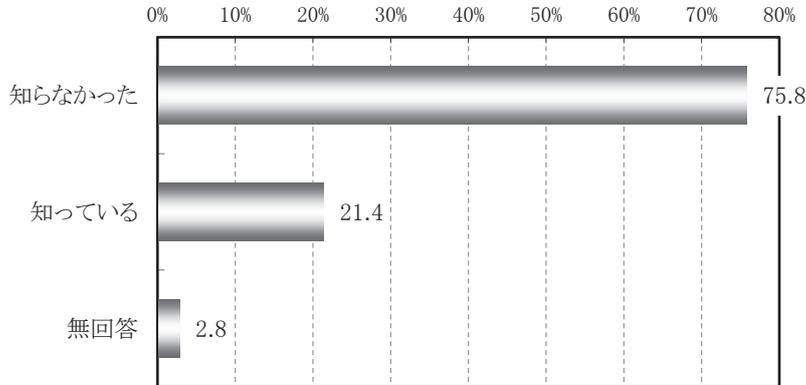


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	すでにしている	検討中である	考えていない	無回答
全 体	603	14.8	18.6	61.9	4.8
スーパー	171	15.8	20.5	59.6	4.1
書籍・文具	105	12.4	23.8	59.0	4.8
楽器・CD・レンタル	68	8.8	14.7	72.1	4.4
百貨店	58	36.2	15.5	46.6	1.7
ドラッグストア	39	12.8	23.1	56.4	7.7
ホームセンター・カー用品	30	10.0	13.3	73.3	3.3
その他専門店	27	7.4	3.7	77.8	11.1
婦人服・子供服	21	9.5	4.8	71.4	14.3
生鮮	15	20.0	26.7	53.3	-
コンビニ・ミニスーパー	14	7.1	42.9	50.0	-

問7. 被害者等通知制度の認知

被害者等通知制度の認知については、「知らなかった」457件(75.8%)、「知っている」129件(21.4%)となっている。

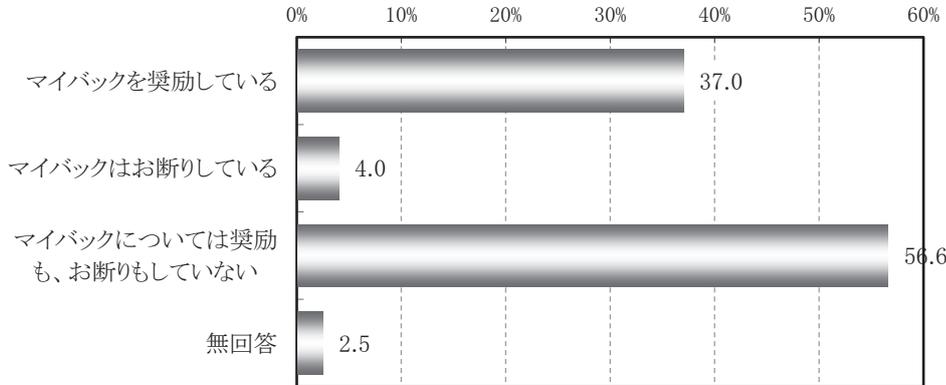


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	知らなかった	知っている	無回答
全 体	603	75.8	21.4	2.8
スーパー	171	78.4	20.5	1.2
書籍・文具	105	80.0	19.0	1.0
楽器・CD・レンタル	68	88.2	8.8	2.9
百貨店	58	55.2	41.4	3.4
ドラッグストア	39	64.1	33.3	2.6
ホームセンター・カー用品	30	76.7	23.3	-
その他専門店	27	85.2	-	14.8
婦人服・子供服	21	81.0	14.3	4.8
生鮮	15	73.3	26.7	-
コンビニ・ミニスーパー	14	64.3	28.6	7.1

問8. マイバックについて

マイバックについては、「マイバックについては奨励も、お断りもしていない」341件(56.6%)、「マイバックを奨励している」223件(37%)、「マイバックはお断りしている」24件(4%)となっている。



〔経年比較表〕

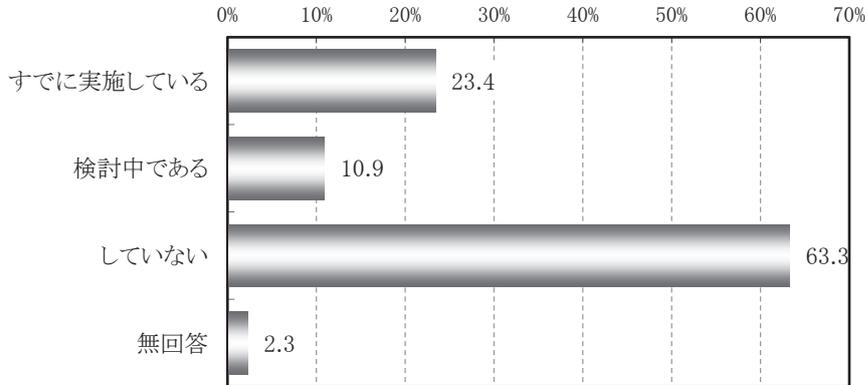
回数(年度)	マイバックを奨励している	マイバックはお断りしている	マイバックについては奨励も、お断りもしていない	無回答
第10回(平成26年度)	37.0	4.0	56.6	2.5
第9回(平成25年度)	38.9	5.8	53.6	1.6
第8回(平成24年度)	42.4	5.6	50.1	1.9

〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	マイバックを奨励している	マイバックはお断りしている	マイバックについては奨励も、お断りもしていない	無回答
全 体	603	37.0	4.0	56.6	2.5
スーパー	171	88.3	-	11.1	0.6
書籍・文具	105	1.9	4.8	91.4	1.9
楽器・CD・レンタル	68	1.5	14.7	77.9	5.9
百貨店	58	53.4	3.4	43.1	-
ドラッグストア	39	28.2	5.1	61.5	5.1
ホームセンター・カー用品	30	20.0	6.7	73.3	-
その他専門店	27	-	3.7	81.5	14.8
婦人服・子供服	21	-	4.8	95.2	-
生鮮	15	80.0	-	20.0	-
コンビニ・ミニスーパー	14	35.7	-	64.3	-

問9-1. 万引窃盗犯の「店内確保」について

万引窃盗犯の「店内確保」については、「していない」382件(63.3%)、「すでに実施している」141件(23.4%)、「検討中である」66件(10.9%)となっている。

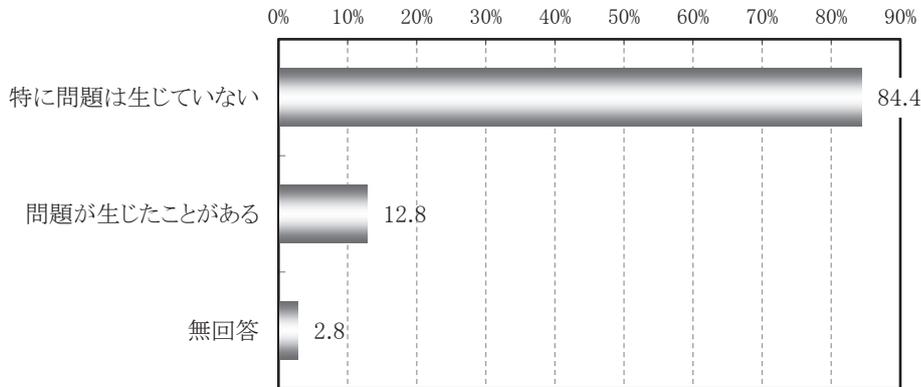


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	すでに実施している	検討中である	していない	無回答
全 体	603	23.4	10.9	63.3	2.3
スーパー	171	22.2	7.0	69.6	1.2
書籍・文具	105	32.4	16.2	50.5	1.0
楽器・CD・レンタル	68	33.8	13.2	50.0	2.9
百貨店	58	27.6	12.1	58.6	1.7
ドラッグストア	39	12.8	20.5	64.1	2.6
ホームセンター・カー用品	30	13.3	3.3	83.3	-
その他専門店	27	18.5	7.4	66.7	7.4
婦人服・子供服	21	9.5	19.0	66.7	4.8
生鮮	15	26.7	6.7	66.7	-
コンビニ・ミニスーパー	14	-	7.1	92.9	-

問9-2. 「店内確保」で発生した問題

「店内確保」で発生した問題については、「特に問題は生じていない」119件(84.4%)、「問題が生じたことがある」18件(12.8%)となっている。

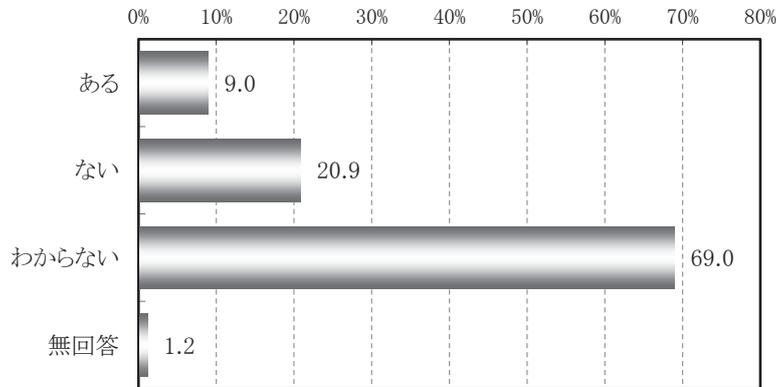


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	特に問題は生じていない (%)	問題が生じたことがある (%)	無回答 (%)
全体	141	84.4	12.8	2.8
スーパー	38	89.5	7.9	2.6
書籍・文具	34	85.3	8.8	5.9
楽器・CD・レンタル	23	87.0	13.0	-
百貨店	16	75.0	25.0	-
ドラッグストア	5	80.0	20.0	-
ホームセンター・カー用品	4	-	75.0	25.0
その他専門店	5	100.0	-	-
婦人服・子供服	2	100.0	-	-
生鮮	4	100.0	-	-
コンビニ・ミニスーパー	-	-	-	-

問10-1. 万引された商品がネットオークションに出品されたこと

万引された商品がネットオークションに出品されたことについては、「わからない」416件(69%)、「ない」126件(20.9%)、「ある」54件(9%)となっている。

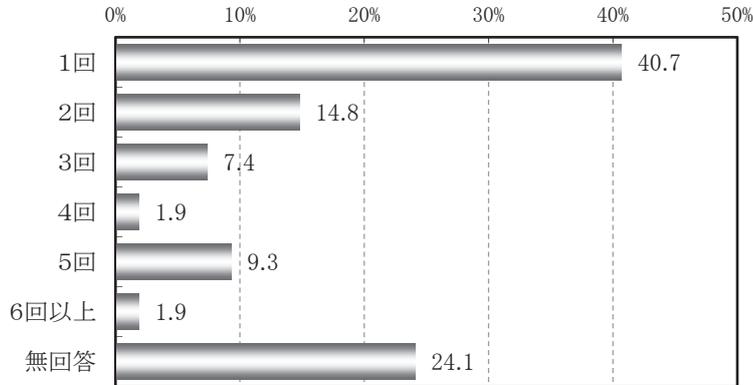


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	ある	ない	わからない	無回答
全 体	603	9.0	20.9	69.0	1.2
スーパー	171	4.1	35.7	59.6	0.6
書籍・文具	105	8.6	8.6	82.9	-
楽器・CD・レンタル	68	5.9	17.6	75.0	1.5
百貨店	58	20.7	10.3	69.0	-
ドラッグストア	39	17.9	7.7	71.8	2.6
ホームセンター・カー用品	30	23.3	6.7	70.0	-
その他専門店	27	7.4	37.0	48.1	7.4
婦人服・子供服	21	14.3	19.0	66.7	-
生鮮	15	-	60.0	40.0	-
コンビニ・ミニスーパー	14	7.1	28.6	64.3	-

問10-2. 万引きされた商品がネットオークションに出品された回数

万引きされた商品がネットオークションに出品された回数については、「1回」22件(40.7%)、「2回」8件(14.8%)、「5回」5件(9.3%)、「3回」4件(7.4%)、「4回」1件(1.9%)、「6回以上」1件(1.9%)となっている。

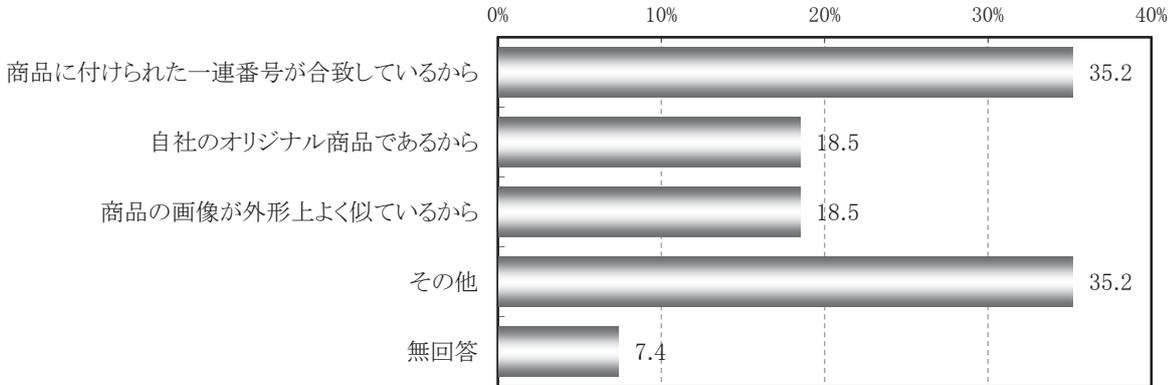


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	1回	2回	3回	4回	5回	6回以上	無回答	平均
全 体	54	40.7	14.8	7.4	1.9	9.3	1.9	24.1	2.2
スーパー	7	57.1	-	14.3	-	-	14.3	14.3	2.8
書籍・文具	9	-	22.2	22.2	-	11.1	-	44.4	3.0
楽器・CD・レンタル	4	50.0	25.0	-	-	25.0	-	-	2.3
百貨店	12	50.0	16.7	-	8.3	16.7	-	8.3	2.2
ドラッグストア	7	28.6	-	14.3	-	14.3	-	42.9	2.5
ホームセンター・カー用品	7	71.4	28.6	-	-	-	-	-	1.3
その他専門店	2	50.0	50.0	-	-	-	-	-	1.5
婦人服・子供服	3	66.7	-	-	-	-	-	33.3	1.0
生鮮	-	-	-	-	-	-	-	-	-
コンビニ・ミニスーパー	1	-	-	-	-	-	-	100.0	-

問10-3. 万引商品であると判断した理由

万引商品であると判断した理由については、「商品に付けられた一連番号が合致しているから」19件(35.2%)、「その他」19件(35.2%)、「自社のオリジナル商品であるから」10件(18.5%)、「商品の画像が外形上よく似ているから」10件(18.5%)となっている。

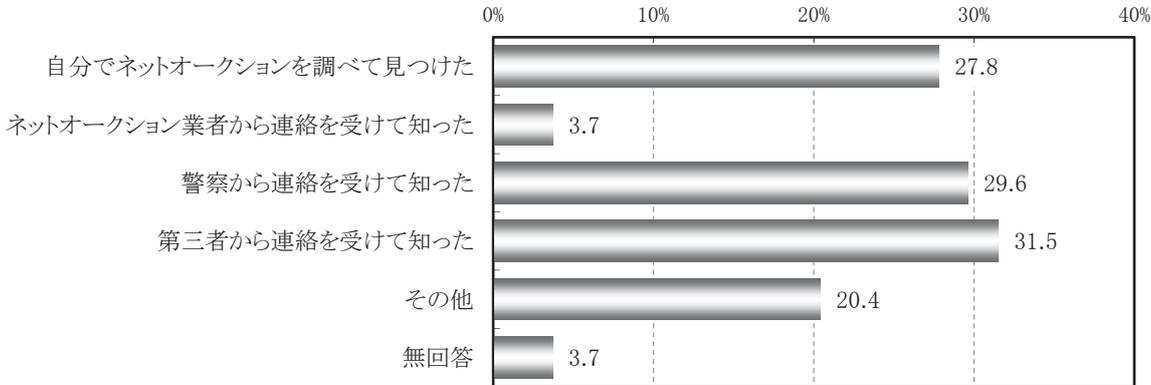


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	連番が合致しているから	自社のオリジナル商品であるから	商品の画像が外形上よく似ているから	その他	無回答
全体	54	35.2	18.5	18.5	35.2	7.4
スーパー	7	42.9	28.6	14.3	28.6	-
書籍・文具	9	33.3	-	33.3	22.2	22.2
楽器・CD・レンタル	4	50.0	-	25.0	25.0	-
百貨店	12	25.0	25.0	16.7	33.3	8.3
ドラッグストア	7	42.9	14.3	14.3	42.9	14.3
ホームセンター・カー用品	7	42.9	-	14.3	57.1	-
その他専門店	2	-	50.0	-	50.0	-
婦人服・子供服	3	-	66.7	33.3	33.3	-
生鮮	-	-	-	-	-	-
コンビニ・ミニスーパー	1	-	100.0	-	-	-

問10-4. 出品を知った経緯

出品を知った経緯については、「第三者から連絡を受けて知った」17件(31.5%)、「警察から連絡を受けて知った」16件(29.6%)、「自分でネットオークションを調べて見つけた」15件(27.8%)、「その他」11件(20.4%)、「ネットオークション業者から連絡を受けて知った」2件(3.7%)となっている。

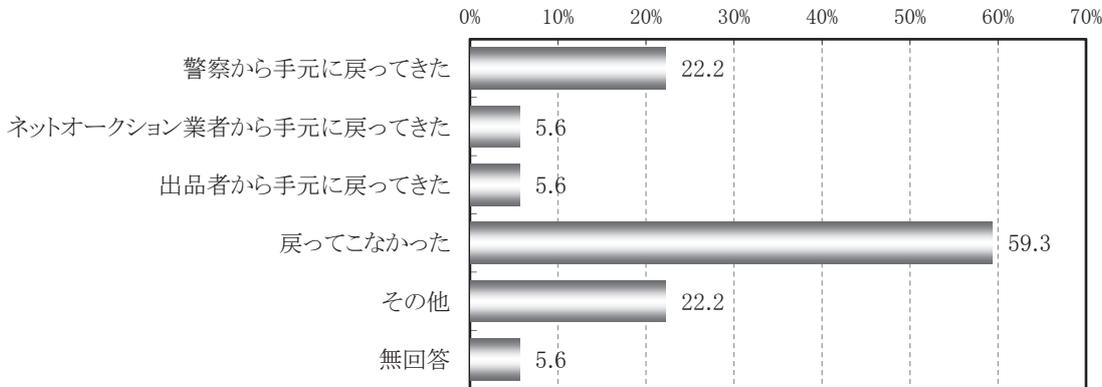


〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	自分でネットオークションを調べて見つけた	ネットオークション業者から連絡を受けた	警察から連絡を受けた	第三者から連絡を受けた	その他	無回答
全 体	54	27.8	3.7	29.6	31.5	20.4	3.7
スーパー	7	-	-	42.9	28.6	28.6	-
書籍・文具	9	22.2	11.1	44.4	22.2	33.3	11.1
楽器・CD・レンタル	4	-	-	25.0	75.0	-	-
百貨店	12	25.0	-	25.0	33.3	33.3	-
ドラッグストア	7	28.6	14.3	28.6	14.3	-	14.3
ホームセンター・カー用品	7	57.1	-	42.9	14.3	-	-
その他専門店	2	50.0	-	-	50.0	-	-
婦人服・子供服	3	33.3	-	-	66.7	33.3	-
生鮮	-	-	-	-	-	-	-
コンビニ・ミニスーパー	1	-	-	-	-	100.0	-

問10-5. 被害品のその後

被害品のその後については、「戻ってこなかった」32件(59.3%)、「警察から手元に戻ってきた」12件(22.2%)、「その他」12件(22.2%)、「ネットオークション業者から手元に戻ってきた」3件(5.6%)、「出品者から手元に戻ってきた」3件(5.6%)となっている。



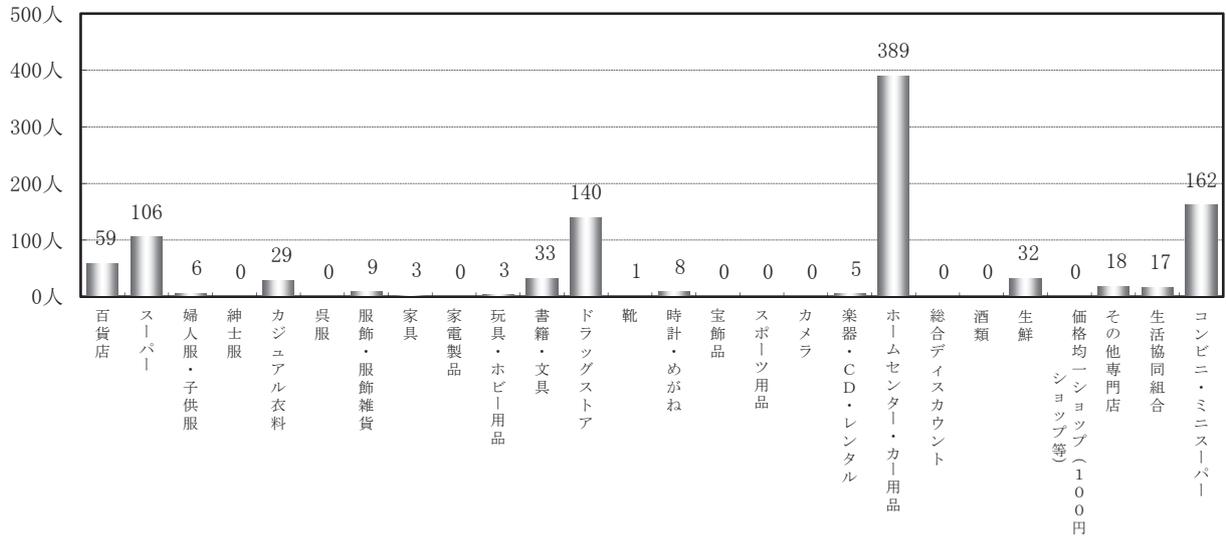
〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	警察から手元に戻ってきた	ネットオークション業者から手元に戻ってきた	出品者から手元に戻ってきた	戻ってこなかった	その他	無回答
全 体	54	22.2	5.6	5.6	59.3	22.2	5.6
スーパー	7	14.3	-	-	42.9	42.9	-
書籍・文具	9	33.3	22.2	-	44.4	-	22.2
楽器・CD・レンタル	4	-	-	-	100.0	-	-
百貨店	12	16.7	8.3	-	58.3	25.0	-
ドラッグストア	7	14.3	-	28.6	71.4	-	14.3
ホームセンター・カー用品	7	14.3	-	-	57.1	28.6	-
その他専門店	2	50.0	-	-	50.0	50.0	-
婦人服・子供服	3	33.3	-	-	33.3	66.7	-
生鮮	-	-	-	-	-	-	-
コンビニ・ミニスーパー	1	100.0	-	100.0	100.0	-	-

Ⅲ. 万引犯罪被害の状況及び傾向について

問11-1. 確保した万引犯の人数

確保した万引犯の人数については、この問いに対する有効回答407社の総人数が29,926人、業界平均が74人。平均人数の多い部門は、ホームセンター・カー用品 389人、コンビニ・ミニスーパー 162人、ドラッグストア 140人、スーパー 106人などの部門が多い。

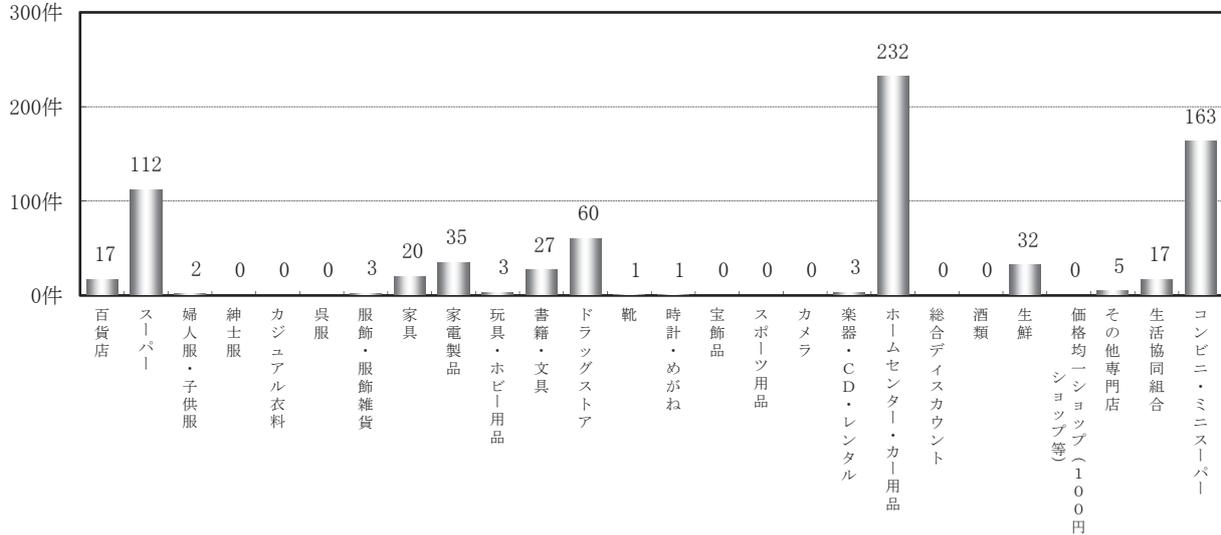


〔経年比較表／部門別比較表〕

部門別	第10回 (平成26年度)				第9回 (平成25年度)	第8回 (平成24年度)
	回答 企業数	有効 企業数	確保 人数	1社 平均	1社 平均	1社 平均
全体	603	407	29,926	74	79	73
百貨店	58	42	2,456	59	29	15
スーパー	171	120	12,671	106	162	117
婦人服・子供服	21	13	74	6	1	3
紳士服	2	1		0	-	1
カジュアル衣料	2	2	57	29	1	14
呉服	2	1		0	4	0
服飾・服飾雑貨	8	4	35	9	5	0
家具	2	1	3	3	30	3
家電製品	4	1		0	0	31
玩具・ホビー用品	11	9	29	3	5	7
書籍・文具	105	70	2,280	33	37	162
ドラッグストア	39	29	4,052	140	45	88
靴	7	2	1	1	0	0
時計・めがね	6	5	42	8	0	0
宝飾品	3	0	0	0	0	0
スポーツ用品	3	1		0	-	15
カメラ	-	-	-	-	-	-
楽器・CD・レンタル	68	47	230	5	4	4
ホームセンター・カー用品	30	16	6,229	389	263	186
総合ディスカウント	1	1		0	-	120
酒類	2	1		0	1	9
生鮮	15	12	385	32	0	0
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	0	0	0	0	20
その他専門店	27	22	395	18	3	4
生活協同組合	1	1	17	17	-	51
コンビニ・ミニスーパー	14	6	970	162	155	50

問11-1. 万引犯罪被害の件数

同様に、確保した万引犯の件数については、この問いに対する有効回答441社の総件数が24,873件、業界平均が56件。平均人数の多い部門は、ホームセンター・カー用品 232件、コンビニ・ミニスーパー 163件、スーパー 112件、ドラッグストア 60件、などの部門が多い。

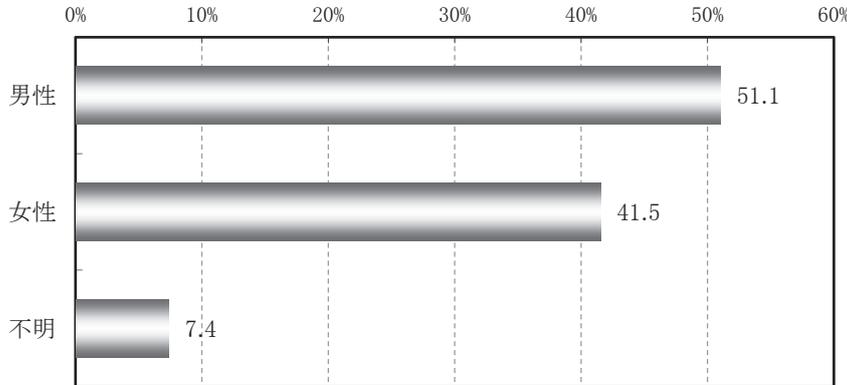


〔経年比較表／部門別比較表〕

部門別	第10回 (平成26年度)				第9回 (平成25年度)	第8回 (平成24年度)
	回答 企業 数	有効 企業 数	総 被害 件数	1 社 平均	1 社 平均	1 社 平均
全体	603	441	24,873	56	94	130
百貨店	58	46	775	17	74	126
スーパー	171	125	14,044	112	149	168
婦人服・子供服	21	14	24	2	4	7
紳士服	2	1		0	-	1
カジュアル衣料	2	0	0	0	3	3
呉服	2	1		0	6	2
服飾・服飾雑貨	8	6	15	3	23	1
家具	2	1	20	20	30	128
家電製品	4	2	70	35	0	344
玩具・ホビー用品	11	11	35	3	8	6
書籍・文具	105	81	2,181	27	42	165
ドラッグストア	39	28	1,683	60	125	130
靴	7	2	1	1	0	2
時計・めがね	6	5	3	1	0	9
宝飾品	3	1		0	0	3
スポーツ用品	3	1		0	40	88
カメラ	-	-	-	-	-	-
楽器・CD・レンタル	68	53	160	3	5	13
ホームセンター・カー用品	30	18	4,176	232	375	478
総合ディスカウント	1	1		0	-	160
酒類	2	1		0	1	10
生鮮	15	13	419	32	0	0
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	0	0	0	0	17
その他専門店	27	22	106	5	21	7
生活協同組合	1	1	17	17	-	53
コンビニ・ミニスーパー	14	7	1,144	163	176	60

問11-2. 確保した万引犯の人数（性別）

確保した万引犯の男女別内訳は業界全体では、男性(51.1%)、女性(41.5%)、性別不明(7.4%)となっている。確保人数の平均は業界全体では、男性が44人、女性が35人となっている。

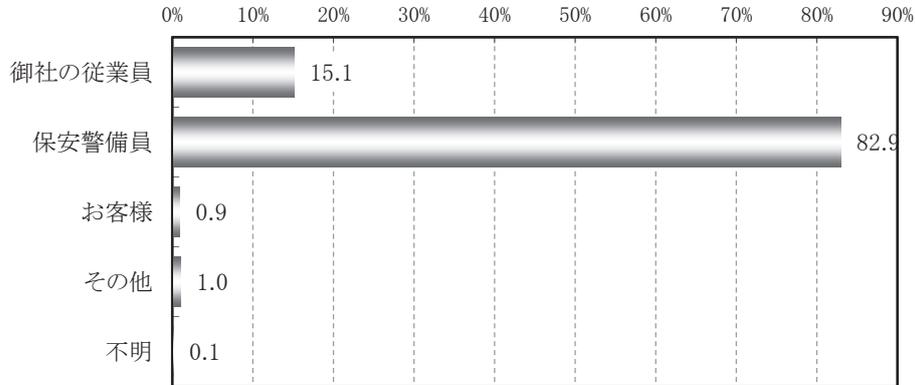


〔部門別比較表〕(平均人数・男女内訳)

部門別	確保された平均人数			男女構成比		
	男性	女性	不明	男性	女性	不明
全体	44	35	6	51.1	41.5	7.4
百貨店	10	15	1	39.5	58.6	1.9
スーパー	62	57	14	46.5	43.0	10.5
婦人服・子供服	2	4	0	35.1	64.9	0.0
紳士服	0	0	0	0.0	0.0	0.0
カジュアル衣料	0	0	0	0.0	0.0	0.0
呉服	0	0	0	0.0	0.0	0.0
服飾・服飾雑貨	3	4	0	44.8	55.2	0.0
家具	0	1	0	0.0	100.0	0.0
家電製品	0	0	0	0.0	0.0	0.0
玩具・ホビー用品	4	1	0	84.8	15.2	0.0
書籍・文具	10	7	3	51.3	33.5	15.2
ドラッグストア	40	45	9	42.4	47.8	9.8
靴	0	1	0	0.0	100.0	0.0
時計・めがね	1	0	3	25.0	0.0	75.0
宝飾品	0	0	0	0.0	0.0	0.0
スポーツ用品	0	0	0	0.0	0.0	0.0
カメラ	0	0	0	0.0	0.0	0.0
楽器・CD・レンタル	4	1	1	65.7	19.4	14.9
ホームセンター・カー用品	199	76	0	72.4	27.6	0.0
総合ディスカウント	0	0	0	0.0	0.0	0.0
酒類	0	0	0	0.0	0.0	0.0
生鮮	15	15	0	49.7	50.3	0.0
価格均一ショップ(100円ショップ等)	0	0	0	0.0	0.0	0.0
その他専門店	10	5	0	68.0	32.0	0.0
生活協同組合	0	0	17	0.0	0.0	100.0
コンビニ・ミニスーパー	183	57	1	76.3	23.5	0.2

問12. 万引犯を確保した者の内訳

万引犯を確保した者の内訳は、業界全体では、保安警備員(82.9%)、御社の従業員(15.1%)、その他(1.0%)、お客様(0.9%)、不明(0.1%)となっている。



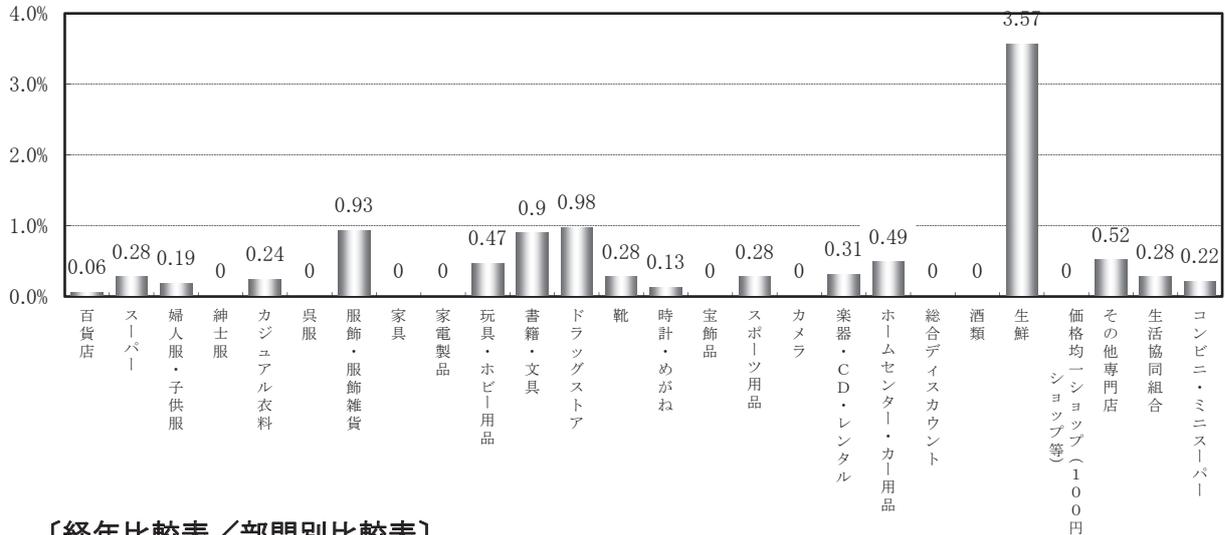
〔部門別比較表〕(上位10部門のみ)

部門別	回答企業数	御社の従業員	保安警備員	お客様	その他	不明
全体	603	15.1	82.9	0.9	1.0	0.1
スーパー	171	7.7	90.6	0.9	0.8	0.1
書籍・文具	105	33.3	59.9	0.8	5.9	0.1
楽器・CD・レンタル	68	51.4	32.4	13.5	2.7	0.0
百貨店	58	21.3	75.6	1.1	2.0	0.0
ドラッグストア	39	10.7	85.9	1.4	1.3	0.7
ホームセンター・カー用品	30	5.5	94.1	0.0	0.4	0.0
その他専門店	27	30.7	69.3	0.0	0.0	0.0
婦人服・子供服	21	22.2	25.9	51.9	0.0	0.0
生鮮	15	41.6	55.8	0.6	1.9	0.0
コンビニ・ミニスーパー	14	91.7	8.3	0.0	0.0	0.0

問13. 年間の総売上げに対する不明ロス金額の構成比

回答企業各社の決算年度における年間の不明ロス金額(万引き以外も含む不明ロスの総額)の年間総売上げに対する構成比については、直近年度で、この問いに対する有効回答242社の平均が0.49%となっている。

構成比の多い順としては、生鮮(3.57%)、ドラッグストア(0.98%)、服飾・服飾雑貨(0.93%)、書籍・文具(0.9%)、その他専門店(0.52%)、ホームセンター・カー用品(0.49%)となっている。

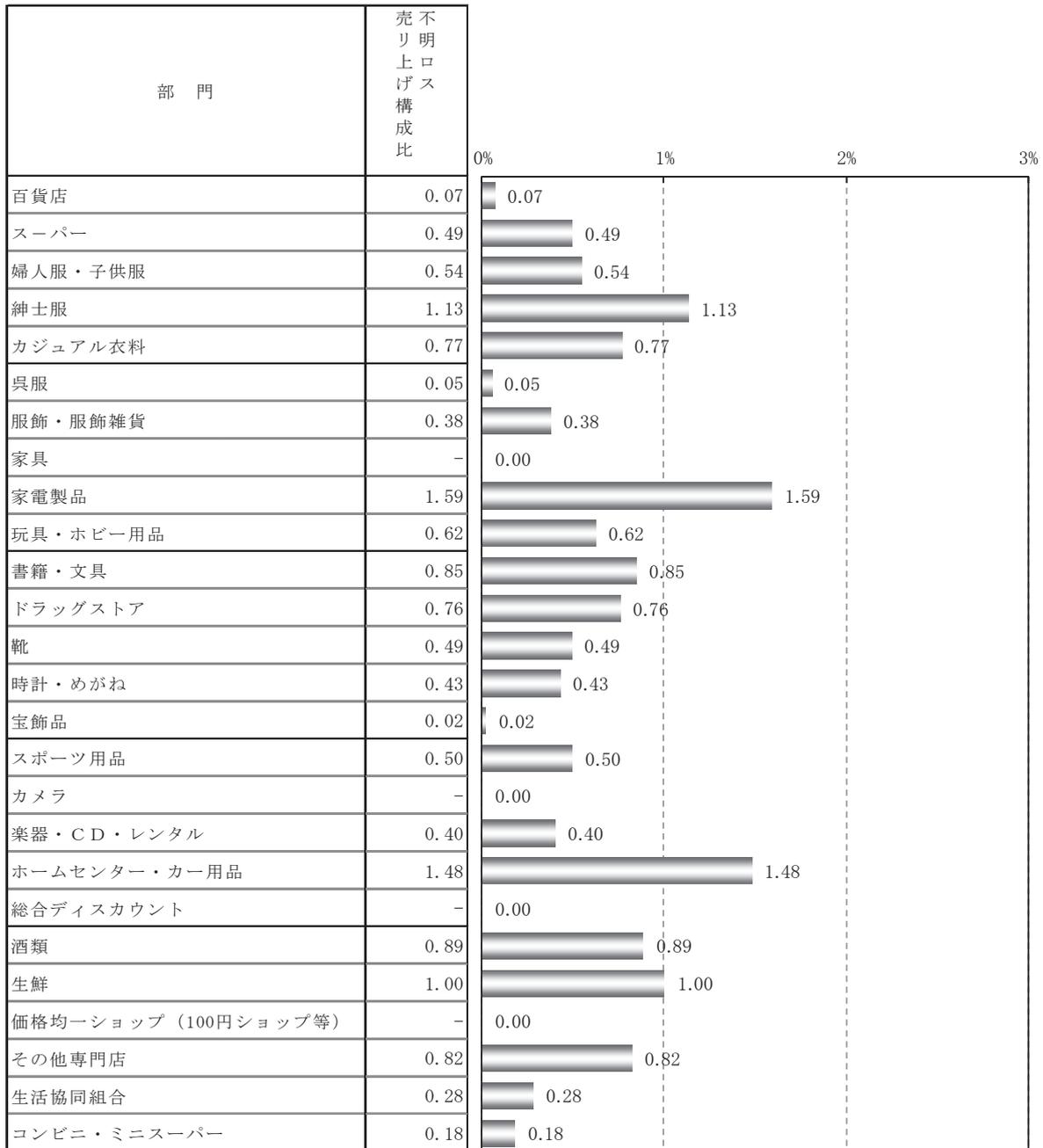


〔経年比較表／部門別比較表〕

部門別	第10回 (平成26年度)			第9回 (平成25年度)	第8回 (平成24年度)
	回答 企業 数	有効 企業 数	1 社 平 均	1 社 平 均	1 社 平 均
全体	603	242	0.49	0.65	0.57
百貨店	58	25	0.06	0.26	0.11
スーパー	171	52	0.28	0.88	0.78
婦人服・子供服	21	9	0.19	0.20	0.16
紳士服	2	1	0.00	-	0.45
カジュアル衣料	2	2	0.24	0.00	0.37
呉服	2	1	0.00	0.04	0.12
服飾・服飾雑貨	8	4	0.93	0.80	1.33
家具	2	0	0.00	0.06	0.26
家電製品	4	0	0.00	0.00	0.11
玩具・ホビー用品	11	6	0.47	0.11	0.11
書籍・文具	105	44	0.90	0.89	0.51
ドラッグストア	39	22	0.98	0.60	1.02
靴	7	4	0.28	0.03	0.20
時計・めがね	6	3	0.13	0.37	0.05
宝飾品	3	0	0.00	0.63	0.03
スポーツ用品	3	1	0.28	0.03	0.50
カメラ	-	-	-	-	-
楽器・CD・レンタル	68	32	0.31	0.59	0.37
ホームセンター・カー用品	30	17	0.49	0.53	1.12
総合ディスカウント	1	0	0.00	0.40	0.29
酒類	2	1	0.00	0.20	0.03
生鮮	15	2	3.57	0.50	-
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	0	0.00	0.28	0.95
その他専門店	27	9	0.52	0.14	0.25
生活協同組合	1	1	0.28	-	0.45
コンビニ・ミニスーパー	14	6	0.22	2.21	0.32

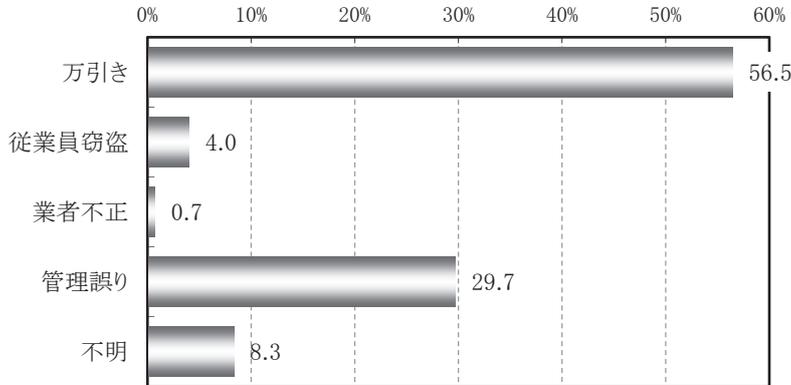
問13-2. 不明ロス部門別売上構成比

不明ロス部門別売上構成比については、家電製品(1.59%)、ホームセンター・カー用品(1.48%)、紳士服(1.13%)、生鮮(1.0%)、酒類(0.89%)、書籍・文具(0.85%)、その他専門店(0.82%)、カジュアル衣料(0.77%)となっている。



問14. 不明ロス金額の原因別推定割合

回答企業各社における不明ロス金額の原因別の推定割合については、万引き(56.5%)、管理誤り(29.7%)、不明(8.3%)、従業員窃盗(4.0%)、業者不正(0.7%)となっている。



〔部門別比較表〕

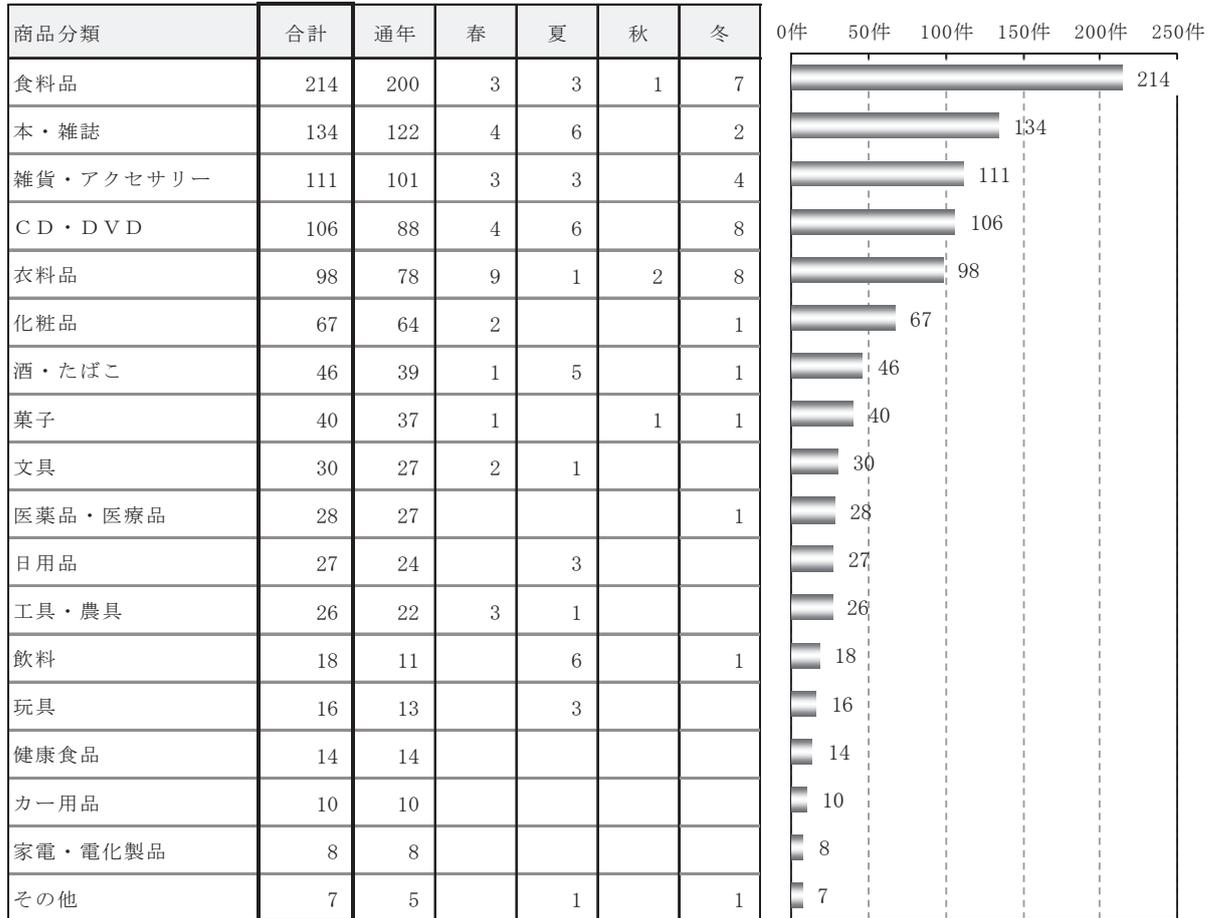
部門別	回答企業数	有効企業数	①万引き	②従業員窃盗	③業者不正	④管理誤り	⑤不明
全体	603	274	56.5	4.0	0.7	29.7	8.3
百貨店	58	22	47.7	1.1	0.7	42.7	7.7
スーパー	171	60	51.2	3.8	1.8	33.3	9.7
婦人服・子供服	21	13	61.5	1.6	0.1	36.2	1.4
紳士服	-	-	-	-	-	-	-
カジュアル衣料	2	2	60.0	0.0	0.0	25.0	15.0
呉服	2	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
服飾・服飾雑貨	8	4	75.0	0.0	0.0	10.0	15.0
家具	2	-	-	-	-	-	-
家電製品	4	-	-	-	-	-	-
玩具・ホビー用品	11	7	28.6	10.0	0.0	50.0	11.4
書籍・文具	105	55	68.7	3.8	0.0	21.5	4.2
ドラッグストア	39	25	61.0	5.2	0.8	16.4	12.6
靴	7	2	40.0	0.0	0.0	60.0	0.0
時計・めがね	6	5	64.0	2.0	0.0	31.0	3.0
宝飾品	3	1	20.0	10.0	0.0	0.0	70.0
スポーツ用品	3	-	-	-	-	-	-
カメラ	-	-	-	-	-	-	-
楽器・CD・レンタル	68	39	74.0	3.1	0.5	20.4	2.1
ホームセンター・カー用品	30	14	32.9	7.1	2.1	43.6	14.3
総合ディスカウント	1	-	-	-	-	-	-
酒類	2	-	-	-	-	-	-
生鮮	15	5	41.0	3.0	2.0	29.0	25.0
価格均一ショップ(100円ショップ等)	1	-	-	-	-	-	-
その他専門店	27	11	34.6	4.6	0.0	43.6	17.3
生活協同組合	1	1	10.0	0.0	0.0	80.0	10.0
コンビニ・ミニスーパー	14	7	37.1	15.7	0.0	31.4	15.7

問15. 時期別万引被害件数

回答企業各社に万引被害件数の多い商品を、被害件数の多い順に5つの商品を記入方式で尋ねた結果、回答いただいた総商品数は、1,000品となった。

また、各商品について、被害の発生に時期的な偏りがあるかも併せて尋ねたところ、「飲料」が夏場に多い点を除き、ほぼ通年で被害にあっていることが分かった。

〔商品分類別比較表〕(件数)



業界(企業)における東京万引き防止官民合同会議における取組状況について

警視庁生活安全総務課

1 調査概要

本調査の目的は、東京万引き防止官民合同会議における各種取組の浸透度等をはかるため、NPO法人全国万引犯罪防止機構が実施している「全国万引被害実態調査」の中で、調査対象者の企業のうち、東京都に店舗を持つ企業に対して調査を実施したものである。

2 調査結果の概要

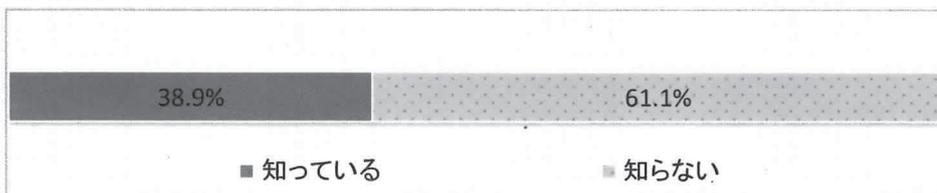
本調査の対象は、東京に店舗を持つ企業であるが、調査の特性上、対象企業が東京に店舗を持つか否かについて判然としないため、正確な調査対象母体数は不明であるため、調査母体数は、調査票に「東京都に店舗がある企業のみお答えください」と表示していることを捉え、各項目で「未回答」数を排除した数を調査対象数とした。

※「全国万引被害実態調査」の回答企業は 603 社

(1) 調査結果

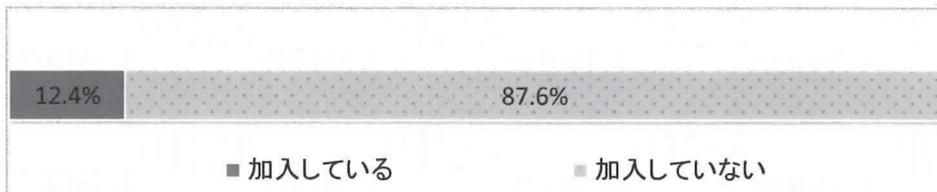
- 東京万引き防止官民合同会議等の取組の認知について (N=194)

東京万引き防止官民合同会議の取組認知度については、「知らない」と回答している割合が高い。



- 万引き防止連絡会の加入状況 (N=186)

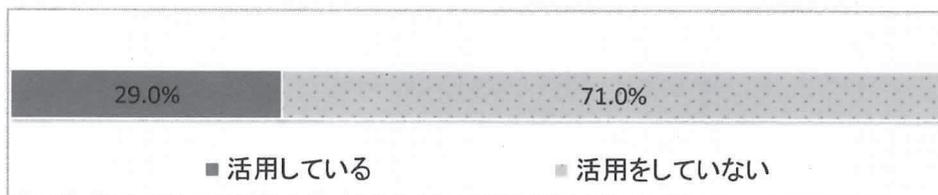
各警察署に設置している万引き防止連絡会については「加入していない」と回答している割合が高い。



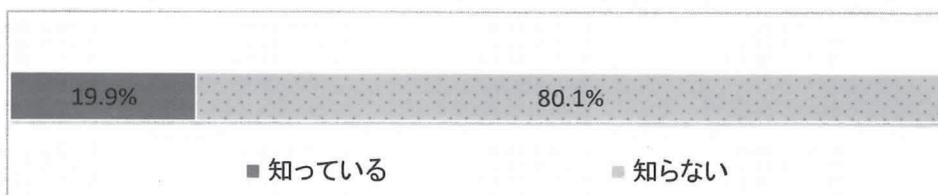
- 「万引きゼロの日」活動参加経験（N=191）
地域の店舗や住民に対して、広報啓発活動を実施している万引きゼロの日について、「参加した経験はない」と回答している割合が高い。



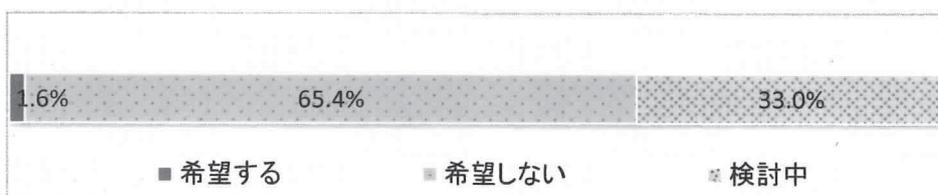
- 「万引き防止ガイドライン」活用状況（N=186）
万引きさせない店づくりを実践するため万引き防止ガイドラインの活用状況について、「活用をしていない」と回答している割合が高い。



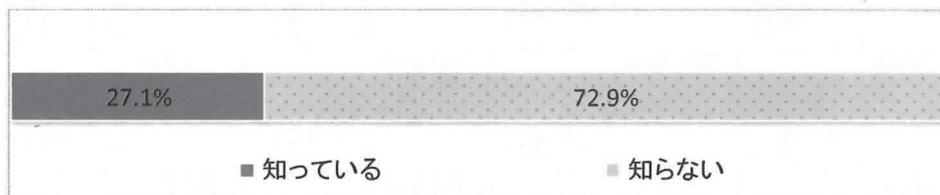
- 「モデル店舗」認定制度の認知（N=191）
モデル店舗認定制度の認知状況については「知らない」と回答している割合が高い。



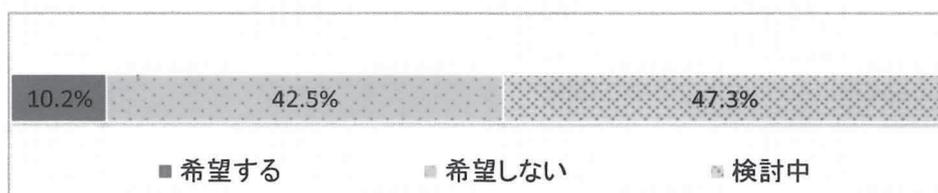
- 「モデル店舗」申請希望の有無（N=188）
モデル店舗審査の申請希望については「希望しない」、「検討中」の順に回答している割合が高い



- 「万引き防止のための防犯責任者養成講座」の認知（N=192）
防犯責任者養成講座の認知状況については「知らない」と回答している割合が高い。



- 「万引き防止のための防犯責任者養成講座」受講希望の有無（N=186）
防犯責任者養成講座の受講希望の有無については「検討中」、「希望しない」の順に回答している割合が高い



3 今後の課題

今回の調査結果を分析すると、企業側では全般的に、東京万引き防止官民合同会議の取組に対して浸透度が低く、興味や関心が低調であると言わざるを得ない。

万引き防止対策については、これまで万引きをする側である一般を対象（万引き犯を含む）にした「万引きをしない」ための広報啓発活動と万引きをされる側の店舗を対象にした「万引きをさせない」ための防犯対策を実施しているところであるが、企業がより、東京万引き防止官民合同会議の取組に関心を持ち、万引き防止対策を推進できる環境を整えるために、官民がより一層連携して、これまで以上に企業・店舗の意見を取り入れた柔軟性のある万引き防止対策の企画・立案に努め、万引きの防止に向け各種情報の検証を重ね、根拠に基づいた諸対策の充実と実施を図る必要がある。これとともに、関係業界・団体は、傘下の企業、店舗に対してリーダーシップを発揮して、官民合同会議における各種取組を浸透させ、企業、店舗における万引き防止対策の支援に努めなければならない。

2014年度 全国万引被害実態調査 報告

2015年6月17日
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
調査研究委員会委員長 加藤和裕

1. 全国万引被害実態調査概要

合同調査 : NPO法人全国万引犯罪防止機構
警視庁・東京万引き防止官民合同会議
調査協力 : 警察庁生活安全局生活安全企画課
日本小売業協会

2

(1) 調査社数と回収状況

	10/3月	11/3月	12/3月	13/3月	14/3月	15/3月
調査対象社	871	951	930	1,683	1,659	1,700
倒産合併等	23	25	15	25	22	16
回収	319	251	296	620	550	603
回収率	37.6%	27.1%	32.3%	37.4%	33.6%	35.8%

・母集団に警視庁・東京万引き防止官民合同会議
参加団体の加盟企業が加わったため、13/3期よりサ
ンプル数倍増。

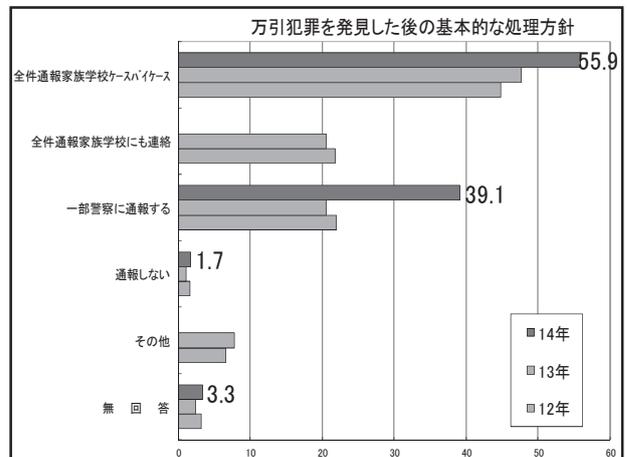
3

I. 万引犯罪発見後の処理に ついて

4

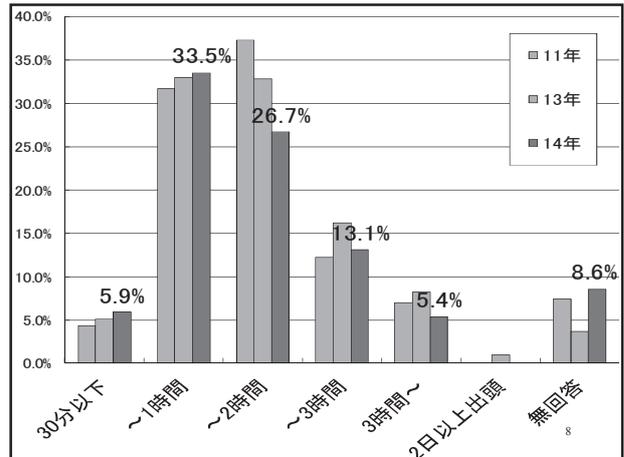
問2-1. 御社において万引犯罪
を発見した後の基本的な処理方
針について〔1つだけ〇〕
(5択から3択に変更、簡素化)

5



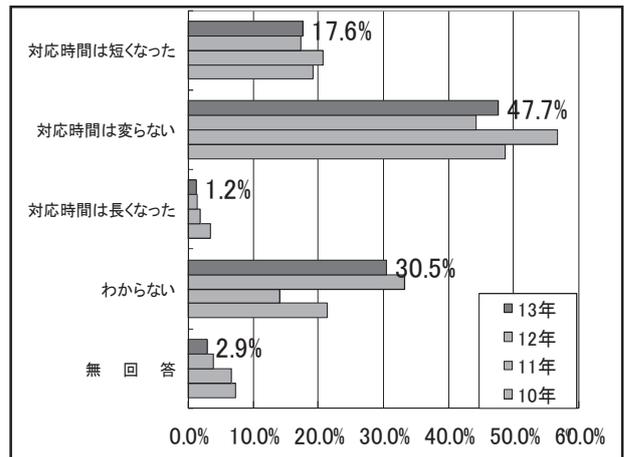
問2-1で1. 2.「警察に届出する」を選択いただいた方に伺います。万引被害を警察に通報した後に、書類作成などで警察の対応時間は平均どれくらいですか。〔1つだけ○〕

7



問2-4. 上記に対して、警察の書類作成に要する時間は昨年比変化しましたか。〔1つだけ○〕

9

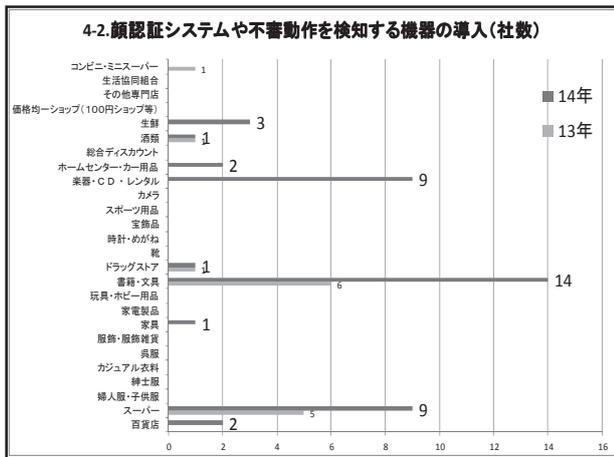


II. 万引犯罪の防止策について

11

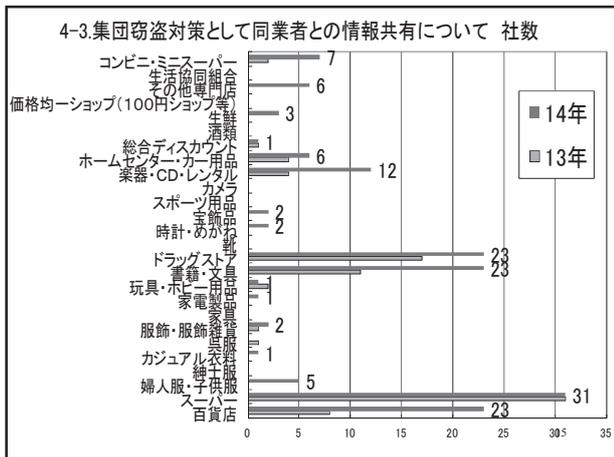
問4-1. ④高齢者の万引き防止策
 1.特にない 491社
 2.ある 46社
 無回答 66社
 (事例) →別紙(A3)15p

12



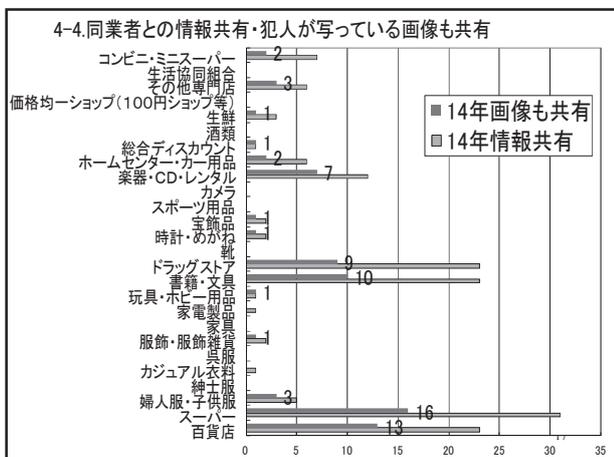
問4-3. 集団窃盗対策として、同業者との情報共有についてはいかがですか。

1.すでに情報共有している 149社
 2.検討中である 103社
 3.考えていない 325社
 4.無回答 26社
 (コメント) →別紙(A3)17p

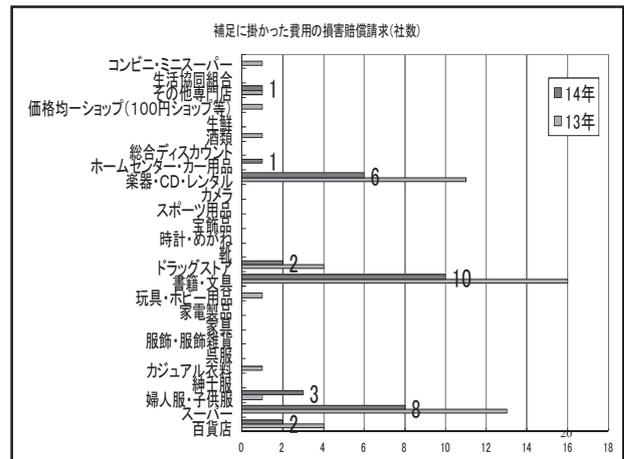
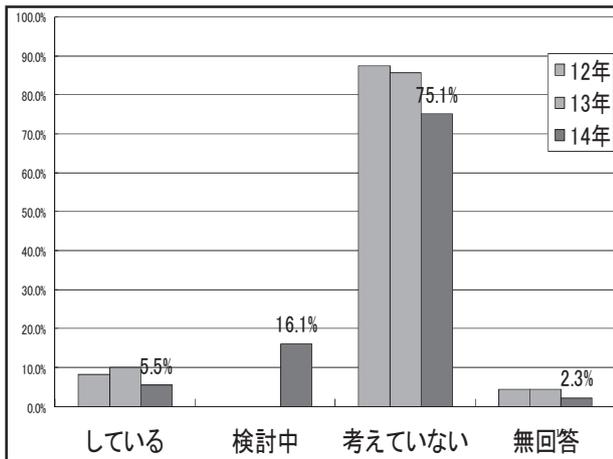


問4-4. すでに情報共有している149社について、犯人が写っている画像も共有されていますか。

1.画像も共有している 71社
 2.画像は共有していない 74社
 3.無回答 4社
 (コメント) →別紙(A3)18p

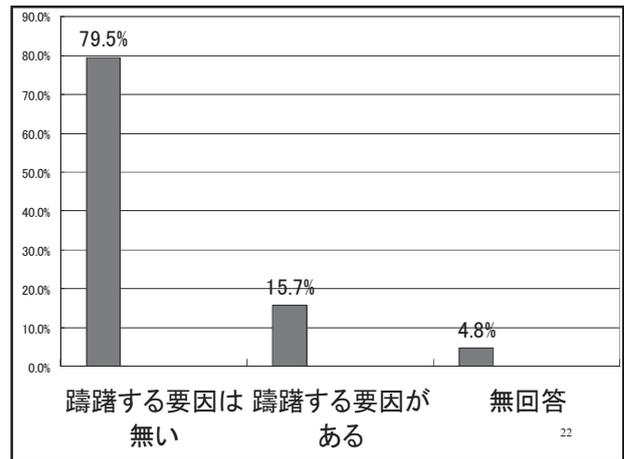


問6-1. 御社では、万引犯を確保した際、万引犯人(もしくはその保護者)に対して、捕捉にかかった費用(人件費等)を損害賠償請求していますか。[1つだけ○]
 (コメント) →別紙(A3)19p



問5-2. 問5-1で「考えていない」と回答された方にお聞きします。
損害賠償請求に躊躇する要因はありますか

21



問5-3. 問5-2で「損害賠償請求に躊躇する要因がある」を選択された方にお聞きします。その要因は何ですか。
→別紙(A3)20p

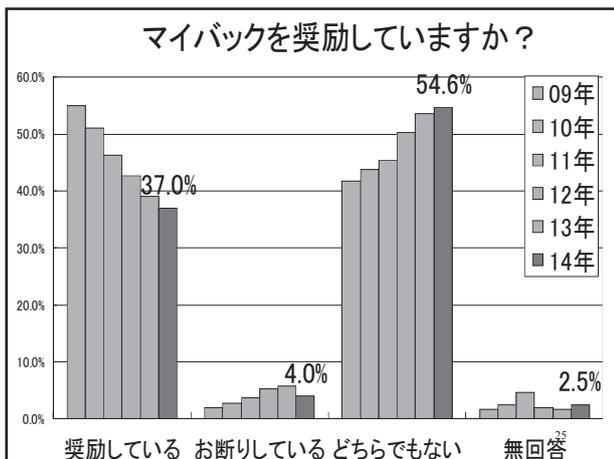
23

問8. マイバックについてお伺いします。〔1つだけ〇〕

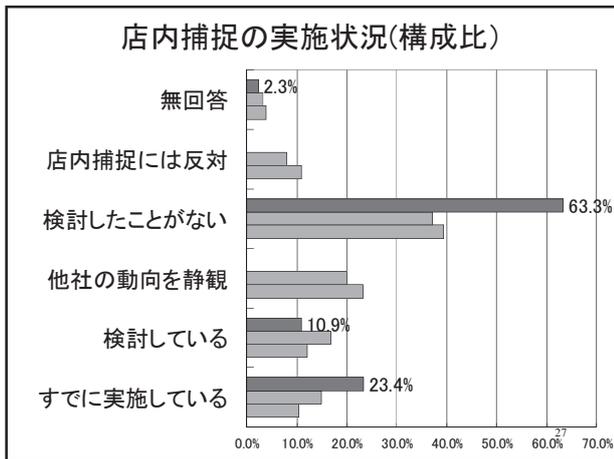
1. マイバックを奨励している
2. マイバックはお断りしている
3. マイバックについては奨励も、お断りもしていない

(コメント) →別紙(A3)23p(18p下)

24

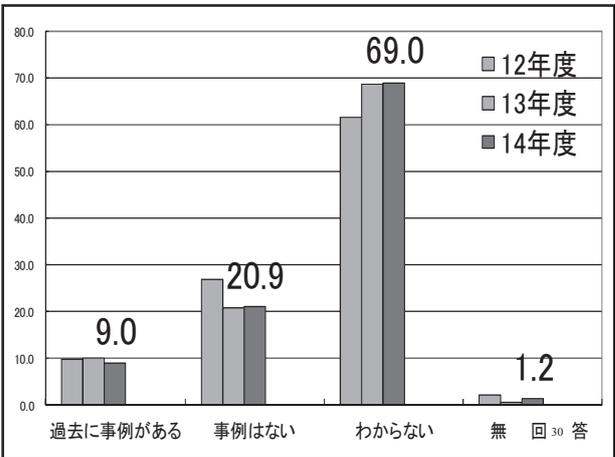


問9-1. 万引窃盗犯の「店内確保」についてはいかがですか。
 [1つだけ○]
 (6択から4択に変更、簡素化)
 (コメント) →別紙(A3)24、25p



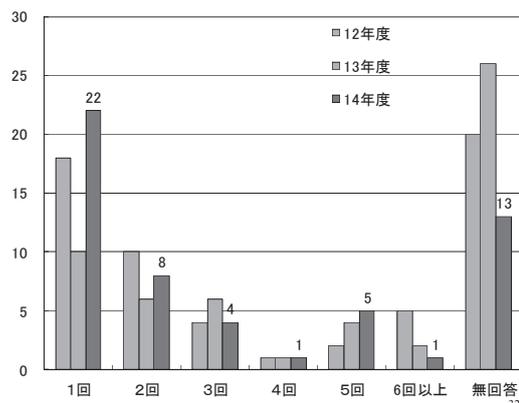
問9-3. 問9-2で「問題が生じたことがある」を選択された方にお聞きします。それはどんな問題ですか？
 →別紙(A3)26p

問10-1. これまで、御社で万引きされた商品がネットオークションに出品されたことはありますか。
 [1つだけ○]



問10-2.問10-1で「ある」と選択された会社の、万引品がネットオークションに出品された回数(社数)

31



問10-3.問10-1で「ある」と選択された方にお聞きします
御社で万引きされた商品であると判断した理由は何ですか

1. シリアル番号が合致 19件
2. 自社オリジナル商品 10件
3. 商品画像が酷似 10件
4. その他 19件

→別紙(A3)27p

33

問10-4. どうして万引き被害品が出品されていると知ったのですか

1. 自分でネットオークションを調べ見つけた18件
2. ネットオークション業者から連絡を受けて 4件
3. 商品画像が酷似 10件
4. その他 19件

→別紙(A3)28p

34

Ⅲ. 万引犯罪被害の状況及び傾向について

35

問13-1. 御社では、直近の決算年度期間中に、全社でおおよそ何件の万引犯罪被害がありましたか。万引犯を確保した(捕まえた)人数を基にお答えください。

(設問変更候補)

36

	13/3月	14/3月	15/3月
確保した犯人数	34,084	32,642	29,926
万引犯罪被害件数	59,103	37,140	24,873
平均確保人数	74	79	74
平均被害件数	131	93	56

・1社平均、年間74人の万引犯を捕捉している
 ※今回の調査で「確保した万引き被害件数」と
 尋ねてしまった

37

問13-1 御社の決算年度にお
 ける年間の不明ロス金額と、そ
 の構成比について

38

	ロス率12年度	ロス率13年度	ロス率14年度	
1位	服飾・服飾雑貨 1.33%	宝飾品 6.68%	ドラッグストア22 0.88%	
2位	HC・カー用品 1.12%	CVS・ミンスーパー 2.21%	服飾・服飾雑貨4 0.93%	
3位	ドラッグストア 1.02%	書籍・文具 0.89%	書籍・文具44 0.90%	
4位	価格均一ショップ 0.95%	スーパー 0.88%	その他専門店 0.52%	
5位	スーパー 0.78%	服飾・服飾雑貨 0.80%	HC・カー用品17 0.49%	
6位	書籍・文具 0.51%	ドラッグストア 0.60%	玩具ホビー6 0.47%	
7位	スポーツ用品 0.50%	楽器CD・レナル 0.59%	楽器CD・レナル32 0.31%	
8位	生活協同組合 0.45%	HC・カー用品 0.56%	スーパー52 0.28%	
9位	紳士服 0.45%	生鮮 0.50%	靴4 0.28%	
10位	楽器CD・レナル 0.39%	百貨店 0.26%	CVS・ミンスーパー 0.22%	
11位	カジュアル衣料 0.37%	婦人服・子供服 0.20%	婦人服・子供服9 0.19%	
12位	CVS・ミンスーパー 0.32%	酒類 0.20%	時計・めがね3 0.13%	
13位	総合DS 0.29%	その他専門店 0.14%	百貨店25 0.06%	
14位	家具店 0.28%	玩具ホビー 0.11%		
15位	その他専門店 0.25%	靴 0.03%		
16位	靴 0.20%			
17位	婦人服・子供服 0.16%			
18位	呉服 0.12%			
19位	玩具ホビー 0.11%			
20位	家電製品 0.11%			
21位	百貨店 0.10%			
22位	時計・めがね 0.05%			
23位	宝飾品 0.03%			

※有効回答企業数3社以上を集計

39

	ロス率09年度	ロス率10年度	ロス率11年度	
1位	服飾・服飾雑貨 1.50%	カジュアル衣料 2.02%	ドラッグストア 1.12%	
2位	楽器・CD 0.88%	百貨店 1.02%	HC・カー用品 0.91%	
3位	時計・めがね 0.87%	書籍・文具 0.88%	時計・めがね 0.83%	
4位	CVS・ミンスーパー 0.71%	HC・カー用品 0.82%	服飾・服飾雑貨 0.71%	
5位	HC・カー用品 0.60%	CVS・ミンスーパー 0.80%	書籍・文具 0.56%	
6位	書籍・文具 0.59%	総合DS 0.70%	家具店 0.55%	
7位	スポーツ用品 0.58%	スーパー 0.65%	総合DS 0.49%	
8位	医療品 0.48%	生活協同組合 0.59%	カジュアル衣料 0.47%	
9位	スーパー 0.37%	婦人服・子供服 0.58%	スーパー 0.44%	
10位	総合DS 0.35%	服飾・服飾雑貨 0.54%	スポーツ用品 0.42%	
11位	その他専門店 0.35%	家電製品 0.53%	生活協同組合 0.34%	
12位	生活協同組合 0.31%	医療品 0.39%	婦人服・子供服 0.31%	
13位	靴 0.28%	その他専門店 0.36%	その他専門店 0.31%	
14位	婦人服・子供服 0.18%	スポーツ用品 0.34%	靴 0.29%	
15位	百貨店 0.15%	楽器・CD 0.26%	宝飾品 0.19%	
16位	紳士服 0.02%	靴 0.18%	CVS・ミンスーパー 0.17%	
17位		時計・めがね 0.06%	百貨店 0.16%	
18位			家電製品 0.09%	
19位			紳士服 0.04%	

※サンプル数3社以上を集計

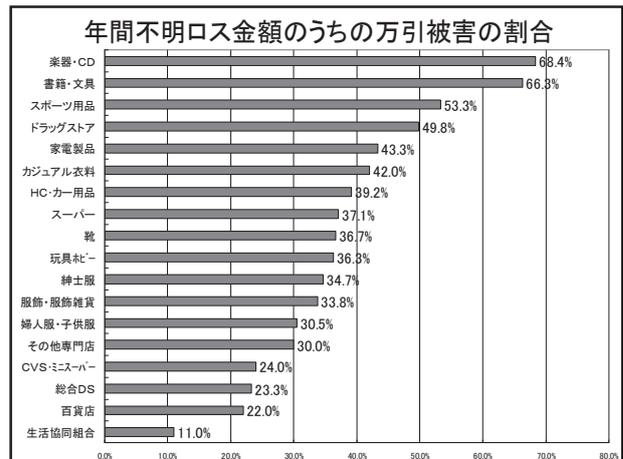
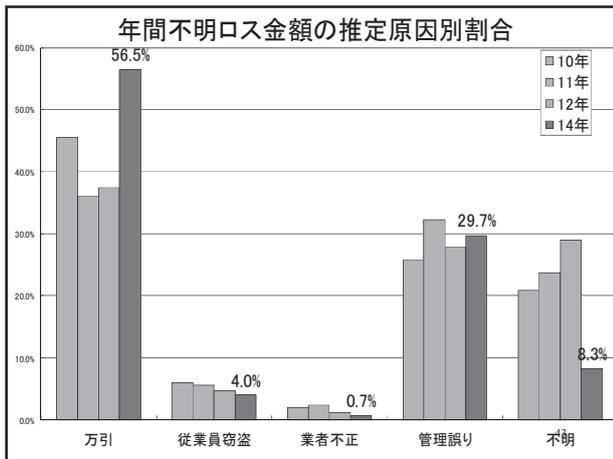
	ロス率06年度	ロス率07年度	ロス率08年度	
1位	服飾・服飾雑貨 1.60%	スーパー 1.80%	百貨店 0.92%	
2位	総合DS 0.98%	総合DS 1.63%	服飾・服飾雑貨 0.81%	
3位	書籍・文具 0.83%	HC・カー用品 1.01%	書籍・文具 0.74%	
4位	スーパー 0.76%	楽器・CD 0.96%	カジュアル衣料 0.72%	
5位	医療品 0.75%	服飾・服飾雑貨 0.91%	総合DS 0.68%	
6位	HC・カー用品 0.54%	婦人服・子供服 0.78%	その他専門店 0.65%	
7位	カジュアル衣料 0.51%	スポーツ用品 0.74%	HC・カー用品 0.63%	
8位	婦人服・子供服 0.47%	百貨店 0.72%	スーパー 0.62%	
9位	スポーツ用品 0.45%	書籍・文具 0.63%	医療品 0.54%	
10位	時計・めがね 0.28%	時計・めがね 0.56%	婦人服・子供服 0.52%	
11位	楽器・CD 0.24%	医療品 0.54%	靴 0.47%	
12位	紳士服 0.20%	カジュアル衣料 0.35%	CVS・ミンスーパー 0.33%	
13位	百貨店 0.18%	靴 0.30%	スポーツ用品 0.31%	
14位	靴 0.10%	紳士服 0.12%	生活協同組合 0.28%	
15位			楽器・CD 0.23%	
16位			紳士服 0.06%	
17位			時計・めがね 0.04%	

※サンプル数3社以上を集計

41

問18. 直近の年間不明ロス金額
 の原因別(万引・従業員不正・業
 者不正・管理誤り・不明)推定割
 合をご記入ください。

42



VIII. まとめ

万引調査の全体像

	2012年度	2013年度	2014年度
調査社数	620社	550社	603社
延べ店舗数	81,712店	50,247店	74,354店
年商合計	333,247億円	262,341億円	309,701億円
不明ロス率	0.57%	0.70%	0.49%
推定ロス額	1,899億円	1,838億円	1,517億円
推定万引比率	37.4%	45.5%	56.5%
推定万引被害額	710億円	837億円	857億円

- ### 日本で唯一の万引被害実態調査
- 603社の集計で1,517億円の不明ロスが発生
 - その内857億円56.5%が万引によるものと推定
 - 全業種平均ロス率は0.49% (13年度0.70%)
 - 延べ16,666人の警備員と、3,028人の従業員等が24,873人の万引犯を捕捉
 - 店内確保を「既の実施している」企業は141社、23.4%と増加
 - 集団窃盗対策で「既に同業者と情報共有している」企業は149社、24.7%と増加

- ### 時間短縮は未解決
- 警察の対応時間「変わらない」が47.7%
 - 1時間以上警察で拘束される割合は、09年56.2%、10年56.9%、11年56.5%、12年49.2%、13年58.2%、14年45.2%と若干改善
 - 「30分以内」は5.9%、これを過半にできないか
 - 店舗内完結で、署に出向かずに済むスキームが切実に求められている

損害賠償請求、告知不足

- A3別紙19pにあるように
- 「考えてもいませんでした」
- 「そのようなことが出来るならしたい」
- 「算定基準があれば、絶対導入したいです」
- 我々の告知不足を痛感
- 次回調査票配布時に、「こんなにカンタン！損害賠償請求の手引き」好評発売中チラシを同封しては？

49

店内捕捉に広がり

- 店内捕捉を実施している企業は、
- 2010年 48社 2012年 65社
- 2013年 82社 2014年141社に急増
- 企業が先行、警察は及び腰となっていないか
- 安心して「店内補足」できる環境作りが必要
- A3別紙24pの膨大な「疑問」「不安」「リスク感」「外圧」「刷り込み」を解消していくには？
- 「これなら安全！私にもできる店内補足」警察庁監修とか

50

今回、調査項目を大改訂

- ネットを利用した盗品流通の把握
- 組織窃盗団対策
- 窃盗犯情報や顔認証の普及状況
- 高齢者対策の収集
- コメント欄を大幅増加
- 設問者側の「思い込み」を極力排除

51

IX. 3つの個人的提言

全国万引被害実態調査をして、
個人的に感じたこと
(当機構の見解ではありません)

52

1. ネットは治外法権か

ネットオークションは、知らない世界
めったに気づかない
ヒトから云われて、初めて気づく
ネットでのUsed市場は急速拡大中
盗品流通は野放図状態
盗品情報バンクが必要ではないか？
ネット事業者(胴元)を当事者にできないか？

53

ネット転売の規制

(2013.06再録)

- ドラッグストア、HC・カー用品、スーパー等、多頻度被害企業とプロジェクトチームを組み、ネット転売防止スキームを提言してはどうか
- ネット上で盗品転売すると、その場を提供したネット事業者にもペナルティが課せられれば、盗品換金フリー市場にタガを嵌められないか

54



55

2.店内捕捉マーク告知

- 店内捕捉は、141社と急増！（2015.06）
- 「店内捕捉実施店」と一目で分かるシンボルマークを作成し、店内捕捉店の共通イメージを醸成できないか？
- TV等マスコミへプレス、全国認知へ
- 合言葉は「隠したら 店を出ずとも 窃盗犯」
- 「あのポスター 中学だけではもったいない」

56



57

「原則店内捕捉」への転換

- どーして、店出るまで注視し続けなきゃいけないの？
- 店内なら警備員・店員は、より安全
- ショッピングモール内での犯行時捕捉も実現できる
- 犯行直後なら、誤認捕捉を防げる
- 店内捕捉を原則とし、店外捕捉を例外とする

58

3.画像情報運用の自主ルール

- 既に71社が画像情報を他社と共有
- 顔認証を含めた犯罪防止効用PR
- 世間の信頼を得られる活動の推進
- 映倫（映画倫理委員会）、ビデ倫のように
- 「(^)倫」…顔認証情報倫理委員会
- イメージキャラクターは飯田圭織（元モー娘。）
- がだめなら飯田香織（NHK）、清水香里（声優）、持田香織（ELT）、詩月カオリ（歌手）
- 負のイメージを払拭できるキャラが肝

59

603社の小売各社の皆様 調査ご協力有り難うございました

来年度は、今回の大改訂を踏まえ、よりいっそう調査項目を吟味し、改良版をお届けします。ご期待下さい！

60

IV. 多くの方々に知ってほしい万引犯罪の実態、もしくは効果が上がったと思われる取組事例

	業態	コメント
1	百貨店	お客様に積極的に声を掛けること
2	百貨店	高齢者犯罪のシェア増加
3	百貨店	百貨店内で発生した事件について、「保安担当からの伝言板」というA4版の広報紙を随時発行し、被害防止のため注意喚起したところ、社員から被害防止意識が高まったとの声が聞かれた
4	百貨店	店頭の従業員はお客様への積極的なご挨拶、お声掛けを指導している
5	百貨店	認知症の高齢女性の食料品の万引きが多発。再犯事案も多い
6	百貨店	常習犯については入店したときに付いて回る
7	百貨店	万引常習者を不審者として警察に通報、職務質問してもらったうえで、万引直後に被害内容を通報した結果、早期に逮捕できた
8	百貨店	・クレプトマニア、認知症等の病気が深く関係している ・犯罪心理学 ・私服保安員の導入 ・売場の模様替え、改装工事
9	百貨店	「始終見られている」という気持ちを相手方に持たせるのが肝要。それには、「いらっしやいませ」の声掛けとアイコンタクトが有効
10	百貨店	防犯カメラの増設により、万引被害が発生した際の不審者を特定できるケースが増えた
11	百貨店	・高齢者、中でも70歳代の常習者女性が多く見受けられ、戦中戦後の生活に苦勞した世代であるため、他人のものを盗むといった罪悪感が低く思えること、また生活自体に困っていることが実態である ・顔認証システムを取り入れ、保安員相互の連携、連動により、常習犯の自宅を追尾して突き止め、警察に情報提供し、逮捕、起訴、懲役刑と運んだ事例が2件あり効果があった
12	百貨店	店頭巡回の強化
13	百貨店	ダミー防犯カメラの設置。「防犯カメラ作動中」等の案内を出す
14	百貨店	持ち歩きによる死角を利用した犯罪について、常習性のある方には、警備巡回を強化
15	百貨店	特に生鮮食品被害の場合、商品として店頭に出せないのので、店としては買取を希望している。 しかし、現行犯逮捕となると、それができないため苦慮している
16	百貨店	声掛け
17	時計・メガネ	眼鏡という商品の特性上、本人に合ったレンズを入れないことには使用できないため、弊社の場合、万引被害は限定的です
18	時計・メガネ	お客様に声を掛けること
19	時計・メガネ	特に狙われやすい商品には、コード付のセキュリティタグを設置した
20	宝飾品	来店時への積極的な声掛けを実施している店舗においては、未実施の店舗に比し、万引被害が少ない傾向有
21	楽器・CD・レンタル	巡回の強化と声だし
22	楽器・CD・レンタル	万引き被害に対してほとんど届け出していませんが、その額は大きく、店にとってもダメージが大きいです。当店では子供(中・高生)の万引も多いです
23	楽器・CD・レンタル	店頭商品展示をサンプルに変えたことで万引きは少しは減っていると思う
24	楽器・CD・レンタル	万引き犯から人件費等の損害賠償請求をすることにより、商品以外での損害を減らすことができた
25	楽器・CD・レンタル	店内の声掛け
26	楽器・CD・レンタル	店内の声掛け

27	楽器・CD・レンタル	監視カメラ
28	楽器・CD・レンタル	店内巡回、レイアウト変更
29	楽器・CD・レンタル	声掛けなど、気付かせ未然に防止すること
30	楽器・CD・レンタル	レンタル用パッケージの盗難防止ゲートで警告音が鳴る事が周知の事実となり、店内の死角(防犯ビデオの死角もチェックされている)に商品を移動させ、パッケージを破壊し中身のみを盗む。 破損パッケは棚番やジャンル表示のディスプレイの裏に押し込み隠す手口。同一犯ではなく複数の実行犯が存在し、同業各店を巡回している模様
31	楽器・CD・レンタル	学生が興味本位で万引するケースが多い(友達のそそのかし等)
32	楽器・CD・レンタル	防犯は、犯人特徴画像を店内に掲示し、再来店時、犯行を行った時に現行犯逮捕
33	楽器・CD・レンタル	基本的に自鳴式のタグをつけている
34	楽器・CD・レンタル	・防犯ポスター(50万円以下の～など記入) ・「警察官110番ビル」などのシール ・従業員の目視や声掛け
35	楽器・CD・レンタル	とにかく店内での声だし
36	楽器・CD・レンタル	従業員に対しての商品管理教育の徹底。 万引された商品は担当者は必ず発見できる体制にある。 発見すれば、その場所の映像をもどすことにより100%犯人を確認できる。 当店では同犯人の3回以上の万引までに確保できる実績と自信がある。 とはいえ、全くのゼロとはいいい難い、小さな万引は(気付かない)あると思うが、経営に影響するほどの万引はない。 当社では、十数年前より徹底したその時点の最新システム導入の投資を心がけてきた。今、その成果が現れている。
37	楽器・CD・レンタル	張り紙、告知(監視カメラ作動中)
38	楽器・CD・レンタル	小さなAVアクセサリ等はフックに掛けて陳列する際、細い結束バンドでフックバーに縛ることで盗難被害が激減しました。 100円ショップ等で売っている極めて細いものでOK
39	ホームセンター・カー用品	被害の約1~2割は窃盗後直ちに最寄のリサイクルショップや質屋で換金処分されており、ショップの陳列ケースの中に当社の被害品を見つけたケースが何度もありました。こういった換金目的の盗みが以前より増えております
40	ホームセンター・カー用品	・転売目的で複数犯による計画的な犯行 ・外国人の犯罪増加
41	ホームセンター・カー用品	明らかに転売目的での万引きや年配の方がお金を持っていないのに病気のよう に万引きを繰り返している等、万引きする人間が多種多様になっており、また、 転売目的の万引犯は手口も巧妙でこちらがわかっているにもかかわらず防 ぐことができないことがある
42	ホームセンター・カー用品	・常習者による繰り返しの犯罪が大半 ・検挙されるのは氷山の一角 ・一店舗で検挙されると他店舗に犯行の現場を移す
43	ホームセンター・カー用品	①万引き被害が発生しやすい曜日、時間帯を中心に、私服保安員を動員し警戒させた ②各出入りに防犯カメラを設置し、抑止力を高めた
44	ホームセンター・カー用品	従業員の声掛け(巡回)
45	ホームセンター・カー用品	私服警備
46	ホームセンター・カー用品	高齢化社会で万引き犯罪が認知症なのか、責任能力があるのか判断が難しい。 本人たちは、警察の事情聴取で黙り込んだり、ぼけたふりをして、それを見 た警察もトーンダウンして厳しく言わない、仕方がないの感じがある

47	ホームセンター・カー用品	・高額品はガラスケース内または空箱展示 ・中級品かつ小物パッケージ品はフックにロック機能付タグの設置
48	ホームセンター・カー用品	・声掛け「いらっしゃいませ」 ・専門の警備会社
49	生鮮	万引きする人を捕まえることは大変な困難が伴い、誤認を誘発して示談金を要求される事案も発生していることから、店内で万引きらしき人を発見したときは、その人に密着して万引きさせないディフェンスに努める。 従業員連携のゾーンディフェンスができれば万全である
50	生鮮	従業員よりも保安警備員の確保が多い
51	生鮮	ショッピングカートに袋を提げ(身体と商品でかくしながら)万引きを行うため、カメラ、現認が確認しにくい
52	生鮮	以前在留外国人複数人による連携した人気商品の24本入り缶ビールや米10Kg入り等万引きされたが、ビールについては売場にカードを置き、お客様がそのカードを提出することで、レジの足元に保管またはバックヤードから取り出して販売する方法で激減した。米等大きな商品は、レジで弊社の名入りの太いビニールテープを貼付し、支払い済みであることを分かるようにした
53	生鮮	お客様に対する「あいさつ」「声掛け」を徹底する
54	その他専門店	弊社で補足される万引犯の8割が65歳以上
55	その他専門店	セルフ販売なので商品を見ていて後ろを向いたときにバック等にいている。対策として、入り口でトングおよびトレイを持たずに入店されたお客様は注意してみるようにしている
56	その他専門店	店舗内に防犯カメラ設置とのPOPを掲示している店舗があり、効果が多少でも出ていると考えられます
57	その他専門店	店頭設置の小型カメラ
58	その他専門店	店内録画中の告知
59	コンビニ・ミニスーパー	・陳列されている「商品」＝「自分の財産」という、社員・従業員への教育が一番です ・レギュラーチェーンの場合と個人経営者を「万引き」という単一のくくりで分析すべきではないと考えます。(いくら万引きされようと給料は変わらない、組合があり強く注意できない会社とは同一視できません)
60	コンビニ・ミニスーパー	常連のお客様が実は万引の常習者であった。これを知った店の店長、従業員はショックを受けていた
61	コンビニ・ミニスーパー	万引きが多い時間帯は、店長が売場に出る
62	コンビニ・ミニスーパー	「セキュリティシステム稼働中」のシール貼付。 見える位置に貼り付けることで抑止力となっている
63	コンビニ・ミニスーパー	保安員の店舗への導入
64	家電製品	店舗内に制服ガードマンや「警備」と書かれた腕章をつけた私服員を巡視させると被害が少ない傾向
65	玩具・ホビー用品	・学生であれば学校と連携する ・一般人の場合は、地域警察に協力依頼する
66	玩具・ホビー用品	(社内不正)会社として全件届出、賠償請求、学校への通知(ケースバイケース)を徹底した (万引き)少年の場合、招来を考えて届け出ないように親や学校から要請されることもあります。万引きの再犯率から、システムと警察より届け出るように指導されていると伝え、届け出ています

67	玩具・ホビー用品	DVDやコミック本を頻繁に大量に売りに来る者がおり(3人兄弟、年間約500万円を2年あまり)、不審者として警察に届け出たが、同一商品は持ち込まない上に、もちろん開封済み、あきらかに使い古したものもあり、身分証もあるので断る理由がなく、買った物を売らずに延々と保管だけしておいたが、鳥取県で現行犯逮捕され(当店は大阪市)、犯人達の罪の解明に当社の資料、現物が役立った。ただ、もう少し早く明らかに不審な者に対して警察で積極的な捜査はできなかったのか?犯人達は、身体も大きくすぐに大きな声で騒ぎ立てるので、店としては根拠なく追求するのはできなかった。しかも、どうも同様の前科が複数回あったようである
68	書籍・文具	・ブックオフの高価買取の本を複数冊盗むことが多い ・ネットオークションで高価で取引されるものを盗むことが多い
69	書籍・文具	地元テレビ局の企画案で、書店だけでなく、スーパーや百貨店などの協賛により、「万引き防止キャンペーン」と題し、抑止するポスターやテレビ番組での特集、CMなど行った
70	書籍・文具	来店客への声掛け
71	書籍・文具	全商品ICタグ導入
72	書籍・文具	取組事例はありませんが、防犯カメラの映像を共有したい
73	書籍・文具	来店客が殆どなく、外売が中心であり、来店客は殆どが顔見知りの常連さんであるので万引きの心配をしたことはない
74	書籍・文具	「万引き」という用語のせい、ゲーム感覚や見つければ代金を払えばいいという風潮が問題
75	書籍・文具	小学校低学年および高齢者の万引が最近増えてきました。組織的犯罪も多く、「万引き」などというイメージとかけはなれた実情がある (「万引き」という言い方をやめたい)
76	書籍・文具	・店内の死角にミラーをつけた ・いらっしやいませ、ありがとうございますのあいさつをしっかりと必ずする
77	書籍・文具	昨年より、防犯タグがついたまま商品(CD・DVD)が売場から無くなっている事例が発生している。 おそらく、防磁式のバッグ等を用いて商品を窃取していると思われる
78	書籍・文具	いらっしやいませ等の声掛け
79	書籍・文具	来店客に「いらっしやいませ」の声掛け(出来れば笑顔で)をする
80	書籍・文具	自店はロスが低いと思うが、放置すると死活問題になる。万引きくらいでと思ってやる人は考え直してほしい
81	書籍・文具	グループによる犯行で、商品を廻り持って逃走。補足時には行為者は所持していない状況
82	書籍・文具	(実態)・最近では速攻犯が多い(捕まえたくてもできない)、・あいかわらずコミックが盗られる (取り組み)・警備員の人数を増やす・顔認証システムの導入・本社に防犯担当を設置・防犯カメラの増設
83	書籍・文具	挙動不審者をマークする
84	書籍・文具	顔認証システムで登録した容疑者画像を要注意人物として近隣店舗に配信して再犯を予防。警察署にも提出して、捜査に協力し、犯人補足につなげる。また、古書店チェーンにも確認し、同一人物が売りに来たと断定出来れば、商品回収も交渉していく
85	書籍・文具	防犯カメラの進化に伴い法整備もすすめて欲しい
86	書籍・文具	店内従業員による声掛け運動
87	書籍・文具	万引き少年の警察署による数回の反省文書き
88	書籍・文具	店内入店時に目を見て挨拶が良いと思う

89	書籍・文具	イヤホンなどのアクセサリ類を全て什器に固定し、ダミーカードを展開した。万引き数は減ったが、売上も若干減少した
90	書籍・文具	中学生の万引きを確保したが、先輩の命令でやったというケースがあった
91	書籍・文具	学生が多いが、50代以上の万引きが急激に増えている。 取り組みとしては、入店時の声掛け、すれ違い時の挨拶の徹底
92	ドラッグストア	声掛け、防犯ゲート
93	ドラッグストア	お客様入店時に顔を見て挨拶することを徹底することは効果が上がったと思います
94	ドラッグストア	・店頭での不審者等への声掛け、挨拶 ・数店、防犯カメラを設置して万引きが減少した
95	ドラッグストア	・少年や高齢者の万引き被害より、東南アジア系外国人による集団窃盗の被害が増加し、被害金額も高額となり頭を痛めている ・集団窃盗グループは組織的に活動しており、どうしても警察に検挙してもらうことが一番で、被害発生の際に警察には全面協力し、防犯カメラ映像等要望により提供。 検挙と厳罰化に資するよう、窃盗グループの情報を提供している
96	ドラッグストア	従業員の声掛け(巡回)声掛け、かご渡し、入り口でのあいさつなど
97	ドラッグストア	東南アジア系による組織的万引き(役割分担して、資生堂マキユアージュ、エリクシールブランドだけ根こそぎ万引きする)
98	ドラッグストア	お客様の声掛けを徹底しています
99	ドラッグストア	生活のための商品が増加している
100	ドラッグストア	(実態)ベトナム人グループによる化粧品等の大量万引き被害に一番頭を痛めています。昨年当社の店で万引きしたグループは29もあり、発生の都度店に画像を手配しているが、数が多く店で把握することが難しい (取組事例)・警察との情報交換により、昨年ベトナム人グループの万引き犯人を逮捕してもらった ・犯人画像を店に手配し、犯人が来店したことに気付き、被害防止できた事例が増加した
101	スーパー	実態＝大きな袋を持参している高齢の方に要注意取り組み＝声かけ(いらしゃいませ)
102	スーパー	高齢者が増えているが、ほとんどの万引犯は支払えるだけのお金は持参しており、従業員からの聞きとりにはボケたふりをするのみ
103	スーパー	・店内放送「〇〇警察署の〇〇様、お伝えしたいことがありますので、詰所までご連絡ください」
104	スーパー	声かけを現在推進中
105	スーパー	1. 家庭裁判所に於いて「万引を考える会」の講義の中で犯罪等に対して気づいて頂く事を念頭に沢山の方々に発信している 2. 社内で夜間業務に従事するものを年間2回集め、防犯対策の中で現状の万引の実態を共有し、店舗に戻った従業員が少しでも意識を高めて頂いている。
106	スーパー	声かけやあいさつ
107	スーパー	学生が万引するのではなく、大人が万引きしている。(50代以上)高齢者の万引が多い。
108	スーパー	高齢者の方は捕まえるとほぼ100%「自分がこんなことをしてしまったかわからない」「最近、少しボケてしまっている」等の言い訳をしますので、以前より対応に時間がかかって困ります。
109	スーパー	保安警備員(私服)を導入確保した万引犯はすべて警察に通報また、ポイントカードを没収、店内に入らない様に誓約書を書いてもらう

110	スーパー	・当社は、食品スーパーマーケットなので、客層としては、30代～70代位の男女が多いですが、中でも50代～70代は多いようです。ですので、年代別の万引犯の構成比は、60代以降で、50%を占めます・最近、目につくのが、70代(男女)～の独居老人の犯行や痴ほう症の症状がある人が何件かあり、「来ないように」言っても来てしまうという事案が何件かあります
111	スーパー	・死角の重点チェック・防犯カメラの画像をオープンにする・パトカーを目立つ所に止めてもらう
112	スーパー	万引きGメンを定期的に入れる
113	スーパー	・店内での万引犯確保・監視カメラでの確認
114	スーパー	万引きGメンの導入
115	スーパー	従業員の目の届く場所への商品の配置(又、従業員の配置)のほか、従業員による積極的な声掛けなどが、万引き防止効果が高い(期待出来る)ことは、間違いないと思料される。
116	スーパー	高齢者の検挙数が増えています。
117	スーパー	特にありませんが、店舗の性質上、高齢者の万引きが圧倒的に多い傾向にある
118	スーパー	防犯カメラの導入
119	スーパー	◎取り組み・防犯カメラの設置・社員の店内巡回、声かけ・商品陳列の工夫・社内イントラネットでの万引き情報の共有
120	スーパー	①防犯カメラ②警備員
121	スーパー	夜間アルバイト(大学生)が、同じ大学の先輩にそそのかされ、レジ当番が同僚だけの日に、先輩2人の大量の商品をレジを通さず通過させていた事件が最近発覚した。 被害届を提出して、再発防止に当たることとしている。
122	スーパー	高齢者の常習が多くなっている。反省の意識も無く店舗の負担になっている 独居老人や支払能力のない方が増えている
123	スーパー	常に万引のおそれのある人が来店した場合は従業員が店内に出て声かけをしながら万引できない体制をつくる
124	スーパー	万引犯は捕まえるのが目的でなく、万引をさせない環境づくりを目指しています。店内を出るのを待つ場合は少なく声を掛けます。 また、お客様が教えてくれる場合が多い
125	スーパー	防犯カメラを設置したことにより万引の様子が分かる様になった
126	スーパー	どんな万引き犯でも、必ず警送する事。 論説にすると、後日トラブルになる可能性があるため
127	スーパー	防犯カメラを利用した店内状況の確認と不審人物に対する行動確認
128	スーパー	不審者(外国人、高齢者含む)を発見した場合動向監視の後、声かけして売場やレジに案内し、送り出して見送り終始客として扱い、客としておくりだすこと
129	スーパー	マスメディアにもしっかりと伝えてもらいたい。 不幸になる一つのステップであり、ドラッグや暴力と同様です
130	スーパー	・防犯タグの取り付け・警備員の巡回強化・防犯カメラの設置・社員及び他社社員との連携
131	スーパー	従業員一同お客様へ声かけをできるだけ気にとめて、店内巡回をする様にしています
132	スーパー	店内での従業員の接客の『声』をたえずかける
133	スーパー	店外、店内に防犯カメラ、ミラー警察官立寄所、見通しの良い売場店内に常に従業員の配置
134	スーパー	警かい店舗の保安ケイビ増員
135	スーパー	防犯カメラ
136	スーパー	店内放送を利用して警察署員を呼び出すふりをする(効果は不明)

137	スーパー	<p>最近は何もないが、10数年前、アルバイトレジ係員が昔、有った事件で、他のレジ係りになりすまし、他レジで、窃盗していた事が有ったがビデオカメラ調査で判明未成年者だった為、親に来てもらい事情説明に弁償していただいた事が有った</p> <p>中国人が集団で買い物に来店し、レジ台の無料冊子と売っている本類の違いが判らず持って帰っていった。</p> <p>警察にも中国語が堪能な方が居て、対応してくれました</p>
138	スーパー	・店内での声出し、声掛け・警察官の立ち寄り
139	スーパー	高額品(1万円以上)の酒類が集中的に狙われている 被害の都度被害届は出しているが、年々増加傾向にある
140	スーパー	売場での「いらしゃいませ」の声掛けポスター掲示
141	スーパー	万引Gメンを導入してから検挙率も向上した
142	スーパー	肉屋さんが、肉のかたまり(60万円分)を自分の車に運んでいる所を見つけた →在庫があわなかったのでマークしていた
143	スーパー	1.「防犯カメラ録画中」表示増設 2.店内アナウンス活用(自動放送・1時間に1回)「お客様が安心してお買い物ができるよう従業員が店内を巡回しお声かけしています」
144	スーパー	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の店舗で実施している買い物カゴの色分け ・新店及び改装店舗には高画質ビデオカメラを設置 ・警察からの提供の万引防止ポスターの掲示 ・店長方の通報で万引容疑者(常習者)の店内行動を把握し、次回来店時に犯行を現認したので、現行犯逮捕した。 (余罪で、駐輪場の車上狙いも敢行していた。)
145	婦人服・子供服	防犯カメラ映像による万引犯人の特定 同特定により、万引犯の行動を店舗従業員に伝え、情報を共有化 店舗従業員からの情報により万引犯を検挙
146	婦人服・子供服	個店ではなく、隣店、他店、警察への速繋を店舗メンバーに指示、発生頻度の高い曜日、時間帯に警察の方に出向いていただき現行犯(5人組)を逮捕。 ただし速繋する為におよそ3ヶ月以上の労力、時間を費やしたことで、会社として案件毎に判断している
147	婦人服・子供服	組織万引きを含め声かけ、アイコンタクトによって、ある程度は防止できる業態 「万引き防止」は接客の結果としてであり、万引き防止を最初にもってくる事はないです

V. 万引防止を推進するに際して、社内外等で困っている点

	業態	コメント
148	百貨店	少ない人員で遣り繰りしています。 万引き犯を検挙した場合で、始末書処理や微罪処分の時は比較的早く現場復帰出来るが、簡易書式以上の処理になると長時間拘束され、支障が生じることがある
149	百貨店	高齢者による万引が増加している。優しく諭しても、警察に連れて行っても改まらない。社会・家族の対応が重要と思われる
150	百貨店	万引き被害は、販売員が接客中もしくは不在中に多く発生しているので、お客様へのお声掛けやショップを不在にする時、他のショップの販売員の協力を得て接客に間隙を生じない態勢をいかに作るか
151	百貨店	人手が薄いこと
152	百貨店	・柱が多く死角が多い ・従業員の防犯意識の低下
153	百貨店	・店頭の人員不足 ・マイバックの推奨により、万引行為の現認が困難なケースがでてきている
154	百貨店	従業員の万引きに対する意識が低い
155	楽器・CD・レンタル	防犯カメラ等で後で調べ見る手間が非常に大きい
156	楽器・CD・レンタル	現行犯でないほとんど立件されず、損害が回収できない事が多い。 従業員への危害リスクが高まるため、強い意識付けをあえてしていない
157	楽器・CD・レンタル	売上減でスタッフの数を減らさざるを得なく、不審人物が来店してもチェックできない
158	楽器・CD・レンタル	万引きに対する人件費
159	楽器・CD・レンタル	全ての商品をダミー化し、万引きの出来ない環境を作っているが、スペースがなく古いものからダミーを解体します。その後万引きにあうケースがある
160	楽器・CD・レンタル	常習犯で過去に何度も被害にあっても、自宅の捜査や確認できる範囲での弁償請求を可能にして欲しい
161	楽器・CD・レンタル	顧客サービスとの兼ね合い(便利→売場の自由度向上→リスクも上がる)
162	楽器・CD・レンタル	・店外に出て押し問答になったときの「逆ギレ」が怖い(暴力、刃物) ・学生が集団で店舗を徘徊 ・各店舗で共同しているトイレの備品を盗む(ペーパー、芳香剤) ・検挙しても身柄引き渡しだけで終わらず、当事者社員が警察へ出向き、長時間調書作成につきあわされる(1人抜けると人数減で残業も発生)
163	楽器・CD・レンタル	同業で連絡網ができていない
164	楽器・CD・レンタル	店員の数が不足気味で死角にまで目が行き届きません
165	楽器・CD・レンタル	店舗内にどうしても死角ができてしまうこと
166	楽器・CD・レンタル	県または市、教育委員会等行政により「青少年育成・・・」と称する組織、部署があるが形式のみの行動、呼びかけだけのものであり、正にお役所的。 何の役にも立たない。不満および望みがあるが書ききれない。 以前より「青少年・・・」と称する研修会にはできる限り参加するよう努め発言しているが、我々現場の現状、意見に対して全てに逃避するのみ。 もっと現場を知っての組織であってほしい。 理想論、形式論ではなく、現実論を受け止めてくれる場所が無いのか！！
167	楽器・CD・レンタル	・警察の対応が長く時間をとられる(業務に支障が出る) ・万引きが巧妙になっている
168	ホームセンター・カー用品	被害多発に対抗して高価な電動工具売場等では ①通り抜けできない売場の通路レイアウト変更 ②電動工具のワイヤー縛りつけ ③物々しい防犯カメラの露出ディスプレイ

		をせざるを得ず、被害防止の為とは言え、一般のお客様に言い知れぬ不快感、不信感を与えてしまう展示になっているのが何とも悲しい
169	ホームセンター・カー用品	各店舗保安員を配置しているが捕獲実績が少ない
170	ホームセンター・カー用品	判断があいまいなときの声掛け
171	ホームセンター・カー用品	・犯罪という意識が低い ・厳罰を求めます(特に外国人)
172	ホームセンター・カー用品	便利な世の中なのはいいが、インターネットオークションや古物取扱いなども少し制限を掛けるべきではないかと思う 。あまりに簡単に万引きしたものをお金に変えることができちゃう
173	ホームセンター・カー用品	万引きさせない、或いはしにくい売場環境づくりが理想であるが、スーパーでは予算、販売戦略の観点から難しい面がある ・防犯カメラの増設(大量設置)・商品陳列の低床化
174	ホームセンター・カー用品	各地域における同業者の万引き犯罪の実態や傾向等の情報を共有し、防犯対策にいかせたらと思う
175	ホームセンター・カー用品	確実な証拠とする為に、店の外に出てから呼び止めるが、払うつもりだったとか、持たなくてバッグに入れていたとか、高齢だから仕方ないだろうという感じがある。 モラルの低下があり、昔の年寄りの気質を持った人が減ってきている
176	ホームセンター・カー用品	・防犯機器のコスト ・カメラでの万引き画像の店頭事例貼り出し(法律上)
177	ホームセンター・カー用品	あまり前面に出すとイメージダウンになる
178	生鮮	マイバックの持参で増加
179	生鮮	人手不足により店内人員がすくなくなり防犯に手薄感有り
180	生鮮	弊社に限らず各物品販売業者は、時間帯によって売場内の正社員、契約社員の配置は数名で、他はパートアルバイトが占めている。 万引き犯罪はこのような体制の弱い時間帯での発生が多く、本来業務に追われて防犯の目が行き届きにくい実情である
181	その他専門店	カメラの増設や私服警備依頼による不必要な経費が掛かる
182	その他専門店	警備員を依頼しているが、経費がばかにならない
183	その他専門店	明らかな防犯はブランドイメージを守るために行えず、対策案が中途半端となり困っております
184	コンビニ・ミニスーパー	年間に入替る従業員数が多く教育に時間がかかる(30万人/年)
185	コンビニ・ミニスーパー	店内での怪しい動きをするお客様を従業員がマークしていると「ジロジロ見られる」などのクレームとなる例があった
186	玩具・ホビー用品	・誤認確保への対策が不十分 ・防犯タグ類の劣化、不足
187	玩具・ホビー用品	逆恨みにあわないかが不安です
188	書籍・文具	保護者の「お金を払えばいいんだろ」という意見に困惑する。 「人のものを盗む」こと、道徳心に欠けている
189	書籍・文具	万引きを防止するという言い方が良くない。 窃盗を防止する、殺人を防止するとはいわないはず。 もっと刑を重くして、二度と商品を盗らないように思わせる
190	書籍・文具	暴力をふるわれたら困るので、どこまで強く言えるかパート、バイトは不安で見ても、見過ごすケースがある
191	書籍・文具	SC内では私共の店舗から出ても施設内にいれば補足できない(ジレンマ)。 店内補足の明確な基準を作りたい
192	書籍・文具	最近、万引き犯が低年齢化しており(小学1年~3年生が多い)対応に苦慮している

193	書籍・文具	中・高生による集団万引きの手口。何名かが本の在庫照会をスタッフに依頼し、売場が手薄になったすきに一気に万引き。 それをSNSやLINEで情報共有される
194	書籍・文具	・現行犯:常習犯であってもその場で確保しないと意味がない ・店外に出るまで確保できない:店内ではたとえカバー等に商品を入れても確保しないように指導を受けている
195	書籍・文具	・警察によっては、触法少年の被害届を受理してくれない ・警察対応に時間がかかりすぎる
196	書籍・文具	・確保のタイミング(店外という点) ・刑罰がある意(再発、出来心を誘発) ・シニアの万引きは見抜きにくい(現在発覚0件)
197	書籍・文具	・DVDなどの付録のみがなくなることがある ・もともとあった場所から離れた所に商品が移動される
198	書籍・文具	・従業員が少なく、補足した場合に警察対応ができそうもない場面がある ・触法少年となる場合、警察官によっては対応に差がある(店で注意しろ、という態度もある)
199	書籍・文具	店内で確保していいのか等の法律の件。どこまでがよく、どこからがだめなのかわからない
200	書籍・文具	現行犯でも犯行を証明できるものがなければ説諭にとどまるとの警察の見解
201	書籍・文具	・もっと警備員を増やしたいが費用がかかる。補助して欲しい ・警備員(私服)にスキルの違いがある ・売上が下がって利益も厳しくなり、人件費を削らざるを得ないので、店の従業員の人数も減り、万引き抑止も難しくなっている ・地域によって警察の対応が異なる。被害届を受けてもらえないときがある
202	書籍・文具	「店内確保」を実施しているが不安も大きい
203	書籍・文具	・インショップだと自分たちで捕まえる前に警備員を呼んでからやると言われる ・デパート本体の玄関から出てから声を掛けてと言われる
204	書籍・文具	防犯カメラで発見したことがあり、一定の効果があるのですが、費用面で防犯カメラの増設・強化はむずかしいのが現状です
205	書籍・文具	防犯ポスター、声掛け
206	書籍・文具	保安員の人件費も全国レベルになると高額になる。採算を考えるとどれだけの経費を防犯にかけていくか?費用対効果が検証しにくい
207	書籍・文具	従業員が絡むと発覚が遅れ、被害が大きくなる
208	書籍・文具	警察の書類作成:平均5時間、現場検証立会い:1時間
209	書籍・文具	万引き少年に対する各店の対応のずれ!
210	書籍・文具	お金がかかる!
211	書籍・文具	・死角などでカバンの中に入れたかも知れないと思うことはあるが「カバンの中を見せなさい」と言うことは勇気がいる。もし入っていなかったらと迷う ・カバンの中に入れたことを確信しても、地域の子で親を知っている場合などは言えないこともある。 次回来店したときは行動を監視しているという態度をとって、絶対にさせない
212	書籍・文具	・引っかけを行うグループの存在 ・店在人員が少ないため、常時見ることができない ・確保時の危険性
213	ドラッグストア	店内確保のタイミング、対応方法
214	ドラッグストア	・不審な人に声をかけにくい ・女性だけの店が多い
215	ドラッグストア	万引きに対する従業員(パートを含む)の防犯意識の低下

216	ドラッグストア	少人数での店舗運営により不審人物入店時にマーク出来ない場合がある点
217	ドラッグストア	上司が防犯機器の取り付けについて理解を示さない(費用対効果の関係上と言われる)
218	ドラッグストア	競争激化による店舗の人員削減が万引きをしやすくしてしまっている
219	ドラッグストア	被害を最小限に抑えるため、陳列数を1~2個ずつ、又は空き箱陳列とすると販売が伸びない(落ち込む)
220	ドラッグストア	警報機(タグ式)を導入しているが、間違った声掛けによりトラブルが発生することがある
221	ドラッグストア	万引き防止を意識した行動で苦情が増えている(ジロジロ見てくる、従業員が近づいてくる、防犯ゲートのアラーム対応)
222	ドラッグストア	全店舗レベルで万引き事案に対する警戒(対決)姿勢が希薄なことに加え、万引きロスしても会社がおって補充(フォロー)してくれるから、スタッフ自身の処遇に何の痛みも伴わないことなどで危機感そのものが低調(負の連鎖の根本的問題)
223	ドラッグストア	店内での声掛け。 確保ができないし、誤認逮捕となると会社(店舗)側が弱い立場となるので、「不審者」に対しては店内でも声を掛けられる体制を構築して欲しい
224	ドラッグストア	万引きグループによる発生情報共有。特にアジア系万引きグループは、広域的に連続犯行することから、業界として発生情報を共有するシステムが望まれる。 現在は、2社の防犯担当者と情報共有しているが、個人的な人間関係で行っている
225	家具	機器導入のための経費負担
226	服飾・服飾雑貨	どちらの企業もそうであると思うが、効率を上げる為に適正人員数が絞られてきており、悪意ある入店者には一時的に注意を向けられても買上客の対応を優先している為、結果的に被害にあってしまうことが多くなってしまふ。 万引きの瞬間を押えることができず警備に通報ができない事も多くなっている
227	服飾・服飾雑貨	声を出す
228	服飾・服飾雑貨	社内向けに全件届出を勧める一方、届出の際の負担に対して成果がなないので説得力がない
229	カジュアル衣料	万引き犯を現行犯で見つけたときのスタッフの対処方法
230	スーパー	老人の万引きが多く、ついて歩く時間仕事ができない。 万引きの瞬間を見ていないと確保できず、このため何人も怪しいと思う該当者があってもつかまえられない。
231	スーパー	マスコミの無責任な報道、ワイドショー
232	スーパー	(1)買物カゴを使用せずマイバッグに直接商品を入れているお客様が増えている。レジを通過するのか、そのまま店外に出るのか判断できず確認する為のムダな時間がかかる (2)外国人対策の為、各国語で書かれているポスター等及び、万引きに関する翻訳集があると便利
233	スーパー	・人員 ・対応の仕方の訓練や講習
234	スーパー	外国人グループの犯罪が多くなってきて、日本語放送がききめ少なくなってきた
235	スーパー	・売場スペースが元々狭く、万引しにくい環境改善が困難 ・人手不足 ・万引確保による警察対応時間の長さ、人件費増加
236	スーパー	費用のかからない対策がない 確保しても、時間を拘束される

237	スーパー	万引の金額を把握していない。 性善説の企業風土～業務におわれて注意不足
238	スーパー	ささいな(あまり目立たない)防止策があるか。 大ぴらに万引防止ポスター等の掲示は、一般のお客様が不快感を覚える可能性がある。
239	スーパー	社外での交流が全くないので、独自の考え方で、ある部分先行しているので幅広い視点から万引の防止の推進に対して情報等を知りたい
240	スーパー	マイバッグの使い方、マナーが悪い マイバッグは、折りたたみ、勘違いされないようにしてほしい
241	スーパー	誤認検挙があれば訴えられる時代ですし、逆切れする方もいますので、99%の確信があっても、100%でなければ捕まえないので、困っています
242	スーパー	店内こえかけ
243	スーパー	万引発見した際警察に連絡しているのか聴取の為10人以上の警察官が来店するケースが多く、他のお客様より困惑し別の苦情につながることもある
244	スーパー	上記に示した ①独居老人で、痴ほう症の気のある人や ②浮浪者やホームレス(全く反省していない)が警察のかたが、注意してくれても『また来て、やっってしまう』という事があり、困っております
245	スーパー	全件届出を心掛けてはいるが、各店管理職が事件対応に1～2時間かかるのは、業務上大きな負担となる
246	スーパー	・怪しい～現認～確定(店外)迄に時間がかかり専任者をつけるのが困難
247	スーパー	・再犯の予防対策
248	スーパー	高齢者が増えてきている
249	スーパー	防犯カメラの増台に伴う費用対効果が明らかではなく足踏みしている
250	スーパー	不審に思った人物が長い時間、店内をウロウロするとその長い時間動向監視しなければならず大変
251	スーパー	複数犯対策 外国人万引犯対策
252	スーパー	上記の者(独居老人や支払能力のない方)を「出入禁止」にする場合、被害店以外の近隣店舗にどのレベルまで、情報を共有してよいものか悩んでいる 例)写真を配布しないと人物が特定できないが、個人情報に抵触する可能性がある
253	スーパー	当社では、万引を社員に求めています(安全のため)施設の警備員などに連絡し対応しています ただそのあと、警察の届出が手間のため、届出はしていません。(販売員が店舗に1～2名しかおらず、体制が整わないため) 店舗内で、簡素に届出できればと思います
254	スーパー	警備員を入れると確保の確立は上がるが、経ヒがかかる。負担である。 しかし当社のみでは、見つけることは難しい
255	スーパー	誤認万引扱いされたという苦情 当然確認すべき状況でも苦情になりやすい
256	スーパー	対応に時間を要する
257	スーパー	認知症の方、障害者の方の対応について
258	スーパー	従業員、パート、アルバイトなど、人件費、節約で、営業しているので(特に夜など)目が届かない事
259	スーパー	・グループによる万引は窃盗物のある場所特定が困難 ・疑わしい行為には声がかげにくい(犯人扱いされたなどの人権主張が強い) ・エコバッグ等を逆手にとった犯行も散見される

260	スーパー	それらしきお客様か？入店した際に捕捉をすることよりも防止する事を優先する為に監視する必要がある。 その為に時間を無駄にせざるを得ない。
261	スーパー	営業時間(特に冬の夜間)
262	スーパー	カゴ抜けによる大量窃盗の増加
263	スーパー	店内トイレに入られた場合の対応が難しい
264	スーパー	従業員は万引対策までは人手不足で、チェックできない 警備員に頼む方法が最適だと考えている
265	スーパー	警察手続き現場検証に時間がかかる 常習犯老人が増えている
266	スーパー	高額品(ワイン)の対策があれば、教えていただきたいと存じます
267	スーパー	お客様からの通報による万引対応の難しさ
268	スーパー	・親が目を離したすきに万引きされ注意したら、逆に責められた。 親の教育も必要なのでは
269	スーパー	・万引常習者から「監視されている、犯人扱いされた」等の本社へのメール等による申し出がある。(店長、従業員が毅然と対応して来店が無くなった。)
270	婦人服・子供服	当店の顧客様でお買い上げ頂いている方が万引きをされています。 1度店内で、確認しましたが、地元でも名士のお家で、会社とのつながりも深いので、声をかけられません。
271	婦人服・子供服	警察に届けると時間がかかる上、従業員の人件費もかかり、その間、店内で販売活動が出来なくなるので、常習的又は高額な場合以外はなかなか届け出られないのが現状です。 又従業員が1人の時は、全く対応できません(万引犯をつかまえる事が難しいです)
272	婦人服・子供服	ローテーション制をとっている為1人体制の時間が多く注意しきれない点SCや百貨店等、年々休日日数を減らしたり、栄上時間が長くなる傾向が強く、1人体制の時間が更に長くなる傾向にある点
273	婦人服・子供服	従業員の安全と誤認

VI. 万引犯罪被害を減らすための要望

	業態	コメント
274	百貨店	罰則強化
275	百貨店	万引犯罪の厳罰化
276	百貨店	中古品の買取業者に対する規制を厳しく(古物営業法の遵守徹底)し、盗品の転売がしにくい環境を作してほしい
277	百貨店	高齢者による犯罪を減少させるための方策について
278	百貨店	・家庭における教育の徹底(幼児期からの継続) ・小学校、中学校における教育指導の強化 ・私服警察官の店舗への派遣
279	百貨店	広域で犯罪を重ねている外国人窃盗グループ等、常習悪質な事案を集約し、情報共有のとりまとめ、情報管理を行ってほしい
280	百貨店	犯罪カメラ等の設置
281	百貨店	防犯意識向上セミナー等の講演会開催(一般向け)
282	百貨店	万引自体が他の窃盗犯に比して軽視されており、警察自体も力を入れていない感がある。 何十万の被害にあっているものもあり、重要視してほしい
283	百貨店	未成年、外国人への防止策拡大
284	百貨店	前科、立ち入り禁止のある常習性のある方への応援体制の確立
285	時計・メガネ	特定の複数犯行を繰り返している人物の画像は店舗およびショッピングセンターで保管されている。 現行犯でなくても、未然に防ぐ為の捜査は行って欲しい (届出は過去に提出している)
286	時計・メガネ	・呼称変更の早期実現 ・刑事罰の厳罰化
287	楽器・CD・レンタル	人権問題があるので、証拠や確証がなければ、お客様に声をかけられない
288	楽器・CD・レンタル	万引きに対しての法が甘すぎる
289	楽器・CD・レンタル	万引きは刑も歩く、1回見つかった程度ではやめない為、減少しないと思います。以前勤務していた所でも毎日同じ人物だったりしていました。 そうすると、警察へ届けても・・・、と思います
290	楽器・CD・レンタル	万引きという呼び方が”窃盗”という犯罪をしているという事実を軽いものと捉えられている原因のひとつとなっている。 補足した万引犯の保護者が「たかが万引」と言ったときには、その場にいた警察官と一緒に厳しく叱りつけたが、このように軽く考えている連中がいる間は、ゲーム感覚で窃盗をする連中は減らない。 今すぐにも、窃盗もしくは誰もが卑劣な犯罪だと認識できる呼び方に変更していただきたい
291	楽器・CD・レンタル	学校、警察署とのコミュニケーション
292	楽器・CD・レンタル	CDを万引する者の動機のほとんどが現金化であるので、その万引きした商品を簡単に現金化できてしまう現実があることを考慮してほしい
293	楽器・CD・レンタル	・万引犯は繰り返すの徹底的に教育するか社会的ダメージを負わせて欲しい(軽く考えすぎ！) ・商品を陳列するまでの労力(思い)が全て、窃盗犯の出来心で「無」に帰す
294	楽器・CD・レンタル	万引の罪を現在よりも重い罪へ。罪の意識が無さ過ぎて反省が見られない
295	楽器・CD・レンタル	・指名手配みたいなのができれば助かる ・複数犯行が多いので、経験豊かな刑事さんが画像をチェックして頂けると助かる ・犯人確保、引渡しした後一切連絡がなく、民事不介入は分かるけど、被害の弁済もどうしようもない事が多い

296	楽器・CD・レンタル	警察官がたまに私服でパトロールしていただけると心強いです
297	楽器・CD・レンタル	犯罪者の罪を重くすることを世間に知らせる。そうすれば、やる人は減るし、捕った人は覚悟する
298	楽器・CD・レンタル	罪を重くすれば良い
299	楽器・CD・レンタル	今まで同調査的資料に幾度と参加したが、現実的にどのような成果、結果あったのかさっぱり不明
300	楽器・CD・レンタル	・警察の巡回を増やして欲しい・万引きの罰則を厳しくして欲しい
301	ホームセンター・カー用品	あの店は万引きできないと思うような売場作りを行う
302	ホームセンター・カー用品	罪の罰則の強化
303	ホームセンター・カー用品	学生や高齢者の万引きが増加している実態の中で、学校・地域社会・警察そして行政との防犯連携を密にとる必要がある
304	ホームセンター・カー用品	・高齢者の万引きが増加傾向と思われます ・犯罪に対する意識啓発を願います
305	ホームセンター・カー用品	昔は万引きというと、小・中・高校生がほとんどだったが、最近は高齢者なのである。高額商品ではなく、食品・生活品で財布にはしっかり買えるだけのお金は持っている。 TV機構ACで、お年寄りに電車の席を譲りましょうと同様に、高齢者の万引きの実態、社会の先輩としてお手本になるというCMを流してほしい
306	ホームセンター・カー用品	警察との連携(巡回や啓蒙など)
307	ホームセンター・カー用品	・広報の強化 ・交番員の立ち寄り強化
308	生鮮	万引きできないシステムが安価で実現できる日が来ることを希望します
309	生鮮	「万引き」という用語を変更するとの報道有り。 やはり軽くとらわれがちになっているのか
310	生鮮	「隠したら店を出ずとも窃盗犯！」のような効果的なポスターを製作されるなら、会員企業に有料斡旋していただければ、各店舗に数枚ずつ掲示して活用したい
311	その他専門店	学校での教育の徹底
312	その他専門店	簡単な手続きで罰金刑等の罰則を与えられればと思う
313	その他専門店	常習犯が来ていると思います。 巡回いただくなどのご相談が気軽に出来れば嬉しく思います
314	その他専門店	近くに派出所があるので巡回をして欲しい
315	コンビニ・ミニスーパー	職務質問する権限をせめて店長、経営者には与えて欲しい。 誤認によるトラブル(名誉毀損等)の後始末を恐れ声掛けしづらい環境です。 本気で万引き防止をお考えでしたら「職務質問する権限」委譲をご提案ください
316	コンビニ・ミニスーパー	家庭での教育・学校での教育の再徹底が必要ですが、「万引き」の呼び方を変更して犯罪であることを強調していただきたい
317	コンビニ・ミニスーパー	地域の協力と学校との関係を良くしていく機会があると良いのですが
318	家電製品	昨年夏頃まではビデオレンタルをしていましたので万引きは注意をしていましたが、今はレンタルをやめ、家電店だけになったのでお客様が来たら注意して見るようにしてます。
319	玩具・ホビー用品	買取業者に万引き商品を買取らない何か良い方法があればと思います
320	玩具・ホビー用品	徹底して届け出ることには尽きると思います。 一時の温情が再犯につながります
321	玩具・ホビー用品	厳罰化。繰り返し犯への対策。
322	玩具・ホビー用品	「万引き」という表現は軽いので「窃盗」と言ったほうが良いと思います
323	書籍・文具	学校、保護者、講演会等犯罪防止への取り組み。 罪の意識が少ないので罪を重くして欲しい

324	書籍・文具	顔や特徴をネット上にアップする。 店内に顔写真を貼ったり、動画を流せば二度とやろうと思わなくなる
325	書籍・文具	刑を重くするほか手立てはないのでは
326	書籍・文具	最近はお客様の盗撮被害も増えました。 経費的にも、警備にかけるコストに限りがあり、相当厳しいです
327	書籍・文具	小・中学生に対し、悪いことをしたときは、デコピン、シッペなど身体で覚えさせることが絶対に必要
328	書籍・文具	地元交番からの巡回をお願いしたい
329	書籍・文具	・全商品ICタグ導入 ・情報公開(特定された犯人)
330	書籍・文具	小学校、中学校、高校等で各学級のホームルームのとき、もしくは全体集会で万引きについての話をもっとして欲しい(交通指導だけではなく!!)
331	書籍・文具	厳罰化を望みます
332	書籍・文具	警察の方の立ち寄り、家庭・学校での指導
333	書籍・文具	近くの警察による店内巡回の強化。学校、教育委員会による実情の認識と対応
334	書籍・文具	・被害届手続きの更なる簡略化を希望します ・警察はもっと店舗内にもパトロールを広げるべきです
335	書籍・文具	昨夏、まんだらけで発生したおもちゃの万引事件では、防犯カメラの映像を基に操作→逮捕まで至ったのはなぜですか？
336	書籍・文具	・警察が触法少年でも被害届を受理し、実態の把握が社会全体でできるようにすべきである ・家庭や学校で「万引きは犯罪」であることの教育機会をつくる
337	書籍・文具	店内で確保できないことや重罰化などへの対策
338	書籍・文具	細かい商品、ボリュームのある棚という現状の中で、少なくない万引犯罪が発生しているという認識があります。 今現在、警備の腕章をつけた者が常時店内巡回を実施し抑止に努めてはおりますが、積極的な策は講じてないという思いはございます。
339	書籍・文具	万引きが犯罪であることを小学校、中学校、高校でも教育してほしい
340	書籍・文具	・社会的な関心事項となるように啓発活動を続けていただきたい ・同業者との情報共有については何らかの仕組みづくりをしていただけると助かる
341	書籍・文具	万引き犯を交番に連れて行くと面倒そうな警官がいること。 警察署に連れて行くとこんなことはないです
342	書籍・文具	ICタグの導入
343	書籍・文具	警察の態度
344	書籍・文具	・氏名、居住地等の公開 ・店舗立入拒否制度(常習者に対し)
345	書籍・文具	未成年者の事案について警察は消極的であること!!
346	書籍・文具	・警察のでの書類作成の簡素化 (そうすれば、被害届を受けてもらえないということがなくなるのではないか) ・小中高における教育(子供の頃から万引きを絶対やるなと言いつけさせる) ・買取業者の摘発(買取ルールを厳しくする) ・万引き(窃盗)の厳罰化
347	書籍・文具	新古書店での買取年齢を厳しくして欲しい
348	書籍・文具	犯人の録画ビデオ・画像の公開
349	書籍・文具	罪を重くして欲しい
350	書籍・文具	リサイクルショップの買取を厳格にする

351	書籍・文具	各現場(店舗)で相談があるが、ほとんどが警察(官)の対応に関してのものであり、どのように警察に動いていただくかの相談窓口を万防機構にお願いしたい
352	書籍・文具	店内確保が実現されること
353	書籍・文具	万引きが軽犯罪の位置づけである以上なくならない。 全て重くしろとは言わないが、一部でも厳しい法律に見直すべきだ
354	書籍・文具	万引きを無くすことはむづかしい。 今は疲れて、犯人を見つける指導より、挙動不審者への声掛けで未然に防ぐことを指導しています
355	書籍・文具	万引きは犯罪であるというPRの強化
356	書籍・文具	低年齢者、中学、高校生による被害が多発しているので、店内の指導および注意、関心をお願いしたい
357	書籍・文具	「万引きは窃盗罪です」の徹底!
358	書籍・文具	見回りしていただくと助かります
359	書籍・文具	万引きは犯罪であること、万引きをしたらどうなるのか等、TVの特集などで扱って欲しい
360	書籍・文具	警察の立ち寄りの強化
361	ドラッグストア	全国の被害状況、例、犯人の特徴等の情報
362	ドラッグストア	警察官の定期巡回(月2~3回)
363	ドラッグストア	TV、新聞等のマスコミを通じて、万引きは悪である等の広報、啓発活動の積極的な実施
364	ドラッグストア	・店内レイアウト作りをもっと考えてもらい、什器とか高さ、配列をもっと工夫してもらいたい ・防犯機器に対してもう少し考えを持って欲しいのと防犯対策予算を組んでもらいたい
365	ドラッグストア	同業者間での情報交換、共有が必要
366	ドラッグストア	・さらに刑を重くするべきである(飲酒運転もそれで激減した) ・学校での教育(万引き犯罪)
367	ドラッグストア	青少年の健全育成を家庭、地域で実践することが重要
368	ドラッグストア	店舗店長の意識と教育
369	ドラッグストア	・私服、制服警備員の安価での提供 ・犯人補足時の手続き簡略化、時間の短縮 ・万引きの厳罰化
370	ドラッグストア	古物法を改正し、医薬品、化粧品を古物対象の商品に指定する
371	ドラッグストア	警察の対応時間がとても長くなることもある。少ない人数で店舗運営しているので30~40分程度で完了するとありがたい
372	ドラッグストア	万引き犯罪の罪をもっと重いものにしてほしい
373	ドラッグストア	所轄警察単位での万引きに対する防犯、取締り、巡回、指導等が無に等しく、これがXXXX(4文字判読不能)の悪化に影響させているのではないか
374	ドラッグストア	現状、万引犯の立場が強く、被害者が弱い立場にあるので被害者が有利になるようにして欲しい
375	ドラッグストア	万引き犯罪を軽視する社会的風潮は、まだまだ見られることから、社会の規範意識を高めるためにも、「万引きは犯罪である」という各種取組みを推進していく必要があると思います
376	靴	学校での教育の充実
377	家具	家族の協力(理解)が必要
378	服飾・服飾雑貨	在庫確認
379	カジュアル衣料	・設備投資しやすい税制・補助

		・万引き誤認時の会社側への損害賠償除外
380	スーパー	・警察官の巡査・地域ボランティアの巡査
381	スーパー	防犯カメラ設置費用の補助制度があるとよい
382	スーパー	万引き犯罪の罪をもっと重くして(処罰をもっと重くして)、世の中から万引き犯罪を撲滅させてほしい。そしてマスコミ等を通じて、万引き犯罪はいかに重罪であるかを、もっとアピールして欲しい
383	スーパー	制服の警官が定期的に巡回の為に寄っていただくと急に犯人はおらなくなる
384	スーパー	・罪名の変更 ・警察、地域ボランティア等による巡回の実施 ・重大犯罪であることのPR強化
385	スーパー	マイバッグに商品を入れて、店内を買い物してはいけないような社会的風潮をつくるとか
386	スーパー	店内確保
387	スーパー	特にありませんが、現状把握している件数もほんの一部だと思います
388	スーパー	警察官の頻繁な巡回
389	スーパー	組織的な万引き犯グループに対する取り締まりを強化してほしい
390	スーパー	※アンケートの中で万引犯を補足した際の件数及び損害賠償請求をどのようにすれば良いか教えてください ※万引窃盗犯の「店内確保」についてくわしく教えてください ※「万引き防止の為に防犯責任者講座」を受講したい
391	スーパー	店内確保が出きればよい 万引犯罪者の顔写真公表
392	スーパー	買い物がてらでもよいので、警察官の方が店内に巡回に来てもらえると抑止力になると思います 「ポスターの警察官立寄所」はおどし?だけだと、皆、思っていますので
393	スーパー	・現状は、警察の方にはよくやっていただいております ・『万引は犯罪です』の意識をみなさんにしっかり持ってもらうことが、まずは、基本の部分だと思います
394	スーパー	高齢者による万引が増加していることは、間違いない状況です 企業としての対策では、限度がありますので、行政機関には、抜本的な対策をお願いしたい
395	スーパー	罰が軽すぎ、ほとんどが初犯とは思えない
396	スーパー	業態ごとの事例紹介
397	スーパー	警察官の巡回、警らの実施
398	スーパー	当社としては、不審者に対する声掛け、防犯カメラの増設等に努めているが限界を感じる人が多い。今後は警察官や地域のパトロール隊等の店舗への積極的な立ち寄り警戒のほか、近年増加傾向にある高齢者に対する規範意識向上のための施策を推進する必要があると感じている
399	スーパー	万引防止啓蒙活動を地域や学校と協力して推進してもらいたい
400	スーパー	・万引犯確保から身柄引渡しまでの、迅速な流れの構築 ・万引犯抑止のキャンペーン等の徹底
401	スーパー	・高齢者は今後の生活に悲観的で、開き直る者や聞く耳も持たない方がいる。 地域活動に参加する機会を増やし、孤独感を減少させる
402	スーパー	・万引犯に対する処罰が、軽いのでは、3~4回くりかえしても起訴にはならない犯人がいる。 刑罰の他に社会奉仕を求める等その都度犯人は何らかの懲罰が必要では ・警察から「外国人窃盗団」「少年カゴダッシュ」等が周辺で発生していても何の警報もない。万防止協議会事務局が警察なのに

403	スーパー	会社の方針がすべて
404	スーパー	警察官の巡回
405	スーパー	積極的に保安警備を同入して、万引き撲滅する
406	スーパー	警察による店舗巡回の強化
407	スーパー	警察官のパトロール、検挙活動強化
408	スーパー	「万引き」という呼び名を変更することは大変大事なことでぜひ実施してほしい
409	スーパー	「万引」という特別な表現が誤解を与えています。「窃盗罪」とするべきかと思えます
410	スーパー	生活困難者に該当する人がほとんど
411	スーパー	・万引防止の防犯ポスターの配布 ・私服警官の巡回警備の強化
412	スーパー	警察官や学校の先生の店内巡回を地域社会、社会全体の協力を受け入れて行きたいと思えます
413	スーパー	万引自体の被害額より、書類作成などの時間の浪費(責任者の拘束)の方が人件費や作業が出来なく残業などで、費用効果が大きいため、つい見逃すか通報できず帰してしまうケースが起きている
414	スーパー	万引処理は店舗で行ない本部では集計していない 故に問11以降は全店調査しないと解答できない
415	スーパー	店外、店内に防犯カメラ、ミラー警察官立寄所、見通しの良い売場店内に常に従業員の配置
416	スーパー	他企業様の取り組み等を聞ける機会がほしい
417	スーパー	刑と罰金を重くしてほしい
418	スーパー	もうアンケートを送らないで下さい。よろしくお願ひします。実体を把握していないので答えられません。申し訳ありません。
419	スーパー	万引防止啓蒙活動を地域や学校等と協力して推進してもらいたい。
420	スーパー	・幼稚園、小学校、中学校、高校と万引きの教育をしてほしい
421	スーパー	学校や家族等に対して、年少者や高齢者に対する万引き犯罪に対する啓蒙活動をお願いしたい。(特に年少者の万引きについては、初期の家族・学校対策を行い非行防止を図ることが重要である。)
422	婦人服・子供服	警察の事務手続きをさらに簡素化してもらいたい。供述調書作成や事情聴取に時間がかかっている。繁忙期にあつては特に被害届は出しづらい
423	婦人服・子供服	営業時間を短縮すれば減らせると思いますが、大型SCは逆に営業時間を伸ばしているの、テナントはそれに合わせざるを得ないのが現状です。 短縮すれば、2人以上の従業員が売場にいる時間が長くなります
424	婦人服・子供服	万引きは犯罪です。許さない。→会社の方針 万引きする者は病を持つ方も多くなります。 万引きする者を追う×××(3文字判読不能)い ①盗むのを見た②どこに入れた③外(館)を出た ①～③を満たした場合→館警備へ、110番へこれが社のルールです。
425	婦人服・子供服	大変申し訳ありませんが、当社はオーダー制となっており、お客様のサイズを計ってから服を作るかたちになっていますので、万引きはありません
426	婦人服・子供服	万引きの巧妙化と凶暴化と居直り、地域の住民のモラルの低下、中には取締りを受け拘置が決まると食事が食べられるとか、雨風がしのげるなどのそれを目的として万引きする者をいると耳にした事がある。 非常に根深いものがあるので、対応をどうするかを考えないと減らないと思う

貴社の中でもっとも売上構成比の高い部門を下記の中から選択ください。〔1つだけ○〕

選択いただく部門名

- | | | | |
|-------------------------|----------------|------------------|-------------|
| 1. 百貨店 | 2. スーパー | 3. 婦人服・子供服 | 4. 紳士服 |
| 5. カジュアル衣料 | 6. 呉服 | 7. 服飾・服飾雑貨 | 8. 家具 |
| 9. 家電製品 | 10. 玩具・ホビー用品 | 11. 書籍・文具 | 12. ドラッグストア |
| 13. 靴 | 14. 時計・めがね | 15. 宝飾品 | 16. スポーツ用品 |
| 17. カメラ | 18. 楽器・CD・レンタル | 19. ホームセンター・カー用品 | |
| 20. 総合ディスカウント | | 21. 酒類 | 22. 生鮮 |
| 23. 価格均一ショップ（100円ショップ等） | | 24. その他専門店 | |
| 25. 生活協同組合 | | 26. コンビニ・ミニスーパー | |

I. 万引犯罪発見後の処理について

問1. 現在、御社で万引対策を担当されている部署をお答えください。

1. 店舗 2. 本部 3. 警備部門 4. その他

具体的な部門名は _____

警察では「被害者」の負担時間を軽減するために、平成22年10月1日より全国で「届出する書類等の簡略化」がスタートしました。問2-1から問2-4はその関連質問です。

問2-1. 御社において万引犯罪を発見した後の基本的な処理方針について 〔1つだけ○〕

1. 全件警察に届出する
2. 警察に届出するのはケースバイケース
3. 届出しない

問2-2. 問2-1. で「警察に届出するのはケースバイケース」を選択された方にお聞きします。警察に届ける際の判断基準がありますか。 〔1つだけ○〕

1. 特に判断基準は無い
2. 判断基準がある

問2-3. 問2-2 で、「判断基準がある」を選択された方にお聞きします。

届出するか否かの判断基準の詳細についてお聞かせください

[_____]

問2-4. 問2-1 で「全件警察に届出する」又は「警察に届出するのはケースバイケース」を選択いただいた方に伺います。書類作成等における警察の対応時間の実態はどれくらいですか。

①平均はどのくらいでしたか〔1つだけ○〕

1. 30分以下 2. 30分～1時間 3. 1～2時間
4. 2～3時間 5. 3時間以上 6. その他 ()

②最短時間はどのくらいでしたか〔1つだけ○〕

1. 30分以下 2. 30分～1時間 3. 1～2時間
4. 2～3時間 5. 3時間以上 6. その他 ()

③最長時間はどのくらいでしたか〔1つだけ○〕

1. 30分以下 2. 30分～1時間 3. 1～2時間
4. 2～3時間 5. 3時間以上 6. その他 ()

II. 万引犯罪の防止策について

問 3-1. 直近で、万引が発生する原因だと御社が考えているものはありますか。〔1つだけ○〕

1. 特に万引発生の原因と考えるものは無い
2. 万引が発生する原因となるものがある

問 3-2. 問 3-1. で「万引が発生する原因となるものがある」を選択された方にお聞きします。その原因をお聞かせください。

[]

問 4-1. 御社の万引防止策として、最近一年で新たに実施されている事例があれば教えてください。〔それぞれ1つだけ○〕

- ① ハード（機器等）対策 1. 特にない 2. ある

[事例：]

- ② ソフト（訓練等）対策 1. 特にない 2. ある

[事例：]

- ③ 万引対策の連絡会や学校などの地域対策 1. 特にない 2. ある

[事例：]

- ④ 高齢者の万引防止策 1. 特にない 2. ある

[事例：]

問 4-2. 顔認証システムや不審動作を検知する機器を導入していますか。〔1つだけ○〕

1. すでに導入している
2. 検討中である
3. 考えていない

[システム名など、コメントがあればお願いします：]

問 4-3. 集団窃盗対策として、同業者との情報共有についてはいかがですか。〔1つだけ○〕

1. すでに情報の共有をしている
2. 検討中である
3. 考えていない

[何かコメントがあればお願いします：]

問 4-4. 問 4-3. で「すでに情報の共有をしている」を選択された方にお聞きします。文字だけでなく犯人が映っている画像も近隣の同業店舗と共有されていますか。〔1つだけ○〕

1. 画像も共有している
2. 画像は共有していない

[何かコメントがあればお願いします：]

問5-1. 御社では、万引犯を確保した際、万引犯（もしくはその保護者）に対して、捕捉にかかった費用(人件費等)を損害賠償請求していますか。〔1つだけ○〕

1. すでに導入している
2. 検討中である
3. 考えていない

〔何かコメントがあればお願いします：〕

問5-2. 問5-1で「考えていない」を選択された方にお聞きします。

損害賠償請求することに阻害する又は躊躇する要因がありますか。〔1つだけ○〕

1. 特に阻害又は躊躇する要因は無い
2. 阻害又は躊躇する要因がある

問5-3. 問5-2. で「阻害又は躊躇する要因がある」を選択された方にお聞きします。その要因は何ですか。

〔〕

問6. 御社では、万引に関して地域社会とタイアップをされていますか。〔1つだけ○〕

1. すでにしている
2. 検討中である
3. 考えていない

〔何かコメントがあればお願いします：〕

問7. 被害者等通知制度をご存知ですか。なお被害者等通知制度とは、検察官等が犯罪被害者等の方々に「加害者の処遇状況等に関する通知」を行う制度です。〔1つだけ○〕

1. 知らなかった
2. 知っている

〔活用したことがある場合、その事例を教えてください：〕

問8. マイバックについてお伺いします。〔1つだけ○〕

1. マイバックを奨励している
2. マイバックはお断りしている
3. マイバックについては奨励も、お断りもしていない

〔何かコメントがあればお願いします：〕

問9-1. 万引窃盗犯の「店内確保」についてはいかがですか。〔1つだけ○〕

1. すでに実施している
2. 検討中である
3. していない

〔何かコメントがあればお願いします：〕

Ⅲ. 万引犯罪被害の状況及び傾向について

問 11-1. 御社では、直近の決算年度期間中に、全社でおおよそ何件の万引犯罪被害がありましたか。万引犯を確保した（捕まえた）人数を基にお答えください。

_____人 _____件

問 11-2. 問 11-1 で、確保した万引犯の性別ごとの人数をお聞かせください。

1. 男性（ _____人） 2. 女性（ _____人） 3. 性別不明（ _____人）

問 12. 問 11-1 で、誰が万引犯を確保したか内訳（確保した万引犯の延べ人数）を項目別にそれぞれご記入ください。

1. 御社の従業員（ _____人） 2. 保安警備員（ _____人）
3. お客様（ _____人） 4. その他（ _____人） 5. 不明（ _____人）

問 13-1. 御社の決算年度における年間の不明ロス金額（万引以外も含む不明ロス総額）とその年間総売上げに対する構成比について、分かる範囲で記入ください。

直近年度売上金額 兆億（万円）

直近年度不明ロス金額 億（万円）

不明ロス売上構成比 . （%）

※年度については、各社の決算年度単位で結構です。

問 13-2. 問 13-1 の不明ロスの中で、部門別で多いと思われる部門の不明ロスの売上に対する構成比を教えてください。部門は下記の「選択いただく部門」より選択ください。

(例) 部門： 14 不明ロス売上構成比： 1. 25 %
1) 部門： _____ 不明ロス売上構成比： . %
2) 部門： _____ 不明ロス売上構成比： . %
3) 部門： _____ 不明ロス売上構成比： . %
4) 部門： _____ 不明ロス売上構成比： . %
5) 部門： _____ 不明ロス売上構成比： . %

選択いただく部門

- | | | | |
|-------------------------|----------------|------------------|-------------|
| 1. 百貨店 | 2. スーパー | 3. 婦人服・子供服 | 4. 紳士服 |
| 5. カジュアル衣料 | 6. 呉服 | 7. 服飾・服飾雑貨 | 8. 家具 |
| 9. 家電製品 | 10. 玩具・ホビー用品 | 11. 書籍・文具 | 12. ドラッグストア |
| 13. 靴 | 14. 時計・めがね | 15. 宝飾品 | 16. スポーツ用品 |
| 17. カメラ | 18. 楽器・CD・レンタル | 19. ホームセンター・カー用品 | |
| 20. 総合ディスカウント | | 21. 酒類 | 22. 生鮮 |
| 23. 価格均一ショップ（100円ショップ等） | | 24. その他専門店 | |
| 25. 生活協同組合 | | 26. コンビニ・ミニスーパー | |

問 14. 直近の年間不明ロス金額の原因別推定割合をご記入ください。

- ① 万引き 割 ②従業員窃盗 割 ③業者不正 割
④管理誤り 割 ⑤その他 割 （合計 10 割）

問 15. 万引被害について、被害件数の多い順に商品の種類をご記入ください。それは年間を通して多いですか、それとも季節によって被害が変わりますか。該当する箇所に、○をご記入ください。〔1つだけ○〕

※この回答は万引防止年間チャートの制作に生かされております。		通年または季節で多いですか。				
	商品の種類名	通年	春	夏	秋	冬
1 番目の商品		1	2	3	4	5
2 番目の商品		1	2	3	4	5
3 番目の商品		1	2	3	4	5
4 番目の商品		1	2	3	4	5
5 番目の商品		1	2	3	4	5

IV. 多くの方々に知ってほしい万引犯罪の実態、もしくは効果が上がったと思われる取組事例があればご記入ください。

V. 万引防止を推進するに際して、社内外等で困っている点があればお聞かせください。

VI. 万引犯罪被害を減らすために、ご要望があればご記入ください。

【 次ページVIIの質問は、東京都に店舗がある企業のみお答えください 】

【東京都に店舗がある企業のみお答えください】

Ⅶ. 東京万引き防止官民合同会議よりご依頼する調査

問 16. 東京万引き防止官民合同会議等の取組をご存知ですか。〔1つだけ○〕

1. 知っている 2. 知らない

問 17. 警視庁では、万引き防止対策を推進するために各警察署に万引き防止連絡会を設置しています。万引き防止連絡会に加入していますか。〔1つだけ○〕

1. 加入している
2. 加入していない

問 18. 警視庁では、毎月20日を「万引きゼロの日」として、地域に根ざした万引き防止活動を推進しています。万引きゼロの日の活動に参加された経験がありますか。〔1つだけ○〕

1. 参加した経験がある。
2. 参加した経験がない

問 19. 東京万引き防止官民合同会議で作成した「万引き防止対応ガイドライン」を活用されていますか。〔1つだけ○〕

1. 活用している
2. 活用をしていない

(理由は: _____)

問 20-1. 東京万引き防止官民合同会議では、店舗審査を実施して、一定の基準に到達した店舗を「モデル店舗」として認定しています。「モデル店舗」認定制度をご存知ですか。

〔1つだけ○〕

1. 知っている 2. 知らない

問 20-2. モデル店舗の申請を希望しますか。〔1つだけ○〕

1. 希望する 2. 希望しない 3. 検討中

問 21. 東京万引き防止合同会議では、万引きさせない店舗づくり推進に向け「万引き防止のための防犯責任者養成講座」を開催しています。そのような講座をご存知ですか。〔1つだけ○〕

1. 知っている 2. 知らない

問 21-2. 「万引き防止のための防犯責任者養成講座」に参加を希望されますか。

〔1つだけ○〕

1. 希望する 2. 希望しない 3. 検討中

ご記入が終わりましたら、記入漏れがないかももう一度お確かめになり、同封の返送用封筒にてご投函いただきますようお願い致します。ご協力ありがとうございました。

第10回 全国小売業万引被害実態調査分析報告書

2015年6月 発行

特定非営利活動法人 全国万引犯罪防止機構

〒160-0004
東京都新宿区四谷 1 - 2 - 8

TEL 03 - 3355 - 2322

〔入力・集計〕 株式会社アクロス
〔印刷・製本〕 亜細亜印刷株式会社